

墓地に関する市民アンケート調査実施結果について

墓地に関する市民アンケート調査の実施については、平成 24 年 9 月 14 日開催の本委員会で、御報告させていただきました。本日は、市民アンケート調査の結果について御報告します。

1 実施状況

(1) 目的

家族観の変化やライフスタイルの多様化に伴い、葬送に対する考えや墓地の形態も多様化してきていることから、本市では、社会情勢等の変化も見ながら、市民の考えやニーズを定期的に把握し、墓地整備等へ反映していくことが必要であると考えています。

そこで、本市では、過去 2 回（平成 14 年度、19 年度）市民アンケート調査を行っており、前回調査から 5 年を経過することから、今年度、改めて市民の皆さまから広く墓地に関するお考えやご要望をお聞きし、将来の墓地需要数や供給方策の検討などに活用することを目的として調査を実施しました。

(2) 実施期間

平成 24 年 9 月 24 日（月）～10 月 10 日（水）

(3) 調査手法

住民基本台帳から無作為抽出した本市在住、20 歳以上の男女 5,000 名に対し、郵送法により実施しました。

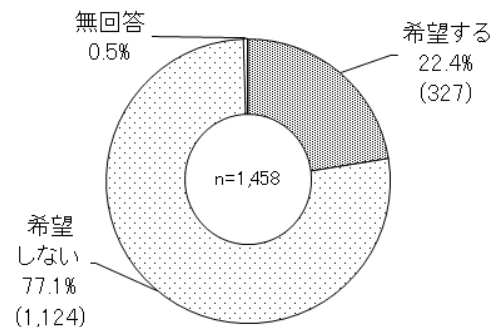
(4) 回収数（率）

1,458 件（29.2%）

2 アンケート集計結果の概要

(1) 墓地需要率〔回答対象：全員（=1,458）〕

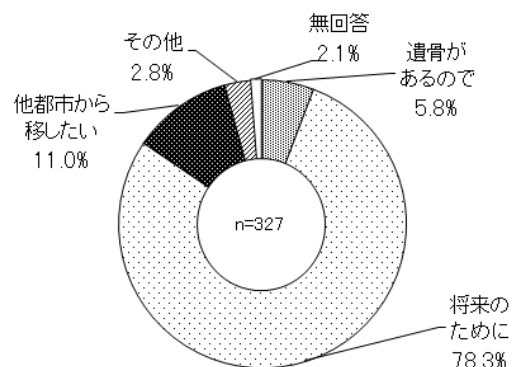
墓地の取得を希望する回答は、22.4%でした。



(2) 墓地の取得を希望する方の意向〔回答対象：墓地取得希望者（=327）〕

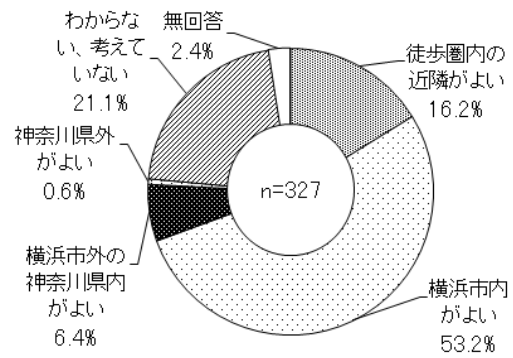
ア 墓地の取得を希望する理由

「遺骨はないが、将来のために取得したい」(78.3%)が最も多く、「遺骨があるので墓地がほしい」は、5.8%でした。



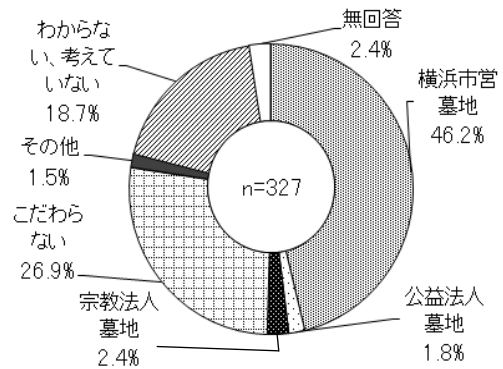
イ **取得したい地域**

「横浜市内がよい」(53.2%) が最も多く、「徒歩圏内の近隣がよい」(16.2%) と合わせると、約7割が市内等比較的近い場所を希望しています。



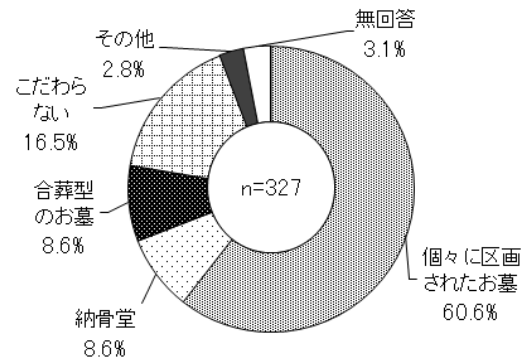
ウ **取得したい墓地の種類**

「横浜市営墓地」(46.2%) が最も多く、「こだわらない」(26.9%) がそれに続きます。



エ **取得したい墓地の形式**

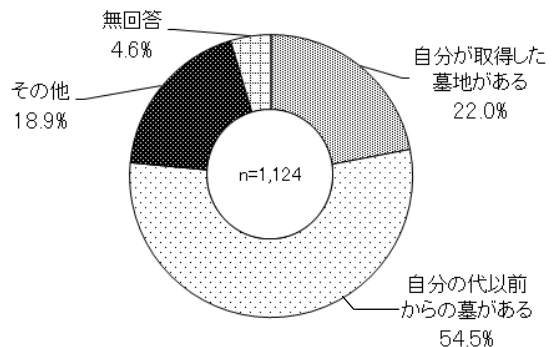
「個々に区画されたお墓」(60.6%) の希望が最も多く、「こだわらない」(16.5%)、「納骨堂」(8.6%)、「合葬型のお墓」(8.6%) がそれに続く回答でした。



(3) 墓地の取得を希望しない方の墓地の状況

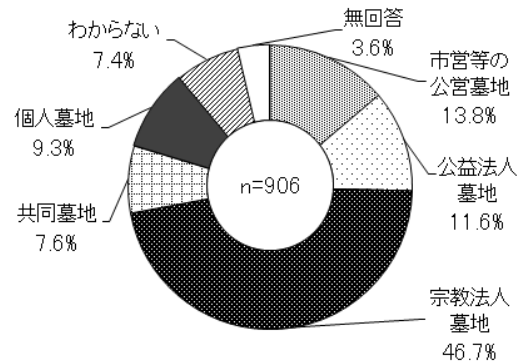
ア **墓地の取得を希望しない理由** [回答対象：墓地の取得を希望しない方 (=1,124)]

「自分の代以前から墓地があるため」(54.5%) が最も多く、「自分が取得した墓地があるため」(22.0%) を合わせた76.5%が、既に墓地を利用できる環境にあります。これは回答者全体(1,458人)の6割弱(59.0%)にあたります。



イ **取得または利用している墓地の種類**〔回答対象：墓地をお持ちの方及び利用できる墓地のある方(=906)〕

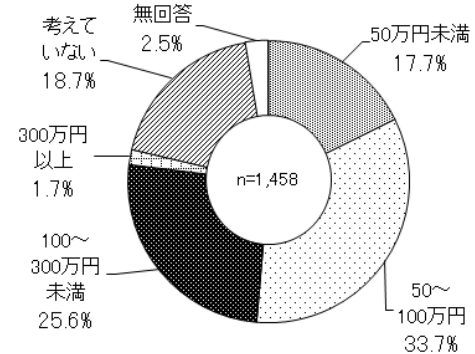
「宗教法人墓地」(46.7%)が最も多く、「市営等の公営墓地」は13.8%でした。



(4) 墓地を購入すると想定した場合の希望〔回答対象：全員(=1,458)〕

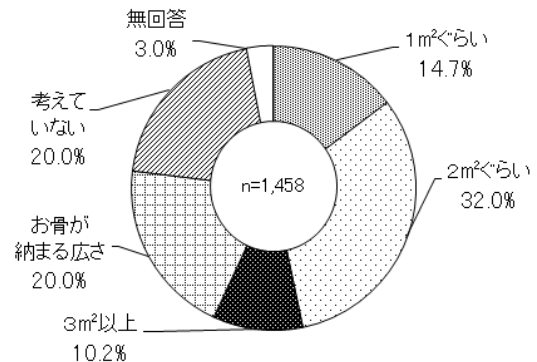
ア **墓地の総取得費**

「50～100万円未満」(33.7%)が最も多く、「50万円未満」(17.7%)と合わせると5割以上が100万円未満が適当と回答しています。



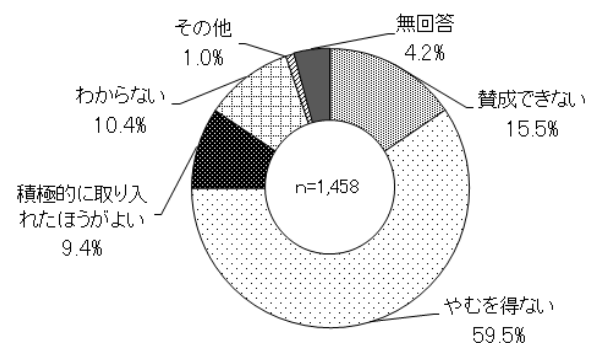
イ **墓地の広さ**

「2㎡ぐらい」(32.0%)が最も多い回答でした。



ウ **墓地の使用期限を定める制度について**

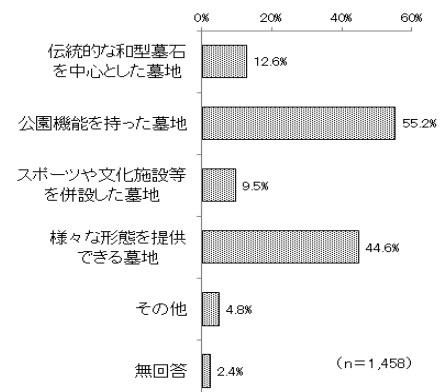
「やむを得ない」(59.5%)が最も多く、「積極的に取り入れたほうがよい」(9.4%)と合わせて約7割が使用期限を定める制度に理解を示しています。望ましい使用期限の長さは、「30年」(48.5%)が最も多い回答でした。



(5) 市営墓地の開発形態〔回答対象：全員(=1,458)〕

ア **今後横浜市が市営墓地を計画する場合の墓地の形態**

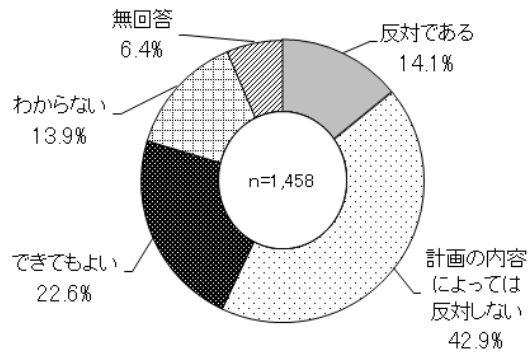
「豊かな緑に囲まれ散策や憩いの場として利用できる公園の機能を持った墓地」(55.2%)にすべき、との考えが最も多い回答でした。



(6) 近隣の墓地計画について〔回答対象：全員（=1,458）〕

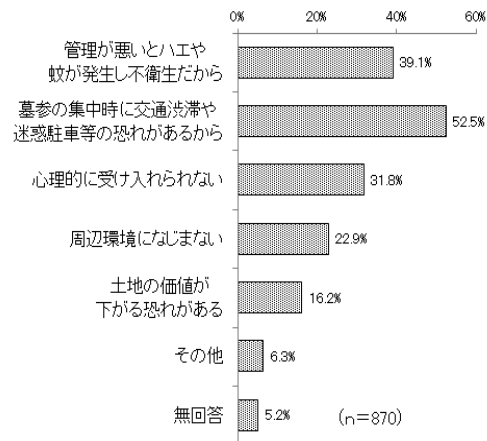
ア **近隣に墓地が計画されることについて**

「計画の内容によっては反対しない」(42.9%)が4割以上で最も多く、「反対である」は14.1%でした。



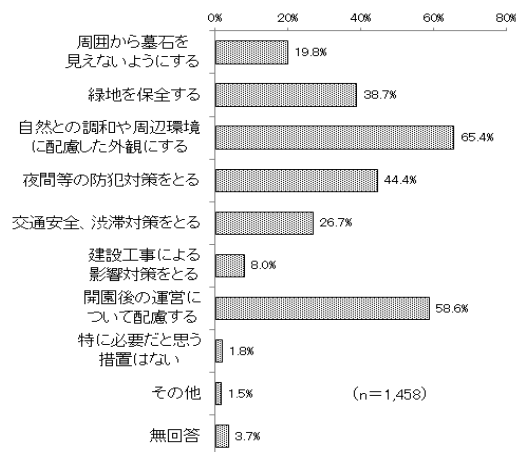
イ **反対の理由**

半数以上が「墓参が集中する時期に、周辺の交通渋滞や迷惑駐車等が発生する恐れがあるから」(52.5%)と回答しています。



ウ **墓地設置者がとるべき措置**

「自然との調和や周辺環境に配慮した外観にする」(65.4%)が最も多い回答でした。



3 墓地需要予測

(1) 墓地需要の推計式

需要推計には、平成元年開催の横浜市墓地問題研究会で定めた推計式を利用しました。

<横浜市墓地問題研究会方式の推計式>

$$\text{現在必要数} = \text{親族世帯数} \times \text{遺骨保持率}$$

平成 24 年の数値

$$\text{将来必要数} = \text{推定死亡者数} \times \text{墓地需要率} \times \text{定住志向率}$$

平成 25 年以降の数値

(2) 推計結果

(1)の推計式に基づいて推計した結果、平成 24 年から 43 年までの 20 年間の墓地必要数累計は、130,744 区画となりました。

※参考：前回（平成 19 年度）調査時の推計結果は、平成 19～38 年の 20 年間で 134,437 区画。

4 今後の予定

- ・報告書の公表（ホームページ掲載）〈平成 25 年 3 月中〉
- ・墓地整備検討の際の基礎数値として活用（墓地需要予測数値等）

横浜市墓地に関する市民アンケート調査
報 告 書

平成 25 年 3 月

横浜市健康福祉局

目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	
	(2) 調査主体及び調査機関	
	(3) 調査手法	
	(4) 調査項目	
	(5) 回収数（率）	
2	アンケート集計結果	
	(1) 結果の概要	3
	ア 回収率	
	イ 墓地需要率	
	ウ 墓地の取得を希望する回答者の意向	
	エ 墓地の取得を希望しない回答者の墓地の状況	
	オ 墓地を購入すると想定した場合の希望	
	カ 市営墓地の開発形態	
	キ 近隣の墓地計画について	
	ク 散骨について	
	(2) 調査結果	
	ア 回答者の属性	6
	イ 単純集計結果	10
	(ア) 墓地の取得希望について	
	(イ) 墓地を購入する場合の希望について	
	(ウ) 市営墓地の開発形態について	
	(エ) 近隣の墓地計画について	
	(オ) 散骨について	
	ウ クロス集計結果	28
	(ア) 属性別に見た墓地の取得希望について	
	(イ) 墓地の取得希望時期別に見た墓地の広さ	
	(ウ) 属性別に見た取得したい墓地の種類	
	(エ) 属性別、墓地の種類別に見た取得するとき最も重視する事項	
	(オ) 属性別、墓地の種類別に見た取得したい墓地の形式	
	(カ) 取得または利用している墓地の種類別、地域別に見た心配事	
	(キ) 墓地のある地域別に見たお墓参りの年間回数	
	(ク) 取得したい墓地の種類別に見た購入する場合の希望総取得費	
	(ケ) 属性別に見た墓地の使用範囲	
	(コ) 属性別に見た墓地の使用制限制度についての考え	
	(サ) 属性別に見た市営墓地の開発形態の希望	
	(シ) 属性別、墓地の取得希望別に見た近隣の墓地計画に対する賛否	
	(ス) 属性別に見た墓地設置者がとるべき措置	
	(セ) 墓地計画に対する賛否別に見た近隣の墓地に望む形態	
	(ソ) 性別、年代別に見た散骨についての考え	
	エ 自由記入の内容	68
3	需要予測	74
参考	過去の調査との比較	77
資料	アンケート調査票	83

1 調査の概要

(1) 調査の目的

少子高齢化の進展や単身世帯・夫婦のみ世帯の増加など社会状況が大きく変化する中で、結婚に対する意識や子どもを持つことに対する意識の変化が見られる。また、家族で一緒に過ごす時間が少なくなり、さらに、離れて暮らす家族が増えている。このように、家族観の多様化や家族のつながりに変化が見られることから、家族のあり方と関係が深いと思われる市民の葬送に対する考えや墓地に対する意識もまた変化してきていると考えられる。

このため、本調査を実施することで、市民の考えやニーズを把握し、将来の墓地需要数や供給方策の検討など、今後の墓地行政の参考にすることを目的とする。

(2) 調査主体及び調査機関

ア 企画・設計・調査・分析・編集 横浜市健康福祉局 健康安全部環境施設課、生活衛生課
総務部相談調整課

イ 集計・分析・編集 スタジオノブズ

(3) 調査手法

ア 調査地域：横浜市

イ 調査対象：20歳以上の男女個人

ウ 標本数：5,000件

エ 抽出方法：住民基本台帳リストから無作為抽出

オ 調査方法：郵送法

カ 調査時期：平成24年9月下旬～10月中旬

(4) 調査項目

本調査における調査項目の内容は、次のとおりとした。

ア 属性質問

(ア) 性別

(オ) 居住区

(イ) 年代

(カ) 祭祀承継の立場の有無

(ウ) 世帯主との続柄

(キ) 市内定住意向

(エ) 世帯構成

イ 一般質問

(ア) 墓地の取得希望

(イ) 取得を希望する理由・時期・地域・種類・重視事項・形式

(ウ) 取得を希望しない理由・取得済み墓地の実態

(エ) 市民が望む墓地、市営墓地の開発形態、近隣墓地計画への賛否、散骨についての考え

(オ) 自由意見

(5) 回収数（率）

1,458件（29.2%）

質問の構成

項目	問番号	設問	対象
属性質問	問1	性別、年代、世帯主との続柄、世帯構成、居住区、祭祀承継の立場の有無、市内定住意向	全員
墓地の取得希望	問2	墓地の取得希望	全員
	問3	(1) 希望理由 (付問 遺骨の状況)	取得希望者 (付問 遺骨保持者)
		(2) 取得希望時期	取得希望者
		(3) 取得したい地域	取得希望者
		(4) 取得希望墓地の種類	取得希望者
		(5) 取得するとき重視する事項	取得希望者
問4	(6) 墓地の形式 (付問 区画されたお墓のタイプ)	取得希望者 (付問 区画されたお墓の希望者)	
購入する場合の希望	問5	取得を希望しない理由 (付問 取得済み墓地の実態)	非希望者 (付問 墓地取得済者)
		(1) 取得額	全員
		(2) 広さ	全員
		(3) 使用する範囲	全員
開発形態	問6	(4) 使用期限制度についての考え (付問 使用期限の程度)	全員 (付問 使用期限制度の賛成者)
		今後の市営墓地の形態	全員
		近隣の墓地計画について	問7
(2) 設置者が取るべき措置	全員		
(3) 望ましい墓地の形態	全員		
散骨について	問8	散骨についての考え	全員

2 アンケート集計結果

(1) 結果の概要

ア 回収率

回収数 1,458 件で、回収率 29.2%であった。

以下で n は回答者数を示す。

イ 墓地需要率〔回答対象：全員 (n=1,458)〕(参照 P10)

墓地の取得を希望する回答は、22.4%である。

墓地の取得希望

墓地の取得を希望する 22.4% (327)	墓地の取得を希望しない 77.1% (1,124)	無回答 0.5% (7)
---------------------------	------------------------------	-----------------

ウ 墓地の取得を希望する回答者の意向〔回答対象：墓地取得希望者 (n=327)〕

墓地の取得を希望する人は、年代別では「60 歳代」(28.9%)が、また、先祖のお墓を守る立場別で見ると「お墓を守る立場にないと思う」人(38.8%)の取得希望が多くなっている。(P28、32)

(ア) 墓地の取得を希望する理由 (P11)

「遺骨はないが、将来のために取得したい」(78.3%)が最も多く、「遺骨があるので墓地がほしい」は5.8%に留まった。

(イ) 取得希望時期 (P12)

「わからない、または考えていない」(36.7%)が4割弱で最も多かった。「10年以上先でもよい」(20.2%)、「10年以内に取得したい」(16.8%)がそれに続く。

(ウ) 取得したい地域 (P12)

「横浜市内在がよい」(53.2%)が最も多く、「徒歩圏内の近隣がよい」(16.2%)と合わせると、約7割が市内等比較的近い場所を希望している。

(エ) 取得したい墓地の種類 (P13、34)

横浜市営墓地(46.2%)が最も多く、「こだわらない」(26.9%)、「わからない、または考えていない」(18.7%)がそれに続く。

一方、「公益法人墓地」(1.8%)や「宗教法人墓地」(2.4%)など民営の墓地を希望する回答はわずかだった。

また、「横浜市営墓地」の取得希望者は、「60歳代」が65.9%、「70歳以上」が70.0%と年代が高いほど回答が多くなっている。

(オ) 取得するとき最も重視する事項 (P13、42)

4割以上が「お墓の価格、維持管理費」(43.1%)と回答している。

取得したい墓地の種類別で見ても、「横浜市営墓地」(47.0%)、「公益法人墓地」(33.3%)、「宗教法人墓地」(37.5%)のいずれも「お墓の価格、維持管理費」が最も多かった。

(カ) 取得したい墓地の形式 (P14)

「個々に区画されたお墓」(60.6%)の希望が6割で最も多く、「こだわらない」(16.5%)、「納骨堂」(8.6%)、「合葬型のお墓」(8.6%)がそれに続く。

エ 墓地の取得を希望しない回答者の墓地の状況〔回答対象：墓地取得非希望者（n=1,124）〕

(ア) 墓地の取得を希望しない理由（P15）

「自分の代以前から墓地があるため」（54.5%）が最も多く、「自分が取得した墓地があるため」（22.0%）を合わせた76.5%が既に墓地を利用できる環境にあるため希望しないことがわかる。これは回答者全体からみると、6割弱（59.0%）にあたる。

(イ) 取得または利用している墓地の種類（P15）

「宗教法人墓地」（46.7%）が最も多く、「市営等の公営墓地」は13.8%であった。

(ロ) 取得または利用している墓地のある地域（P16）

「横浜市内」（43.6%）が4割強で最も多く、「その他の都道府県」（38.3%）がそれに続く。

(ハ) 取得または利用している墓地の総取得費（P17）

半数以上が「わからない」（53.6%）と回答している。価格の回答のあったうちでは「100～300万円未満」（21.1%）が最も多かった。

(ニ) 取得または利用している墓地の年間管理費（P17）

「1万円～2万円未満」（20.8%）と「5千円～1万円未満」（19.3%）がともに2割程度であった。

(ホ) 取得または利用している墓地の心配事（P18、49）

半数近くが「心配事はない」（45.5%）と回答している。心配事の中では「承継者がいない」（18.7%）が2割弱で最も多かった。

心配事の「お墓の手入れが行き届かない」は、「横浜市内」（7.6%）、「神奈川県内」（11.3%）、「他の都道府県」（24.2%）の順で遠隔地の墓地ほど手入れの心配が大きくなっている。

(ヘ) お墓参りの年間回数（P18）

「年1～2回」（30.7%）と「年3～4回」（28.8%）がともに多く、合わせて約6割であった。

オ 墓地を購入すると想定した場合の希望〔回答対象：全員（n=1,458）〕

(ア) 墓地の総取得費（P19）

「50～100万円未満」（33.7%）が最も多く、「50万円未満」（17.7%）と合わせると5割以上が、100万円未満が適当だと考えている。

(イ) 墓地の広さ（P19、33、77）

「2㎡ぐらい」（32.0%）が最も多く、「お骨が納まる広さがあればよい」（20.0%）がそれに続く。

また、「2年以内」の早期に取得を希望している人は、適当と考える墓地の広さについて「お骨が納まる広さがあればよい」（37.1%）と回答している人が最も多かった。

過去の調査と比較すると、「3㎡以上」の回答が大きく減っている。

（S62 62.3% → H6 47.8% → H14 12.0% → H24 10.2%）

〈参考〉市営墓地（久保山、三ツ沢、日野）で最も多い区画の面積は、3.3㎡で全体の区画数の約2割を占めている。

(ウ) **墓地の使用範囲** (P20、54)

「先祖代々がよい」(45.6%)が半数弱で最も多く、「夫婦でよい」(18.3%)がそれに続く。先祖のお墓を守る立場別で見ると、「お墓を守る立場にないと思う」人では「夫婦でよい」(30.0%)が多く、「先祖代々」(26.1%)を上回っている。

(エ) **墓地の使用期限制度について** (P21)

「墓地を有効に利用するため墓地の使用について更新できることを条件に、10年から30年程度の使用期限を定める制度」については、約6割が「やむを得ない」(59.5%)と回答している。「積極的に取り入れたほうがよい」(9.4%)と合わせて約7割が、使用期限を定める制度に理解を示している。使用期限の長さについては5割程度が「30年」(48.5%)が望ましいと回答している。

カ 市営墓地の開発形態〔回答対象：全員 (n=1,458)〕

(ア) **今後横浜市が市営墓地を計画する場合の墓地の形態** (P22)

「豊かな緑に囲まれ散策や憩いの場として利用できる公園の機能を持った墓地」(55.2%)が最も多く、「個々に区画されたお墓、納骨堂、合葬型のお墓など様々な形態を提供できる墓地」(44.6%)がそれに続く。

キ 近隣の墓地計画について〔回答対象：全員 (n=1,458)〕

(ア) **近隣に墓地が計画されることについて** (P23、60)

「計画の内容によっては反対しない」(42.9%)が4割以上あり最も多かった。「できてもよい」(22.6%)、「反対である」(14.1%)がそれに続く。なお、「反対である」の構成比を各年代別で見ると「20歳代」が24.6%で最も高く、「60歳代」が8.5%で最も低かった。

(イ) **反対の理由** (P23)

半数以上が「墓参が集中する時期に、周辺の交通渋滞や迷惑駐車等が発生する恐れがあるから」(52.5%)を上げており、「管理が悪いとハエや蚊が発生し不衛生だから」(39.1%)、「心理的に受け入れられないから」(31.8%)がそれに続く。「心理的に受け入れられない」要因となるイメージとして、3分の2が「怖い」(66.8%)と回答している。「暗い」(58.8%)、「墓石だらけで荒涼としている」(40.4%)がそれに続いている。

(ウ) **墓地設置者がとるべき措置** (P25、64)

「自然との調和や周辺環境に配慮した外観にする」(65.4%)が最も多く、「開園後の運営(供物等の衛生対策、線香の煙等)について配慮する」(58.6%)がそれに続く。

年代別では「20歳代」から「40歳代」の若い世代では「開園後の運営について配慮する」が1位になっている。また、「20歳代」から「40歳代」では「夜間等の防犯対策をとる」の回答率が高く、「50歳代」から「70歳以上」では「緑地を保全する」が高い。

(エ) **近隣開発で望む墓地の形態** (P26)

住まいの近くに開発される場合の墓地の形態としては、「芝生型のお墓」(42.0%)が最も多い。「合葬型のお墓」(28.2%)がそれに続く。

ク 散骨について〔回答対象：全員 (n=1,458)〕

(ア) **散骨について** (P27)

「理解はできるが自分はしたくない(されたくない)」(37.8%)が4割弱で最も多い。一方、「自分はしたい(されたい)」(22.6%)、という考えや「わからない」(21.9%)という回答も2割程度あった。

(2) 調査結果

<調査結果の集計にあたって>

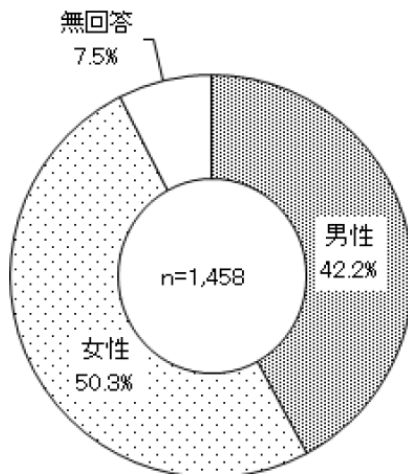
- ・各設問ごとの集計で用いる n は、その設問の回答者数とする。
- ・各設問の集計表中の%値は、回答者数に対する各選択肢の構成比とする。
- ・集計表中の%値は、次の理由により各選択肢の構成比の合計が 100.0%にならないことがある。

- ①四捨五入の関係
- ②複数回答がある

ア 回答者の属性

(7) 性別

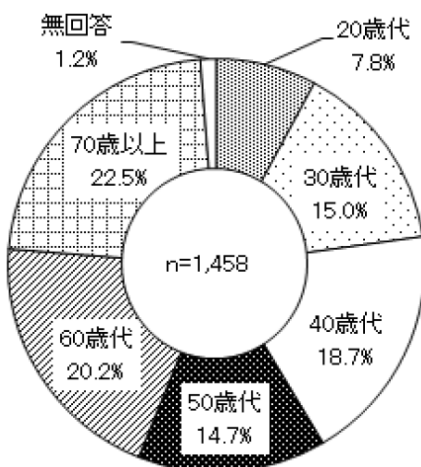
問 1. あなた自身のことについておたずねします。(性別)



回答	回答数	%
男性	615	42.2
女性	734	50.3
無回答	109	7.5
計 (n)	1,458	100.0

(イ) 年代

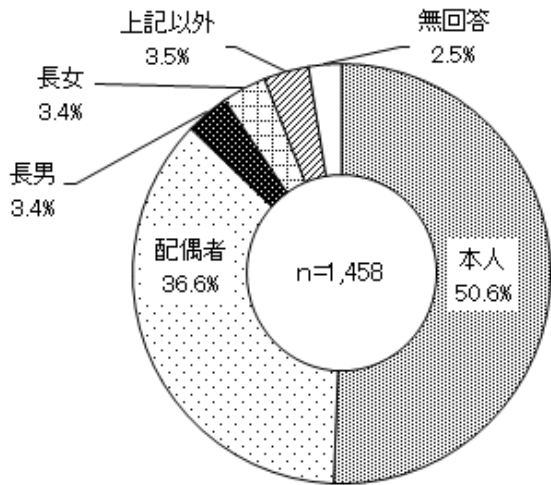
問 1. あなた自身のことについておたずねします。(年齢)



回答	回答数	%
20歳代	114	7.8
30歳代	218	15.0
40歳代	272	18.7
50歳代	214	14.7
60歳代	294	20.2
70歳以上	328	22.5
無回答	18	1.2
計 (n)	1,458	100.0

(ウ) 世帯主との続柄

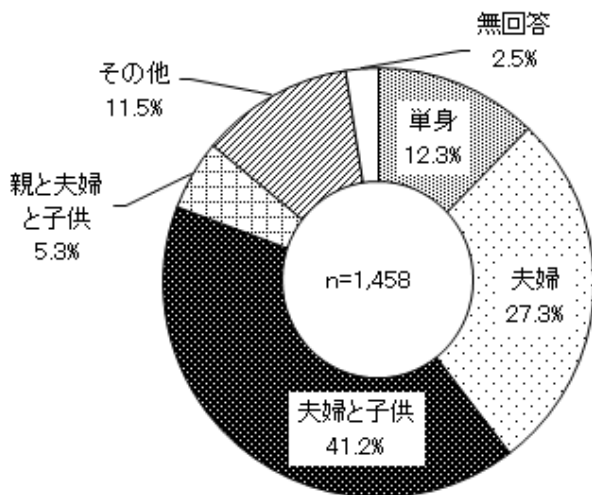
問1. あなた自身のことについておたずねします。(世帯主との続柄)



回答	回答数	%
本人	738	50.6
配偶者	533	36.6
長男	49	3.4
長女	50	3.4
上記以外	51	3.5
無回答	37	2.5
計 (n)	1,458	100.0

(I) 世帯構成

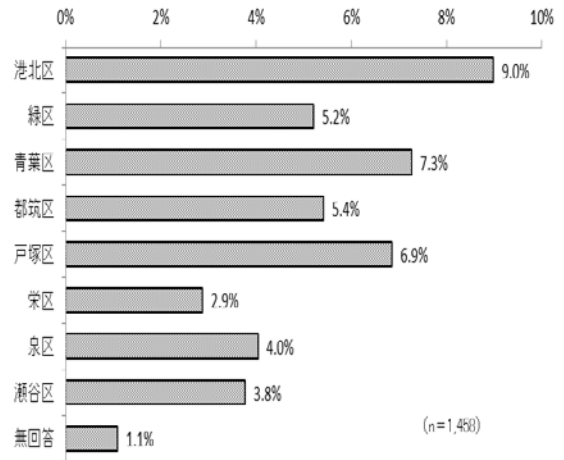
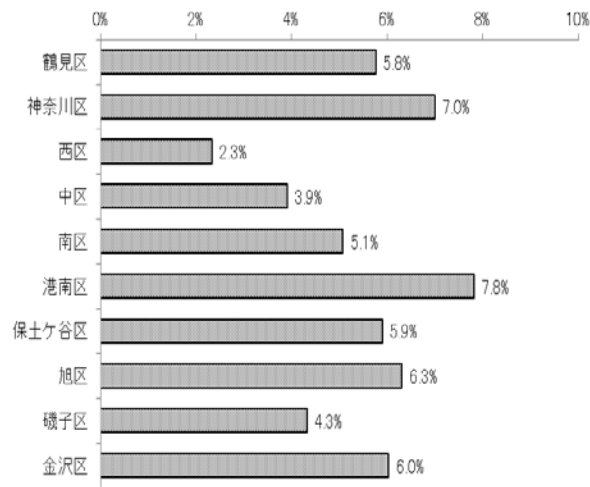
問1. あなた自身のことについておたずねします。(世帯構成)



回答	回答数	%
単身	179	12.3
夫婦	398	27.3
夫婦と子供	600	41.2
親と夫婦と子供	77	5.3
その他	168	11.5
無回答	36	2.5
計 (n)	1,458	100.0

(オ) 居住区

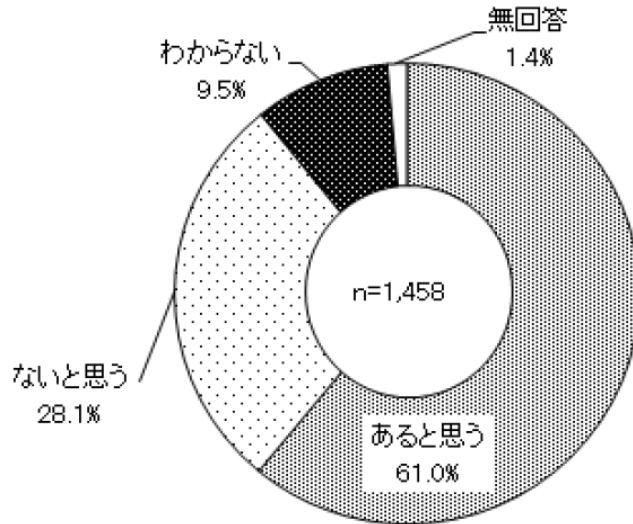
問1. あなた自身のことについておたずねします。(現在お住まいの住所は)



回答	回答数	%
鶴見区	84	5.8
神奈川区	102	7.0
西区	34	2.3
中区	57	3.9
南区	74	5.1
港南区	114	7.8
保土ヶ谷区	86	5.9
旭区	92	6.3
磯子区	63	4.3
金沢区	88	6.0
港北区	131	9.0
緑区	76	5.2
青葉区	106	7.3
都筑区	79	5.4
戸塚区	100	6.9
栄区	42	2.9
泉区	59	4.0
瀬谷区	55	3.8
無回答	16	1.1
計 (n)	1,458	100.0

(カ) 先祖のお墓を守る立場に

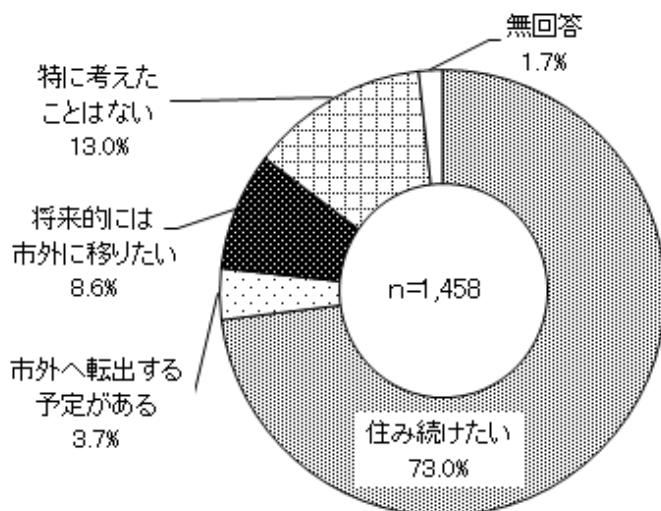
問1. あなた自身のことについておたずねします。(先祖のお墓を守る立場に)



回答	回答数	%
あると思う	890	61.0
ないと思う	410	28.1
わからない	138	9.5
無回答	20	1.4
計 (n)	1,458	100.0

(キ) 市内定住意向

問1. あなた自身のことについておたずねします。(今後の市内居住について)



回答	回答数	%
住み続けたい	1,065	73.0
市外へ転出する予定がある	54	3.7
将来的には市外に移りたい	125	8.6
特に考えたことはない	189	13.0
無回答	25	1.7
計 (n)	1,458	100.0

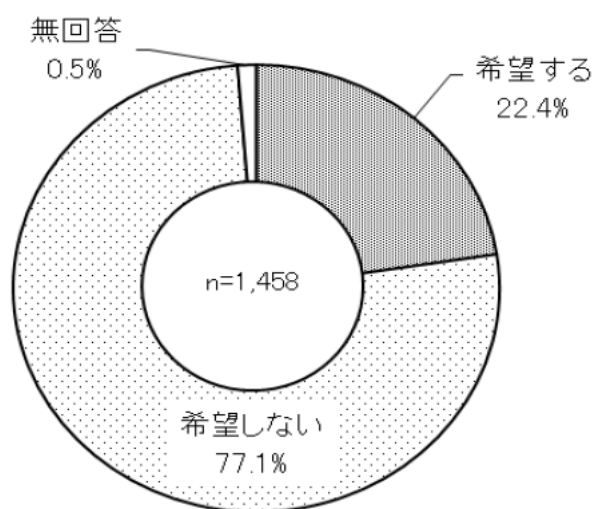
イ 単純集計結果

(7) 墓地の取得希望について

a 墓地の取得希望

22.4%が墓地の取得を希望している。

問2. あなたは墓地の取得を希望していますか。



回答	回答数	%
希望する	327	22.4
希望しない	1,124	77.1
無回答	7	0.5
計 (n)	1,458	100.0

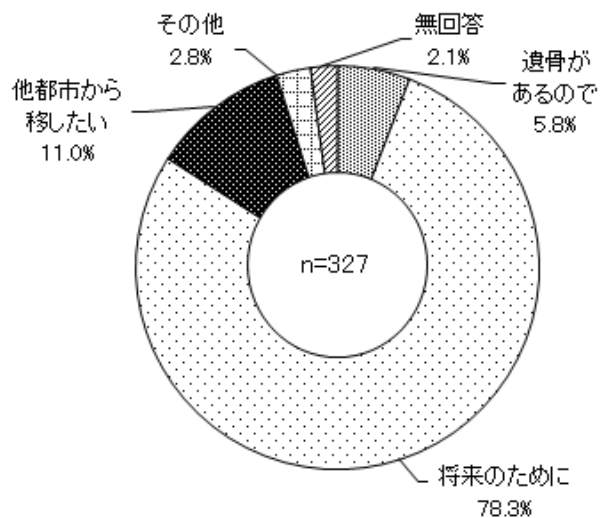
b 取得を希望する理由

墓地の取得を希望する理由は、「遺骨はないが、将来のために」(78.3%) が約8割を占め最も多く、「遺骨があるので」は5.8%に留まっている。遺骨保持率は、回答者全体(n=1,458) から見ると1.3%であった。

遺骨保持者の約4割が遺骨を「寺院等に預けている」(42.1%)。

問3. 問2で墓地の取得を「希望する」とお答えの方におたずねします。

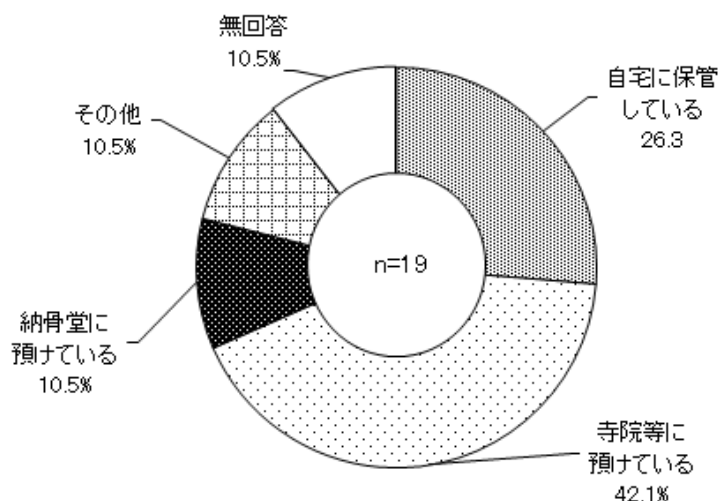
(1) 墓地の取得を希望している理由は次のどれですか。(主な理由を1つ)



回答	回答数	%
遺骨があるので	19	5.8
将来のために	256	78.3
他都市から移したい	36	11.0
その他	9	2.8
無回答	7	2.1
回答者数 (n)	327	100.0

付問 (1)で遺骨があるとお答えの方におたずねします。

現在、お持ちの遺骨をどうしていますか。(保管場所等)



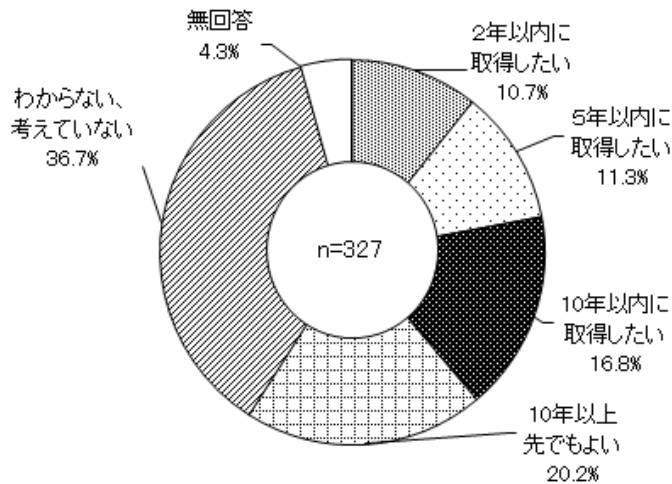
回答	回答数	%
自宅に保管している	5	26.3
寺院等に預けている	8	42.1
納骨堂に預けている	2	10.5
その他	2	10.5
無回答	2	10.5
回答者数 (n)	19	100.0

c 取得希望時期

「わからない、または考えていない」(36.7%)が最も多かった。「10年以上先でもよい」(20.2%)、「10年以内に取得したい」(16.8%)がそれに続く。

問3. 問2で墓地の取得を「希望する」とお答えの方におたずねします。

(2) あなたは墓地をいつごろ取得するお考えですか。



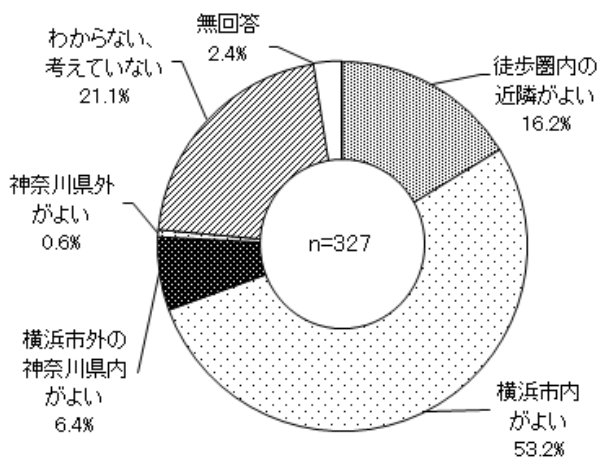
回答	回答数	%
2年以内に取得したい	35	10.7
5年以内に取得したい	37	11.3
10年以内に取得したい	55	16.8
10年以上先でもよい	66	20.2
わからない、考えていない	120	36.7
無回答	14	4.3
計 (n)	327	100.0

d 取得したい地域

墓地を取得したい地域は、「横浜市内がよい」(53.2%)が半数以上で最も多く、「徒歩圏内の近隣がよい」(16.2%)を合わせると、約7割(69.4%)が市内等比較的近い場所の墓地を希望している。

問3. 問2で墓地の取得を「希望する」とお答えの方におたずねします。

(3) あなたは墓地をどの地域に取得したいとお考えですか。



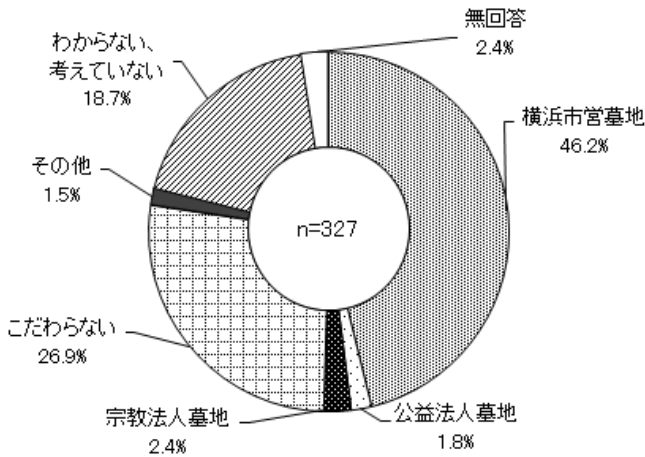
回答	回答数	%
徒歩圏内の近隣がよい	53	16.2
横浜市内がよい	174	53.2
横浜市内外の神奈川県内がよい	21	6.4
神奈川県外がよい	2	0.6
わからない、考えていない	69	21.1
無回答	8	2.4
計 (n)	327	100.0

e 取得したい墓地の種類

取得したい墓地の種類は、「横浜市営墓地（横浜市が設置した墓地）」（46.2%）が4割台で最も多く、「こだわらない」（26.9%）、「わからない、または考えていない」（18.7%）がそれに続く。「公益法人墓地（財団法人が設置した墓地）」（1.8%）や「宗教法人墓地（寺院、教会等が設置した墓地）」（2.4%）など民営の墓地を希望する回答はわずかだった。

問3. 問2で墓地の取得を「希望する」とお答えの方におたずねします。

(4) あなたが取得したい墓地は次のどれですか。（主なものを1つ）



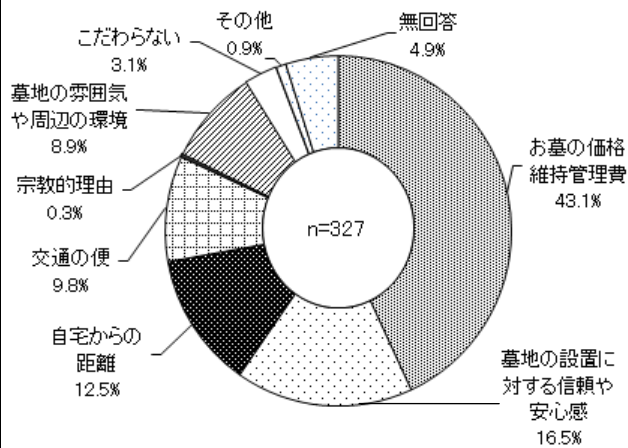
回答	回答数	%
横浜市営墓地	151	46.2
公益法人墓地	6	1.8
宗教法人墓地	8	2.4
こだわらない	88	26.9
その他	5	1.5
わからない、考えていない	61	18.7
無回答	8	2.4
計 (n)	327	100.0

f 墓地を取得するとき最も重視する事項

取得するとき最も重視する事項は4割以上が「お墓の価格、維持管理費」（43.1%）と回答している。「墓地の設置者に対する信頼や安心感」（16.2%）や「自宅からの距離」（12.5%）がそれに続いている。

問3. 問2で墓地の取得を「希望する」とお答えの方におたずねします。

(5) 取得するとき最も重視する事項はどれですか。（主なものを1つ）



回答	回答数	%
お墓の価格、維持管理費	141	43.1
墓地の設置者に対する信頼や安心感	54	16.5
自宅からの距離	41	12.5
交通の便	32	9.8
宗教的理由（宗旨宗派）	1	0.3
墓地の雰囲気や周辺の環境	29	8.9
こだわらない	10	3.1
その他	3	0.9
無回答	16	4.9
計 (n)	327	100.0

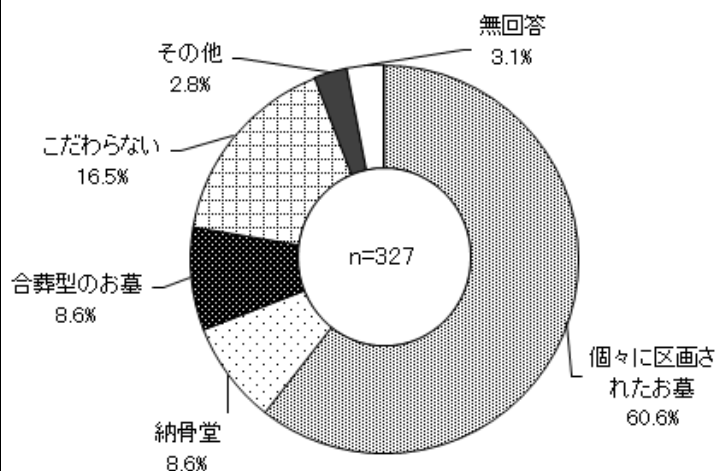
g 取得したい墓地の形式

取得したい墓地の形式としては、「個々に区画されたお墓」(60.6%)の希望が6割で最も多く、「こだわらない」(16.5%)、「納骨堂(遺骨を屋内の納骨壇に安置する施設)」(8.6%)、「合葬型のお墓(多数の方が共同で祀られるお墓)」(8.6%)がそれに続く。「その他」の具体的記述では、「樹林墓地」や「ペットとの合葬」などの回答があった。

また、「個々に区画されたお墓」の墓標はどのようなものがよいかは、「横長の洋型の墓石」(34.3%)が最も多く、「伝統的な縦長の和型墓石」(30.3%)、「プレート型の墓石」(26.8%)がそれに続いている。

問3. 問2で墓地の取得を「希望する」とお答えの方におたずねします。

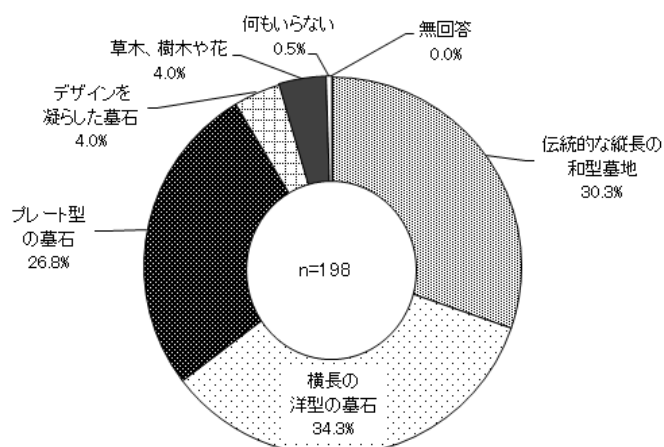
(6) あなたは今後墓地を取得するとしたらどのような墓地を求められますか。



回答	回答数	%
個々に区画されたお墓	198	60.6
納骨堂	28	8.6
合葬型のお墓	28	8.6
こだわらない	54	16.5
その他	9	2.8
無回答	10	3.1
計 (n)	327	100.0

付問 (6)で「個々に区画されたお墓」とお答えの方におたずねします。

墓標はどのようなものがよいとお考えですか。別紙「墓標のいろいろ」のイラストをご覧になりお答えください。



回答	回答数	%
伝統的な縦長の和型墓地	60	30.3
横長の洋型の墓石	68	34.3
プレート型の墓石	53	26.8
デザインを凝らした墓石	8	4.0
草木、樹木や花	8	4.0
何もいない	1	0.5
無回答	0	0.0
回答者数 (n)	198	100.0

h 墓地の取得を希望しない理由

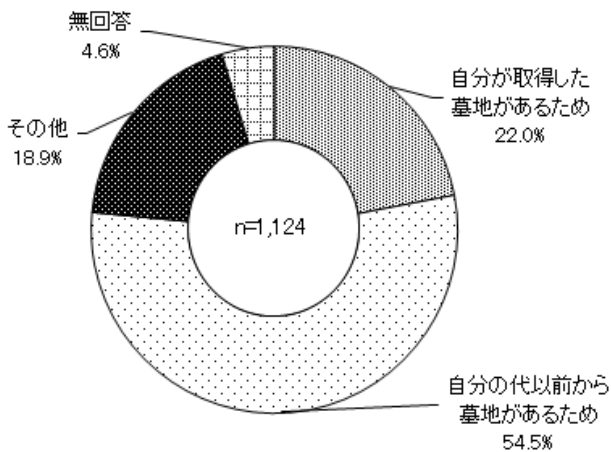
墓地の取得を希望しない理由は「自分の代以前から墓地があるため」(54.5%)が5割以上で最も多く、「自分が取得した墓地があるため」(22.0%)を合わせると、取得を希望しない人の4分の3が、既に墓地を利用できる環境にあるため希望しないことがわかる。

既に墓地を利用できる環境にある人の割合は、回答者全体(n=1,458)から見ると、59.0%である。

「その他」では157件の記述があった。最も多かったのは「墓は不要である」(36件)というもので、続いて、「まだ考えていない」(33件)、「散骨を希望」(25件)、「承継者がいない、子どもに負担をかけたくない」など将来の維持管理の不安に関するもの(17件)があった。このほか、「(郷里や親族の墓地など)利用できる墓がある」(12件)や「最終居住地が分からないので」(7件)など横浜市内での墓地の取得を希望しない回答もあった。

問 4. 問 2 で「希望しない」とお答えの方におたずねします。

(1) 希望しない理由をお聞かせください(主な理由を1つ)



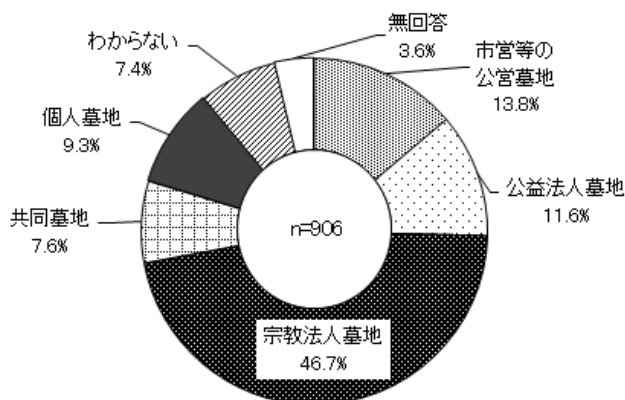
回答	回答数	%
自分が取得した墓地があるため	247	22.0
自分の代以前から墓地があるため	613	54.5
その他	212	18.9
無回答	52	4.6
計 (n)	1,124	100.0

i 取得または利用している墓地の種類

取得または利用している墓地の種類は「宗教法人墓地(寺院、教会等が設置した墓地)」(46.7%)が半数近くで最も多く、「市営等の公営墓地」は13.8%であった。

問 4(1)付問 墓地をお持ちの方及び利用できる墓地のある方におたずねします。

(i) あなたの墓地は、次のどれですか。



回答	回答数	%
市営等の公営墓地	125	13.8
公益法人墓地	105	11.6
宗教法人墓地	423	46.7
共同墓地	69	7.6
個人墓地	84	9.3
わからない	67	7.4
無回答	33	3.6
計 (n) ※	906	100.0

※問 4 (1)では「その他」「無回答」だが(i)に回答のあったものを加えて集計。以下、(vii)まで回答者数(n)は、この数を用いる。

じ 取得または利用している墓地のある地域

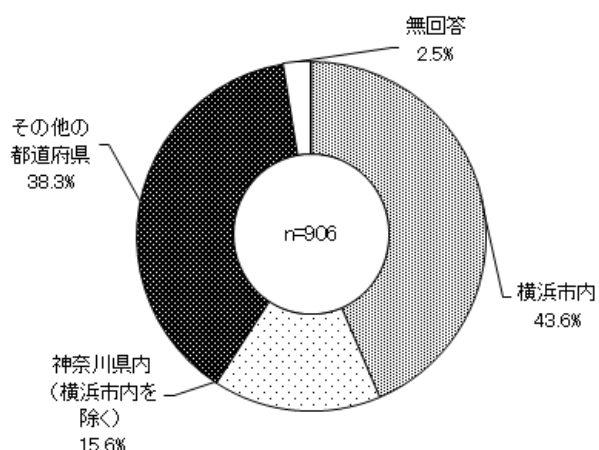
取得または利用している墓地のある地域は「横浜市内」(43.6%)が4割強で最も多く、「その他の都道府県」(38.3%)がそれに続く。

具体的な地域名では301件の記入があった。都道府県名で集計すると、多い順に

- ① 東京都 91、② 静岡県 30、③ 千葉県 15、④ 山梨県 12、⑤ 大阪府・埼玉県 11 などである。

問 4(1) 付問 墓地をお持ちの方及び利用できる墓地のある方におたずねします。

(ii) あなたの墓地は、どの地域にありますか。



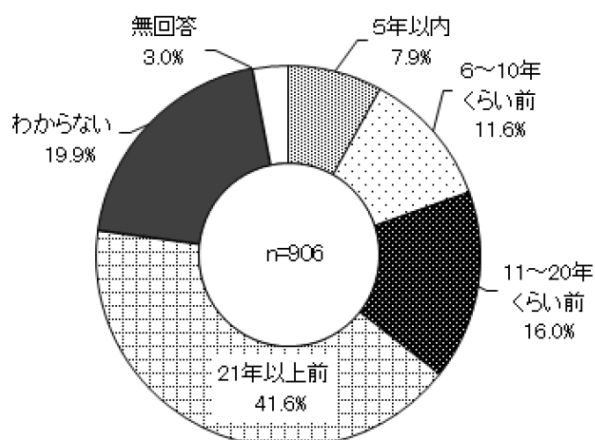
回答	回答数	%
横浜市内	395	43.6
神奈川県内 (横浜市内を除く)	141	15.6
その他の都道府県	347	38.3
無回答	23	2.5
計 (n)	906	100.0

き 取得または利用している墓地の購入時期

取得または利用している墓地の購入時期は4割以上が「21年以上前」(41.6%)で、「わからない」(19.9%)も2割ある。

問 4(1) 付問 墓地をお持ちの方及び利用できる墓地のある方におたずねします。

(iii) いつごろ購入しましたか。



回答	回答数	%
5年以内	72	7.9
6~10年くらい前	105	11.6
11~20年くらい前	145	16.0
21年以上前	377	41.6
わからない	180	19.9
無回答	27	3.0
計 (n)	906	100.0

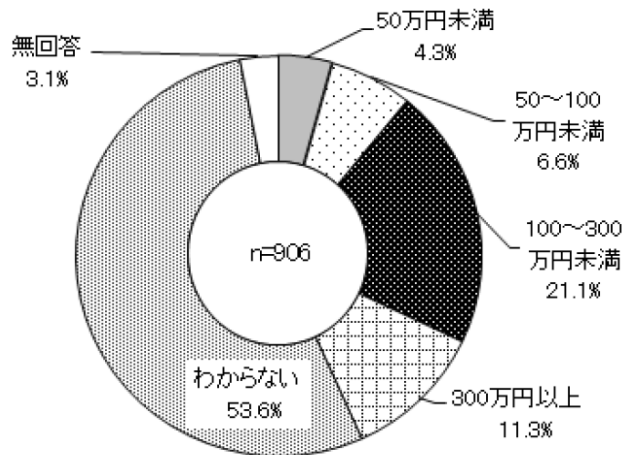
l 取得または利用している墓地の総取得費

取得または利用している墓地の総取得費^{*}は、半数以上が「わからない」(53.6%)と回答している。価格の回答があったうちでは「100～300万円未満」(21.1%)が2割で最も多い。

(※総取得費とは、永代使用料、墓石代、工事代等取得時にかかる総額)

問 4(1) 付問 墓地をお持ちの方及び利用できる墓地のある方におたずねします。

(iv) 墓地の総取得費はいくらでしたか。



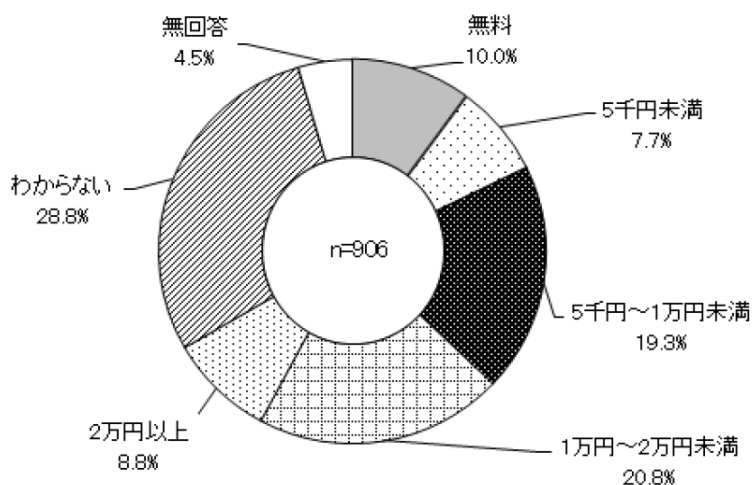
回答	回答数	%
50万円未満	39	4.3
50～100万円未満	60	6.6
100～300万円未満	191	21.1
300万円以上	102	11.3
わからない	486	53.6
無回答	28	3.1
計 (n)	906	100.0

m 取得または利用している墓地の年間の管理費

取得または利用している墓地の年間の管理費は、「1万円～2万円未満」(20.8%)と「5千円～1万円未満」(19.3%)がともに2割程度あった。3割弱が「わからない」(28.8%)と回答している。

問 4(1) 付問 墓地をお持ちの方及び利用できる墓地のある方におたずねします。

(v) 年間の管理費 (清掃料など維持にかかる費用)



回答	回答数	%
無料	91	10.0
5千円未満	70	7.7
5千円～1万円未満	175	19.3
1万円～2万円未満	188	20.8
2万円以上	80	8.8
わからない	261	28.8
無回答	41	4.5
計 (n)	906	100.0

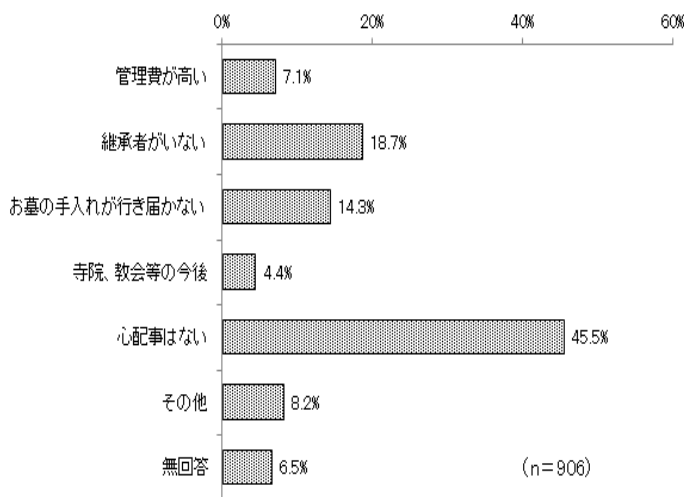
n 取得または利用している墓地の心配事

将来も含めた取得または利用している墓地の心配事は、半数近くが「心配事はない」(45.5%)と回答している。心配事の中では「承継者がいない」(18.7%)が2割弱で最も多い。

「その他」では55件の記入があり、「遠い、交通が不便」(19件)、「承継者はいるが維持してくれるか・将来承継者がいなくなる」など承継者に関する不安(15件)などが多かった。

問 4(1) 付問 墓地をお持ちの方及び利用できる墓地のある方におたずねします。

(vi) 将来も含め墓地の心配事は何ですか。



回答	回答数	%
管理費が高い	64	7.1
承継者がいない	169	18.7
お墓の手入れが行き届かない	130	14.3
寺院、教会等の今後	40	4.4
心配事はない	412	45.5
その他	74	8.2
無回答	59	6.5
回答者数 (n)	906	

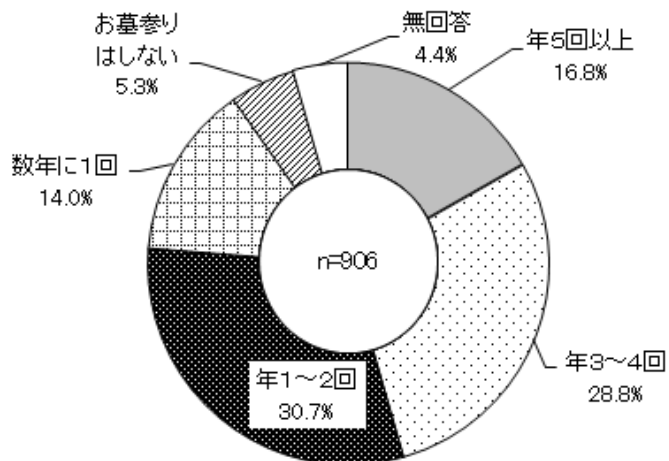
回答数は複数回答含む

o お墓参りの年間回数

お墓参りの頻度は、「年1～2回」(30.7%)と「年3～4回」(28.8%)がともに多く、合わせて約6割あった。

問 4(1) 付問 墓地をお持ちの方及び利用できる墓地のある方におたずねします。

(vii) あなたは普段どの程度お墓参りをしますか。



回答	回答数	%
年5回以上	152	16.8
年3～4回	261	28.8
年1～2回	278	30.7
数年に1回	127	14.0
お墓参りはしない	48	5.3
無回答	40	4.4
計 (n)	906	100.0

(イ) 墓地を購入すると想定した場合の希望

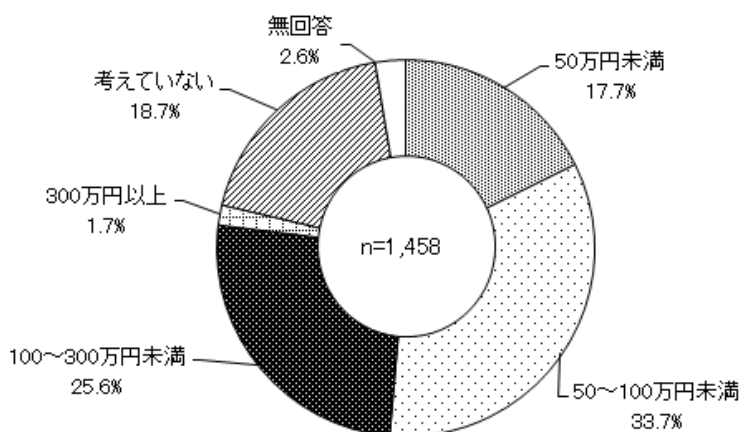
a 適当だと思う墓地の取得費用

墓地を購入すると想定した場合、適当だと思う墓地の総取得費^{*}は、「50～100 万円未満」(33.7%) という回答が3分の1あり、「50万円未満」(17.7%) と合わせると、全体の半数が、100万円未満が適当だと考えている。

(※総取得費とは、永代使用料、墓石代、工事代等取得時にかかる総額)

問 5. あなたが墓地を購入すると想定してお答えください。

(1) 墓地の総取得費はどのくらいが適当とお考えですか。



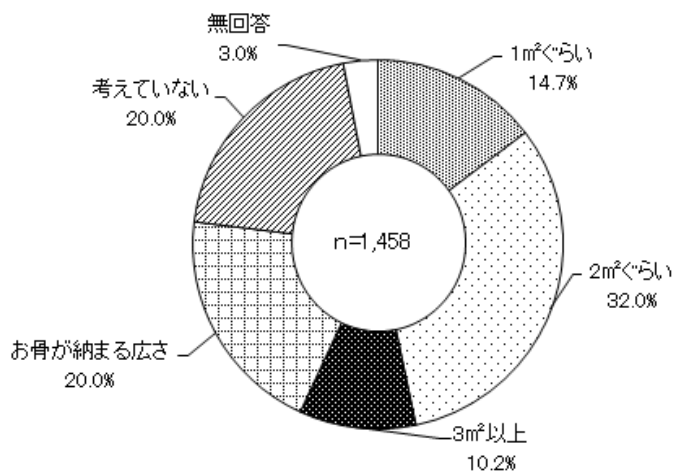
回答	回答数	%
50万円未満	258	17.7
50～100万円未満	491	33.7
100～300万円未満	373	25.6
300万円以上	25	1.7
考えていない	273	18.7
無回答	38	2.6
計 (n)	1,458	100.0

b 適当だと思う墓地の広さ

墓地を購入すると想定した場合、適当だと思う墓地の広さは「2 m² (1.4m×1.4m) ぐらい」(32.0%) という回答が3分の1で最も多く、「お骨が納まる広さがあればよい」(20.0%)、「考えていない」(20.0%) がそれに続いている。

問 5. あなたが墓地を購入すると想定してお答えください。

(2) 墓地の広さは、どのくらいが適当とお考えですか。



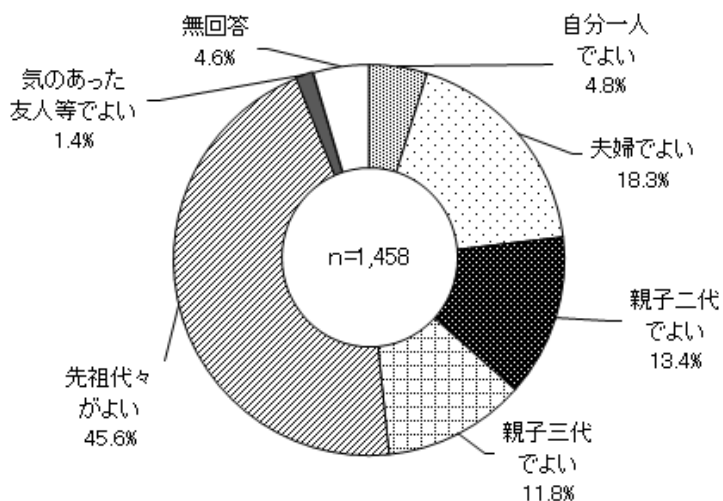
回答	回答数	%
1㎡ぐらい	214	14.7
2㎡ぐらい	467	32.0
3㎡以上	149	10.2
お骨が納まる広さ	292	20.0
考えていない	292	20.0
無回答	44	3.0
計 (n)	1,458	100.0

c 墓地の使用範囲

墓地をどのような範囲で使用すればよいかは、「先祖代々がよい」（45.6%）が半数弱で最も多く、「夫婦でよい」（18.3%）がそれに続いている。

問5. あなたが墓地を購入すると想定してお答えください。

(3) 墓地はどのような範囲で使用すればよいとお考えですか。



回答	回答数	%
自分一人でよい	70	4.8
夫婦でよい	267	18.3
親子二代でよい	196	13.4
親子三代でよい	172	11.8
先祖代々がよい	665	45.6
気のあった友人等でよい	21	1.4
無回答	67	4.6
計 (n)	1,458	100.0

d 墓地の使用期限制度について

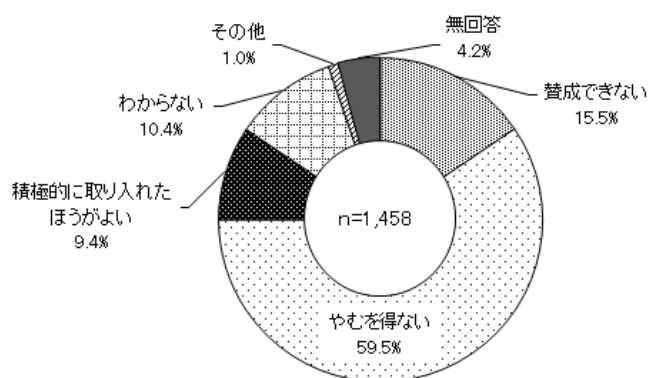
「墓地を有効に利用するため墓地の使用について更新できることを条件に、10年から30年程度の使用期限を定める制度」についてたずねたところ、約6割が「承継者がいなくなると無縁墓地となるため、この制度もやむを得ない」(59.5%)と回答している。「他の人の再使用が可能となるため、積極的にこの制度を取り入れた方がよい」(9.4%)と合わせると、全体の約7割が、使用期限を定める制度に理解を示している。

使用期限の長さとしては、約半数が「30年」(48.5%)程度が望ましいと回答している。

「その他」の記述では、一律に制度化せず、承継者の有無や地域性などで個別に考えるべきという意見があった。また、使用期限については70件の記述があり、主なものは「承継者がいなくなったとき」(22件)、本人(生前)や承継者の「希望制(申告制)」(8件)などであった。

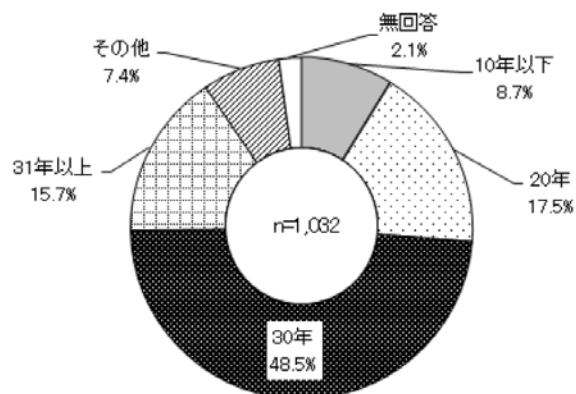
問5. あなたが墓地を購入すると想定してお答えください。

- (4) 墓地を有効に利用するため墓地の使用について更新できることを条件に、10年から30年程度の使用期限を定める制度があります。(承継者がいない墓地は、墓園内の無縁合葬墓へ改葬されることが前提となっています。) あなたはこのことについて、どのようにお考えですか。



回答	回答数	%
賛成できない	226	15.5
やむを得ない	868	59.5
積極的に取り入れたほうがよい	137	9.4
わからない	151	10.4
その他	15	1.0
無回答	61	4.2
計 (n)	1,458	100.0

付問 この制度を「やむを得ない」、「取り入れたほうがよい」とお答えの方におたずねします。使用期限はどの程度が望ましいとお考えですか。



回答	回答数	%
10年以下	90	8.7
20年	181	17.5
30年	501	48.5
31年以上	162	15.7
その他	76	7.4
無回答	22	2.1
計 (n) ※	1,032	100.0

※問5(4)では「無回答」だが使用期限の回答のあったものを加えて集計

(ウ) 市営墓地の開発形態について

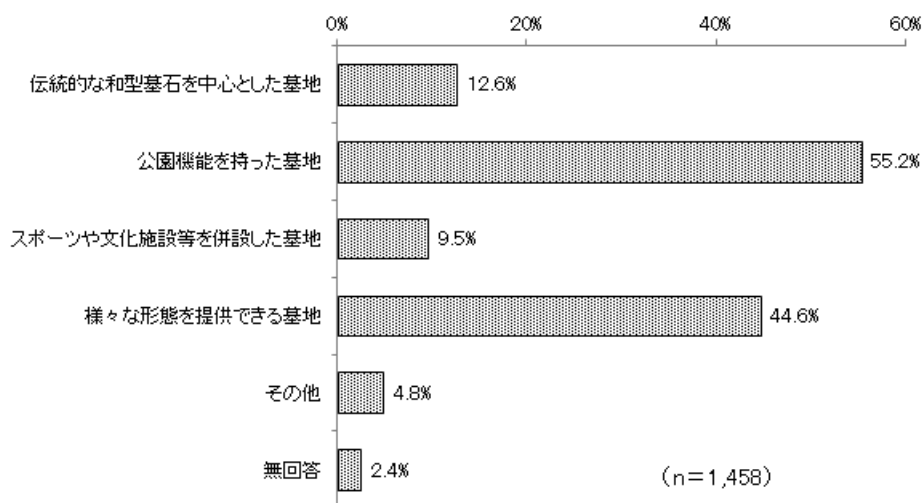
a 市営墓地の開発形態

今後、横浜市が市営墓地を計画する場合の墓地の形式は、「豊かな緑に囲まれ散策や憩いの場として利用できる公園の機能を持った墓地」(55.2%)が最も多く、「個々に区画されたお墓、納骨堂、合葬型のお墓など様々な形態を提供できる墓地」(44.6%)がそれに続いている。

「その他」では54件の記述があった。「合葬式・納骨式」(8件)や「樹木葬」「自然に帰る」(7件)など、個々に区画されたお墓ではないタイプを希望する意見が多かった。施設ニーズとして「食事ができる休憩場所」(1件)や「法要のできる場」(1件)を求める声がある一方、「故人を想う場なので併設施設は不要」(1件)、「墓地に公園、スポーツや文化施設の機能を求めない」(1件)という意見もあった。また墓地を作る際に「災害に備えた施設や広場」(1件)を求める声もあった。

その他、「交通の便がよい場所」(4件)などお参りしやすい場所を求める意見や「公営墓地は不要である」(2件)、「墓地よりも青少年の施設を」(1件)という意見があった。

問 6. 現在、横浜市内には、メモリアルグリーンや日野公園墓地などの市営墓地がありますが、今後さらに、横浜市が市営墓地を計画するとしたら、あなたはどのような墓地にすべきとお考えですか。(複数回答可)



回答	回答数	%
伝統的な和型墓石を中心とした墓地	183	12.6
公園機能を持った墓地	805	55.2
スポーツや文化施設等を併設した墓地	138	9.5
様々な形態を提供できる墓地	650	44.6
その他	70	4.8
無回答	35	2.4
回答者数 (n)	1,458	

(I) 近隣の墓地計画について

a 近隣の墓地計画への賛否

住まいの近隣に墓地が計画されることに対し、「計画の内容によっては反対しない」(42.9%)という回答が4割以上あった。

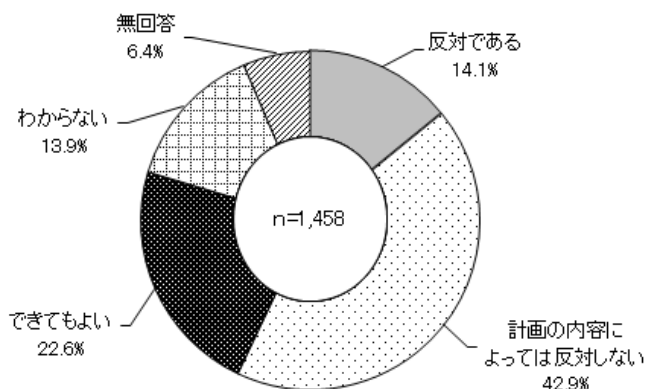
反対の理由は、半数以上が「墓参が集中する時期に、周辺の交通渋滞や迷惑駐車等が発生する恐れがあるから」(52.5%)を上げており、「管理が悪いとハエや蚊が発生し不衛生だから」(39.1%)や「心理的に受け入れられないから」(31.8%)がそれに続く。

また、「心理的に受け入れられない」要因となるイメージとして、3分の2が「怖い」(66.8%)と回答している。「暗い」(58.8%)、「墓石だらけで荒涼としている」(40.4%)がそれに続いている。

「その他」では53件の記入があった。「防犯・治安の心配」(12件)が最も多く、「すでにたくさんある」(4件)、「線香のにおいが気になる」(4件)、「適正に管理されるか不安」(3件)などが上がっている。また、「緑のある公園のような墓地ならよい」といった「公園機能をもった墓地」(3件)を要望する意見や「周りの環境にとけこむ設計とする」などの「周辺環境に配慮した外観」(3件)を求める意見があった。

問 7. あなたのお住まいの近隣に墓地造成が可能な土地があると仮定してお答えください。

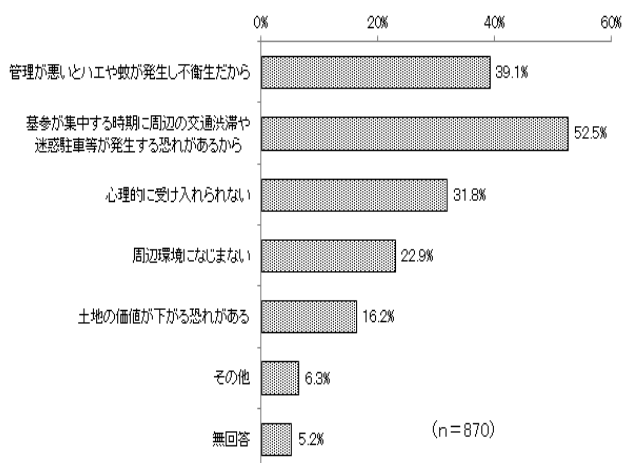
(1) そこで墓地の造成が計画されたらどう思いますか。



回答	回答数	%
反対である	206	14.1
計画の内容によっては反対しない	626	42.9
できてよい	329	22.6
わからない	203	13.9
無回答	94	6.4
計 (n)	1,458	100.0

「反対である」、または「計画の内容によっては反対しない」とお答えの方におたずねします。

付問 1 反対する理由は何ですか。(複数回答可)

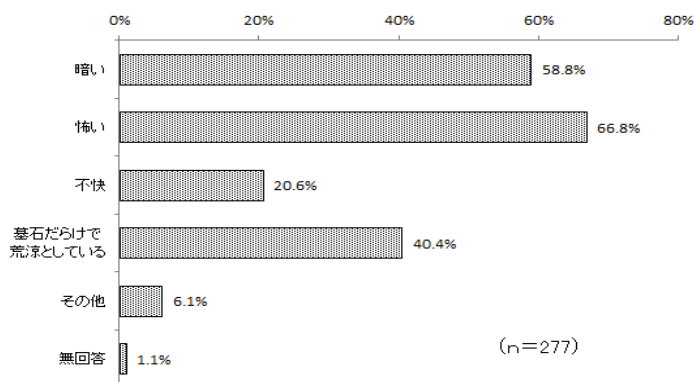


回答	回答数	%
管理が悪いとハエや蚊が発生し不衛生だから	340	39.1
墓参が集中する時期に周辺の交通渋滞や迷惑駐車等が発生する恐れがあるから	457	52.5
心理的に受け入れられない	277	31.8
周辺環境になじまない	199	22.9
土地の価値が下がる恐れがある	141	16.2
その他	55	6.3
無回答	45	5.2
回答者数 (n) ※	870	

※問 7(1) では「無回答」だけが反対理由に回答のあったものを加えて集計

付問 1 で「心理的に受け入れられない」とお答えの方におたずねします。

付問 2 その要因となる墓地のイメージをお聞かせください。(複数回答可)



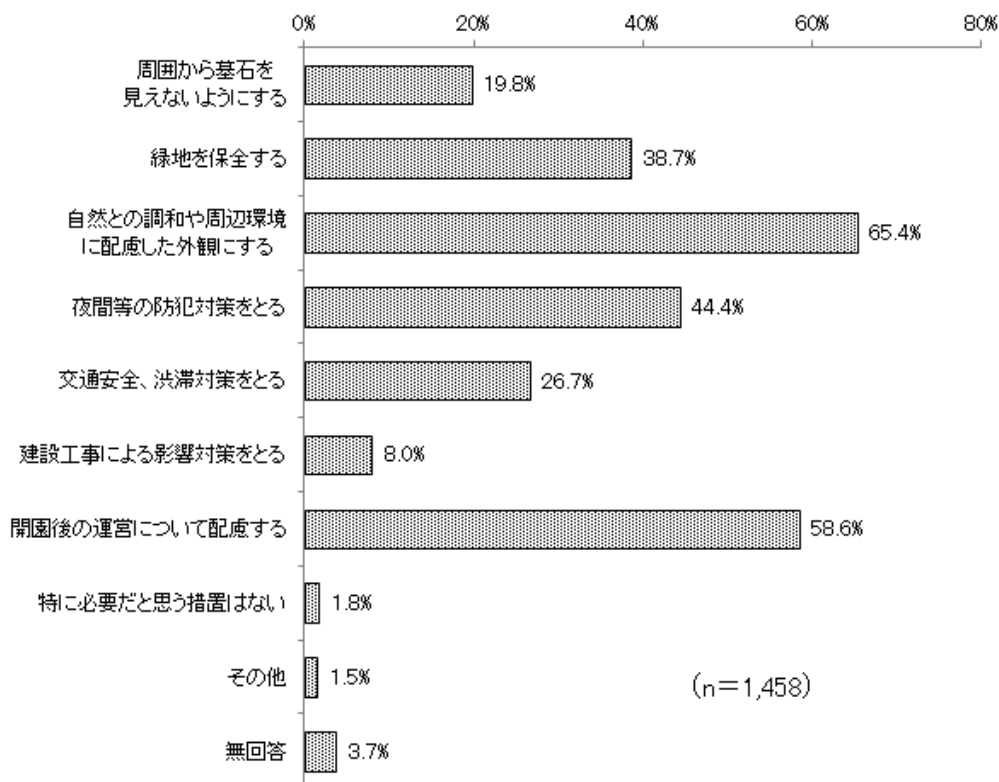
回答	回答数	%
暗い	163	58.8
怖い	185	66.8
不快	57	20.6
墓石だらけで荒涼としている	112	40.4
その他	17	6.1
無回答	3	1.1
回答者数 (n)	277	

b 墓地設置者がとるべき措置

開発にあたって、墓地設置者がとるべき措置は、3分の2近くが「自然との調和や周辺環境に配慮した外観にする」(65.4%)を上げ、最も多い。「開園後の運営(供物等の衛生対策、線香の煙等)について配慮する」(58.6%)がそれに続いている。

問7. あなたのお住まいの近隣に墓地造成が可能な土地があると仮定してお答えください。

(2) 墓地設置者がとるべき措置は何だと思えますか。特に必要だと思う措置をお選びください。(3つまで)



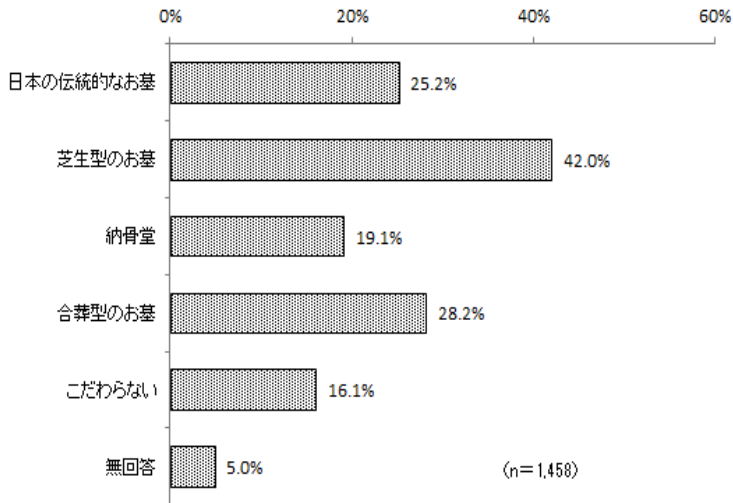
回答	回答数	%
周囲から墓石を見えないようにする	289	19.8
緑地を保全する	564	38.7
自然との調和や周辺環境に配慮した外観にする	953	65.4
夜間等の防犯対策をとる	648	44.4
交通安全、渋滞対策をとる	390	26.7
建設工事による影響(防塵、防音、振動、工事車両関係等)対策をとる	117	8.0
開園後の運営(供物等の衛生対策、線香の煙等)について配慮する	854	58.6
特に必要だと思う措置はない	26	1.8
その他	22	1.5
無回答	54	3.7
回答者数(n)	1,458	

c 近隣開発で望む墓地の形態

住まいの近くに開発される場合の墓地の形態としては、「芝生型のお墓」(42.0%)が4割以上で最も多い。「合葬型のお墓」(28.2%)がそれに続く。

問7. あなたのお住まいの近隣に墓地造成が可能な土地があると仮定してお答えください。

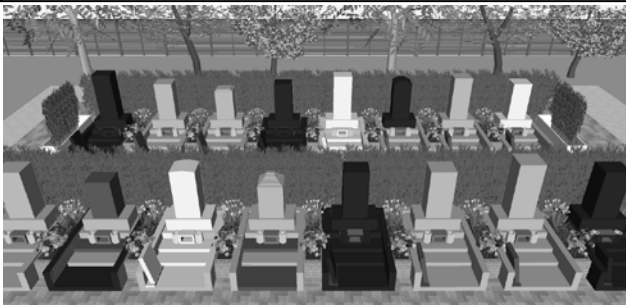
(3) そこで墓地が開発されるとしたら、どのような墓地の形態を望みますか。別紙「お墓の形式のいろいろ」のイラストと説明をご覧になりお答えください。(複数回答可)



回答	回答数	%
日本のお墓	368	25.2
芝生型のお墓	613	42.0
納骨堂	279	19.1
合葬型のお墓	411	28.2
こだわらない	235	16.1
無回答	73	5.0
回答者数 (n)	1,458	

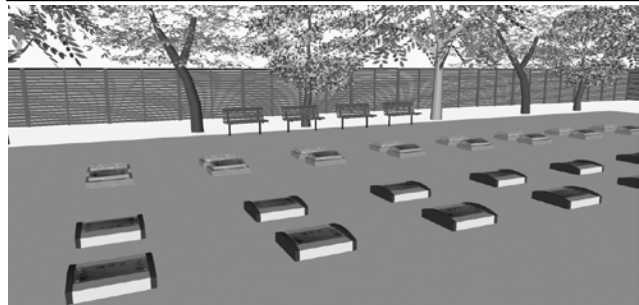
① 日本のお墓

(縦長の和型墓石が中心で、一般的に形、色に制限がない)



② 芝生型のお墓

(墓碑の形や大きさが決められたお墓で芝生上に統一された墓石が並ぶ)



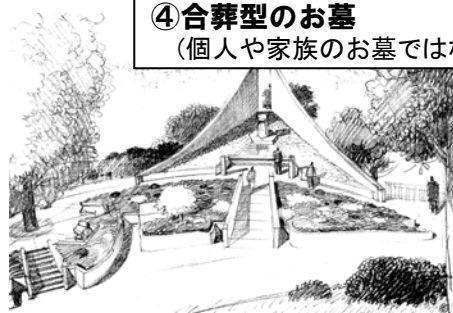
③ 納骨堂

(建物の室内に設けられた、ロッカー式等の納骨壇に遺骨を収蔵する施設)



④ 合葬型のお墓

(個人や家族のお墓ではなく多数の方が共同で祀られるお墓)



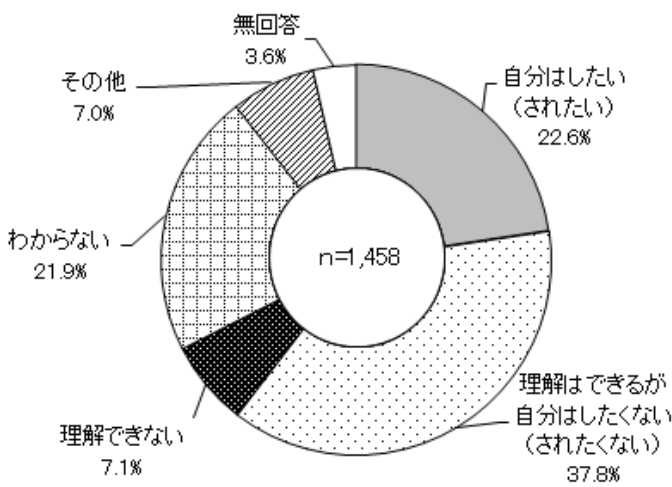
(オ) 散骨について

a 散骨について

散骨について「理解はできるが自分はしたくない（されたくない）」(37.8%) が4割弱で最も多い。一方、「自分はしたい（されたい）」(22.6%)という考えや「わからない」(21.9%)という回答も2割程度あった。

「その他」には85件の記入があり、「家族の希望や故人の遺志に沿う」（18件）が最も多かった。他に「選択肢としてあってよい（一部散骨したい（されたい）」(8件)、「環境への影響が心配（影響がないならよい）」(6件)などの記入があった。

問 8. 最近、海や山への散骨が話題となっています。あなたは散骨することについてどうお考えですか。



回答	回答数	%
自分はその希望（されたい）	330	22.6
理解はできるが自分はその希望（されたくない）	551	37.8
理解できない	103	7.1
わからない	320	21.9
その他	102	7.0
無回答	52	3.6
計 (n)	1,458	100.0

ウ クロス集計結果

(7) 属性別に見た墓地の取得希望について

問 2. の墓地の取得希望を属性別に見ると、次のとおりである。

【性別】

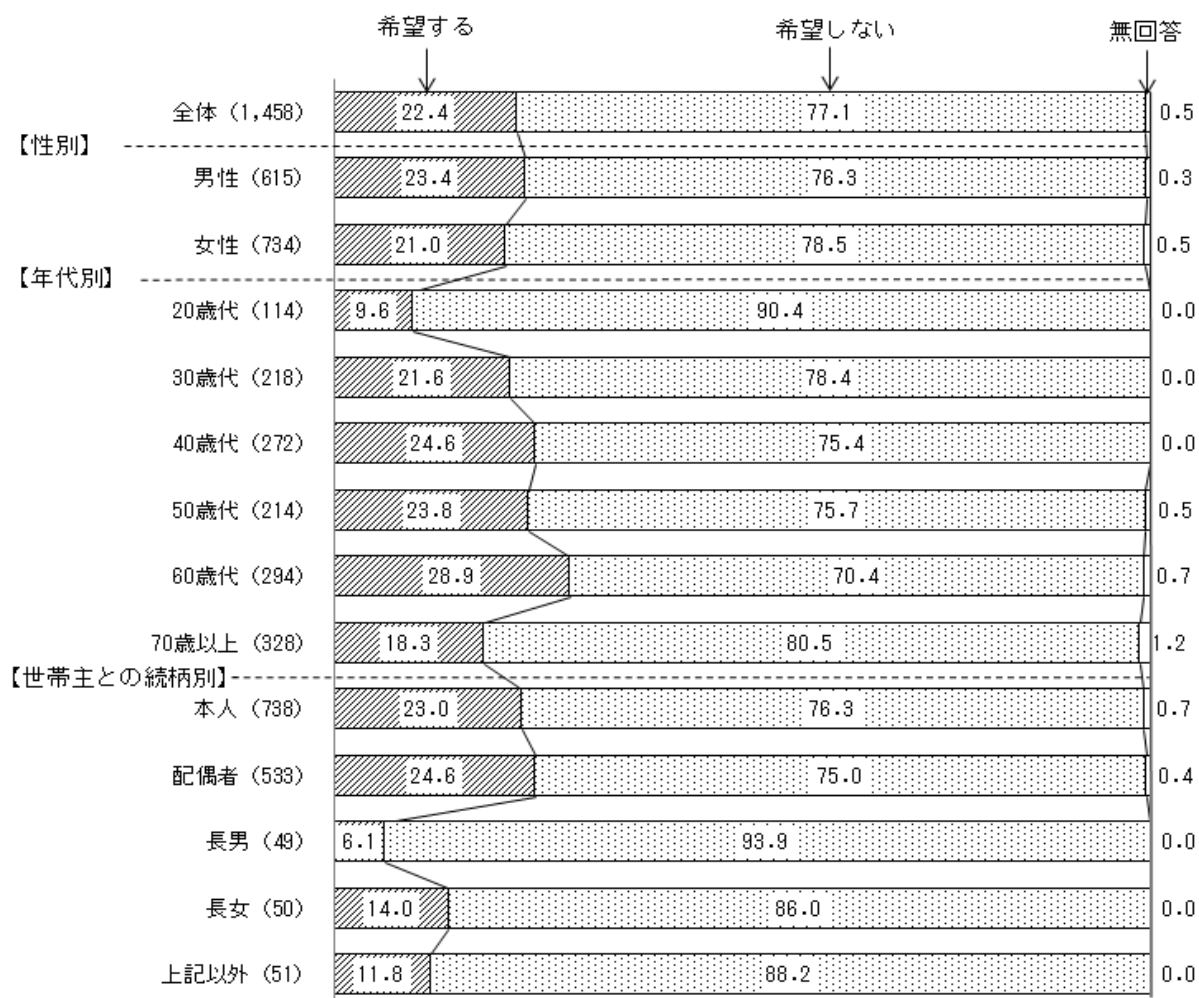
「男性」の取得希望は 23.4% で、「女性」(21.0%) より 2.4% 上回っている。

【年代別】

「60 歳代」までは、概ね年代が上がるとともに取得希望が高くなる傾向にあるが、「70 歳以上」では取得希望が減っている。最も取得希望が高いのは「60 歳代」の 28.9% で、最も低いのは「20 歳代」の 9.6% であった。

【世帯主との続柄別】

世帯主の続柄で見ると、「本人」(23.0%) と「配偶者」(24.6%) はともに 2 割以上が墓地取得を希望している一方、「長男」は 6.1% で低くなっている。



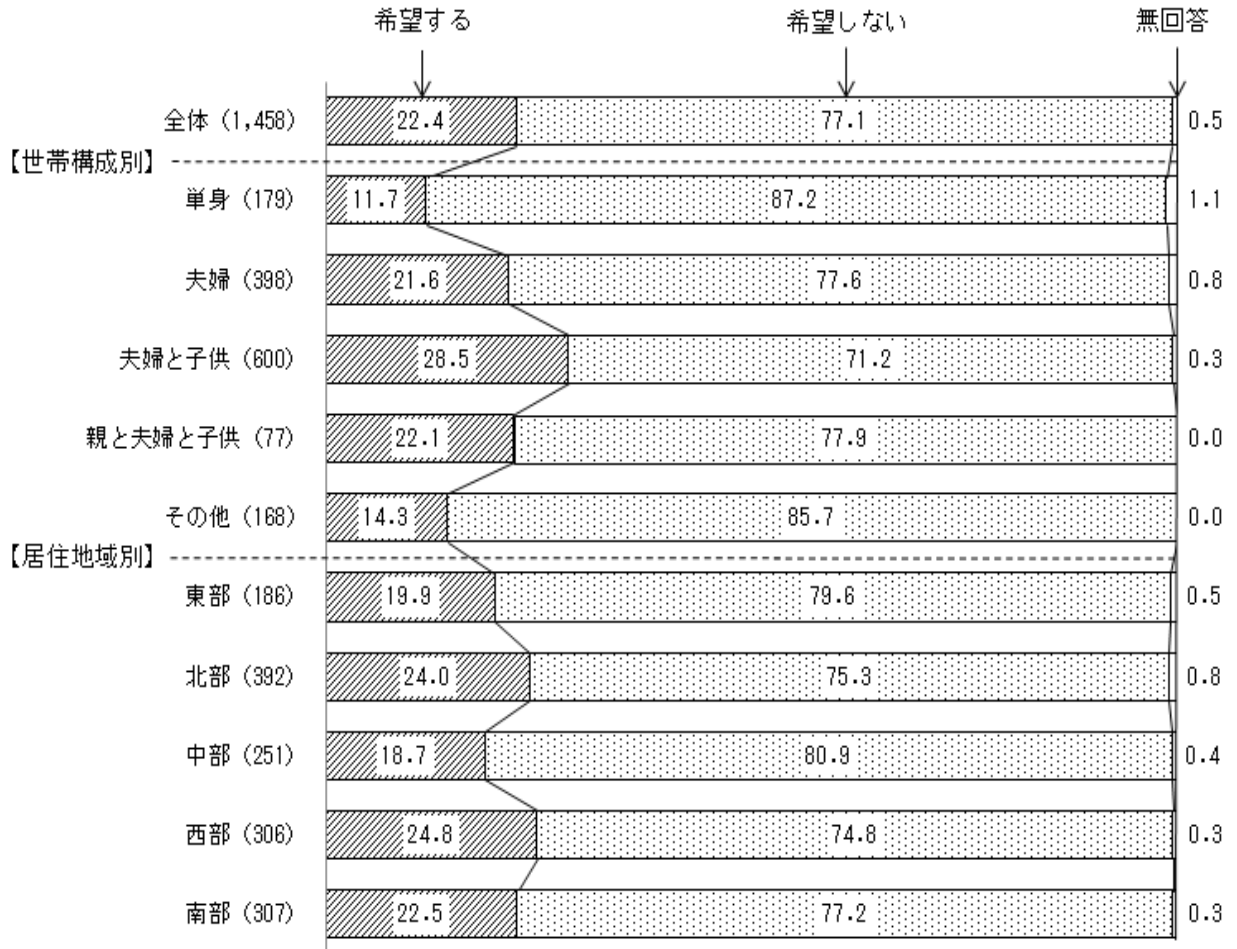
		合 計	問 2 墓地の取得希望		
			希望する	希望しない	無回答
全 体		1,458 100.0%	327 22.4%	1,124 77.1%	7 0.5%
問 1-1 性 別	男 性	615 100.0%	144 23.4%	469 76.3%	2 0.3%
	女 性	734 100.0%	154 21.0%	576 78.5%	4 0.5%
	無回答	109 100.0%	29 26.6%	79 72.5%	1 0.9%
問 1-2 年 齢	20 歳代	114 100.0%	11 9.6%	103 90.4%	0 0.0%
	30 歳代	218 100.0%	47 21.6%	171 78.4%	0 0.0%
	40 歳代	272 100.0%	67 24.6%	205 75.4%	0 0.0%
	50 歳代	214 100.0%	51 23.8%	162 75.7%	1 0.5%
	60 歳代	294 100.0%	85 28.9%	207 70.4%	2 0.7%
	70 歳以上	328 100.0%	60 18.3%	264 80.5%	4 1.2%
	無回答	18 100.0%	6 33.3%	12 66.7%	0 0.0%
問 1-3 世帯主との 続柄	本 人	738 100.0%	170 23.0%	563 76.3%	5 0.7%
	配偶者	533 100.0%	131 24.6%	400 75.0%	2 0.4%
	長 男	49 100.0%	3 6.1%	46 93.9%	0 0.0%
	長 女	50 100.0%	7 14.0%	43 86.0%	0 0.0%
	上記以外	51 100.0%	6 11.8%	45 88.2%	0 0.0%
	無回答	37 100.0%	10 27.0%	27 73.0%	0 0.0%

【世帯構成別】

「夫婦と子供」(28.5%)の世帯で取得希望が最も高く、「親と夫婦と子供」(22.1%)、「夫婦」(21.6%)がそれに続いている。

【居住地域別】

居住地域では、都心臨海部やそれに隣接する周辺区を中心とした「東部」(19.9%)と「中部」(18.7%)で取得希望が2割弱であるのに対し、その他の地区ではいずれも2割を超え、やや高くなっている。



地域分類は、「新墓園等構想委員会の報告」(平成3年6月)による

東部：鶴見区、神奈川区
 北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区
 中部：西区、中区、南区、保土ヶ谷区
 西部：旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区
 南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区

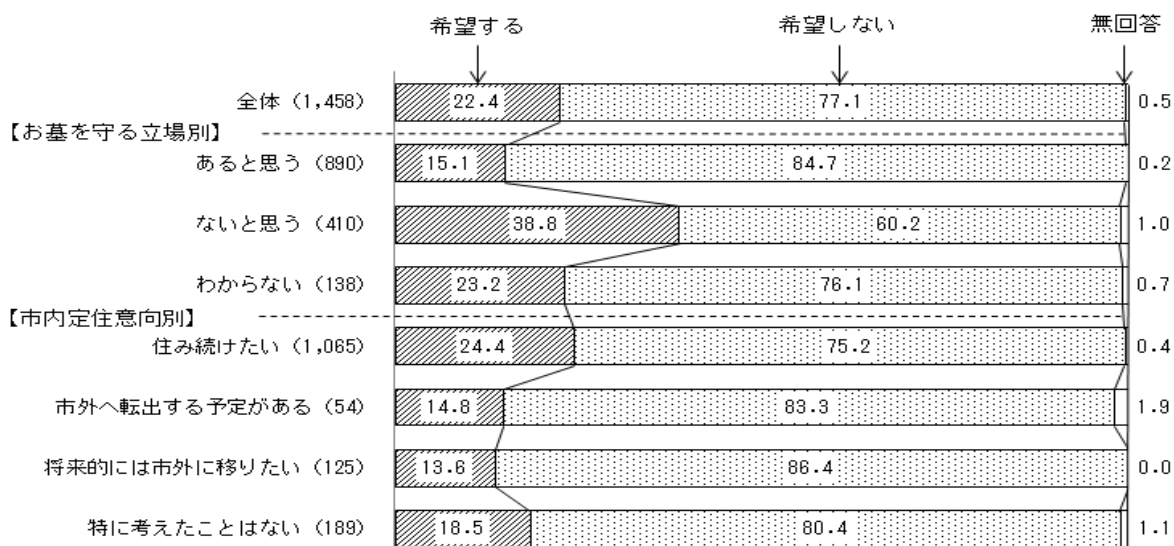
		合 計	問 2 墓地の取得希望		
			希望する	希望しない	無回答
全 体		1,458 100.0%	327 22.4%	1,124 77.1%	7 0.5%
問 1-4 世帯構成	単 身	179 100.0%	21 11.7%	156 87.2%	2 1.1%
	夫 婦	398 100.0%	86 21.6%	309 77.6%	3 0.8%
	夫婦と子供	600 100.0%	171 28.5%	427 71.2%	2 0.3%
	親と夫婦と 子供	77 100.0%	17 22.1%	60 77.9%	0 0.0%
	その他	168 100.0%	24 14.3%	144 85.7%	0 0.0%
	無回答	36 100.0%	8 22.2%	28 77.8%	0 0.0%
問 1-5 住所 (地域別)	東 部	186 100.0%	37 19.9%	148 79.6%	1 0.5%
	北 部	392 100.0%	94 24.0%	295 75.3%	3 0.8%
	中 部	251 100.0%	47 18.7%	203 80.9%	1 0.4%
	西 部	306 100.0%	76 24.8%	229 74.8%	1 0.3%
	南 部	307 100.0%	69 22.5%	237 77.2%	1 0.3%
	無回答	16 100.0%	4 25.0%	12 75.0%	0 0.0%

【お墓を守る立場別】

「先祖のお墓を守る立場にあると思う」人（承継者）の墓地取得希望は15.1%であるのに対し、「先祖のお墓を守る立場にないと思う」人（非承継者）の取得希望が38.8%と高くなっている。

【市内定住意向別】

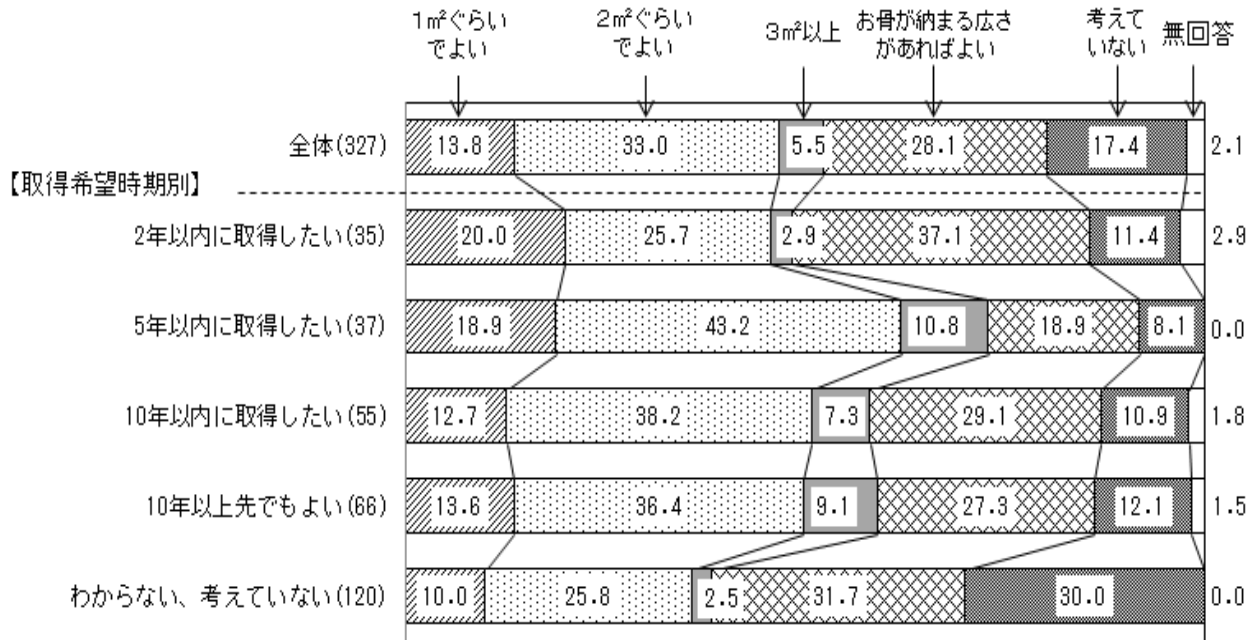
これからも市内に「住み続けたい」（市内定住意向者）の取得希望が24.4%であった。「市外へ転出する予定がある」（14.8%）人や「将来的には市外に移りたい」（13.6%）人などでは取得希望が低くなっている。



		合計	問2 墓地の取得希望		
			希望する	希望しない	無回答
全体		1,458 100.0%	327 22.4%	1,124 77.1%	7 0.5%
問1-6 お墓を守る 立場	あると思う	890 100.0%	134 15.1%	754 84.7%	2 0.2%
	ないと思う	410 100.0%	159 38.8%	247 60.2%	4 1.0%
	わからない	138 100.0%	32 23.2%	105 76.1%	1 0.7%
	無回答	20 100.0%	2 10.0%	18 90.0%	0 0.0%
問1-7 居住意向	住み続けたい	1,065 100.0%	260 24.4%	801 75.2%	4 0.4%
	市外へ転出する 予定がある	54 100.0%	8 14.8%	45 83.3%	1 1.9%
	将来的には市 外に移りたい	125 100.0%	17 13.6%	108 86.4%	0 0.0%
	特に考えた ことはない	189 100.0%	35 18.5%	152 80.4%	2 1.1%
	無回答	25 100.0%	7 28.0%	18 72.0%	0 0.0%

(イ) 墓地の取得希望時期別に見た墓地の広さ

墓地を購入すると想定した場合の適当だと思う墓地の広さを、取得希望時期で見ると、「2年以内」の早期に取得を希望している人は、「お骨が納まる広さがあればよい」が37.1%と高くなっている。一方、「5年以内に」以降の希望者では、いずれも「2㎡ぐらい」の回答が最も多く4割前後ある。



		合計	問 5(2) 墓地の広さ					無回答
			1㎡ぐらい	2㎡ぐらい	3㎡以上	お骨が納まる広さ	考えていない	
全 体		327 100.0%	45 13.8%	108 33.0%	18 5.5%	92 28.1%	57 17.4%	7 2.1%
問 3(2) 取得希望 時期	2年以内に 取得したい	35 100.0%	7 20.0%	9 25.7%	1 2.9%	13 37.1%	4 11.4%	1 2.9%
	5年以内に 取得したい	37 100.0%	7 18.9%	16 43.2%	4 10.8%	7 18.9%	3 8.1%	0 0.0%
	10年以内に 取得したい	55 100.0%	7 12.7%	21 38.2%	4 7.3%	16 29.1%	6 10.9%	1 1.8%
	10年以上先 でもよい	66 100.0%	9 13.6%	24 36.4%	6 9.1%	18 27.3%	8 12.1%	1 1.5%
	わからない、 考えていない	120 100.0%	12 10.0%	31 25.8%	3 2.5%	38 31.7%	36 30.0%	0 0.0%
	無 回 答	14 100.0%	3 21.4%	7 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 28.6%

(ウ) 属性別に見た取得したい墓地の種類

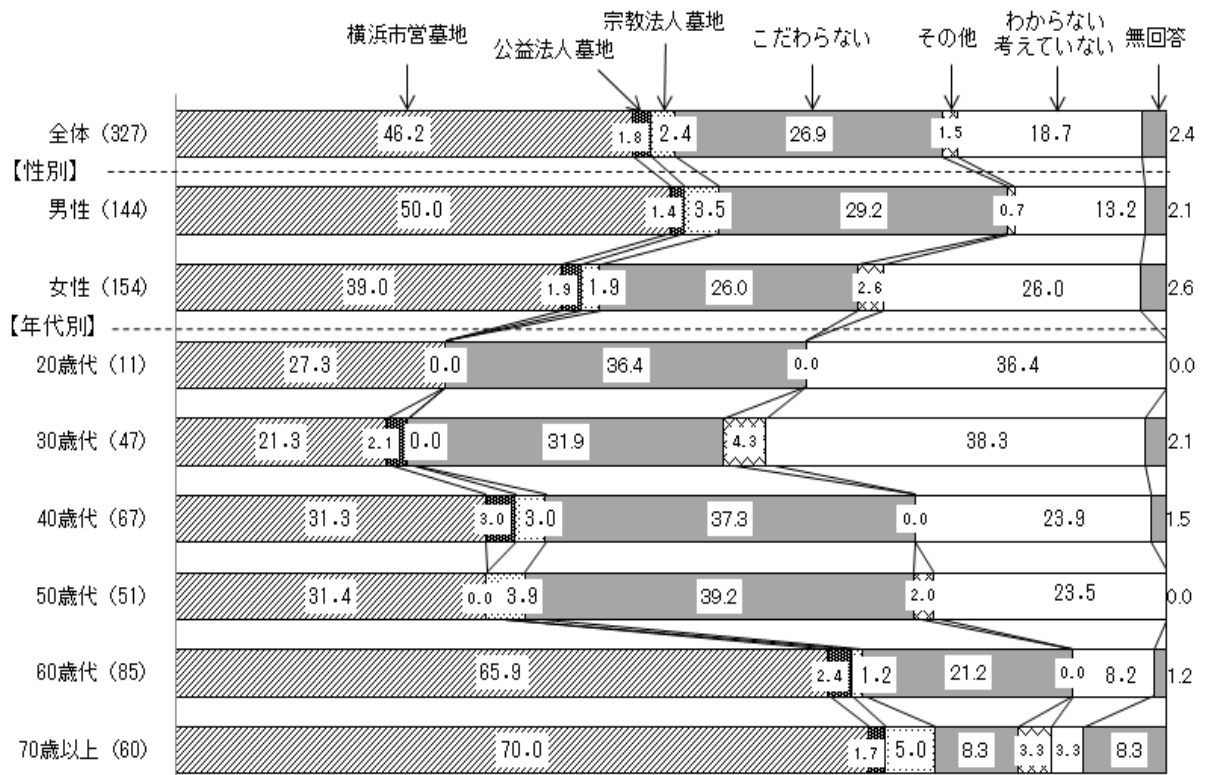
問 3. (4) の取得したい墓地の種類を属性別に見ると次のとおりである。

【性別】

「男性」では半数が「横浜市営墓地」(50.0%)を希望している。「こだわらない」(29.2%)、「わからない、または考えていない」(13.2%)がそれに続く。一方、「女性」は「横浜市営墓地」(39.0%)は約4割に留まり、「こだわらない」と「わからない、または考えていない」がともに26.0%であった。

【年代別】

「横浜市営墓地」は、「60歳代」(65.9%)や「70歳以上」(70.0%)等、年代が高いほど回答が多くなっている。「こだわらない」は、「20歳代」から「50歳代」までのいずれの世代でも3割以上の回答があった。「わからない、または考えていない」は、「20歳代」、「30歳代」の若い世代で多くなっている。



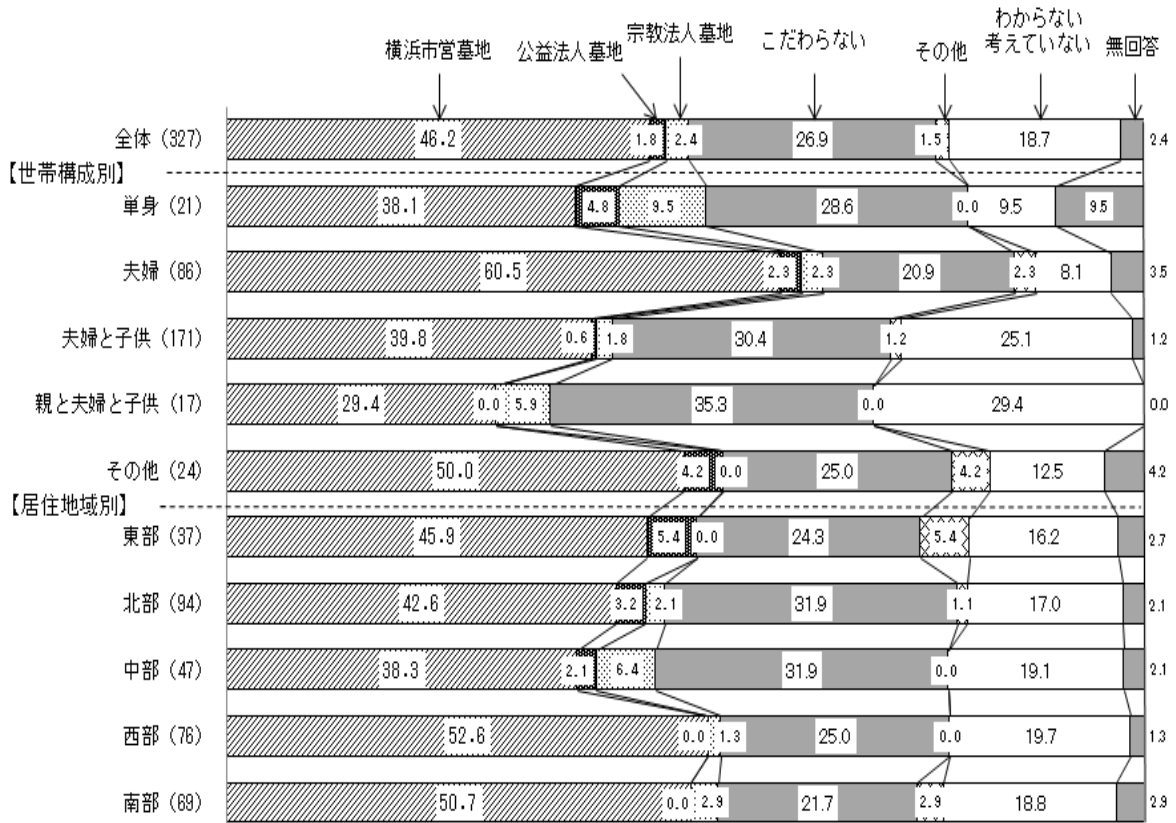
		合 計	問 3(4) 取得したい墓地の種類						無回答
			横浜市 営墓地	公益法 人墓地	宗教法 人墓地	こだわ らない	その他	わから ない、 考えて いない	
全 体		327 100.0%	151 46.2%	6 1.8%	8 2.4%	88 26.9%	5 1.5%	61 18.7%	8 2.4%
問 1-1 性 別	男 性	144 100.0%	72 50.0%	2 1.4%	5 3.5%	42 29.2%	1 0.7%	19 13.2%	3 2.1%
	女 性	154 100.0%	60 39.0%	3 1.9%	3 1.9%	40 26.0%	4 2.6%	40 26.0%	4 2.6%
	無回答	29 100.0%	19 65.5%	1 3.4%	0 0.0%	6 20.7%	0 0.0%	2 6.9%	1 3.4%
問 1-2 年 齢	20 歳代	11 100.0%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%
	30 歳代	47 100.0%	10 21.3%	1 2.1%	0 0.0%	15 31.9%	2 4.3%	18 38.3%	1 2.1%
	40 歳代	67 100.0%	21 31.3%	2 3.0%	2 3.0%	25 37.3%	0 0.0%	16 23.9%	1 1.5%
	50 歳代	51 100.0%	16 31.4%	0 0.0%	2 3.9%	20 39.2%	1 2.0%	12 23.5%	0 0.0%
	60 歳代	85 100.0%	56 65.9%	2 2.4%	1 1.2%	18 21.2%	0 0.0%	7 8.2%	1 1.2%
	70 歳以上	60 100.0%	42 70.0%	1 1.7%	3 5.0%	5 8.3%	2 3.3%	2 3.3%	5 8.3%
	無回答	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%

【世帯構成別】

「夫婦」世帯では「横浜市営墓地」(60.5%)の回答が6割を超え高くなっている。

【居住地域別】

居住地域で見ると、「中部」では、「横浜市営墓地」(38.3%)の回答が他地域よりも低くなっている。「西部」「南部」では、「横浜市営墓地」がいずれも5割以上あり、高くなっている。



東部：鶴見区、神奈川区
 北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区
 中部：西区、中区、南区、保土ヶ谷区
 西部：旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区
 南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区

		合 計	問 3(4) 取得したい墓地の種類						無回答
			横浜市 営墓地	公益法 人墓地	宗教法 人墓地	こだわ らない	その他	わから ない、 考えて いない	
全体		327 100.0%	151 46.2%	6 1.8%	8 2.4%	88 26.9%	5 1.5%	61 18.7%	8 2.4%
問 1-4 世帯構成	単身	21 100.0%	8 38.1%	1 4.8%	2 9.5%	6 28.6%	0 0.0%	2 9.5%	2 9.5%
	夫婦	86 100.0%	52 60.5%	2 2.3%	2 2.3%	18 20.9%	2 2.3%	7 8.1%	3 3.5%
	夫婦と子供	171 100.0%	68 39.8%	1 0.6%	3 1.8%	52 30.4%	2 1.2%	43 25.1%	2 1.2%
	親と夫婦と 子供	17 100.0%	5 29.4%	0 0.0%	1 5.9%	6 35.3%	0 0.0%	5 29.4%	0 0.0%
	その他	24 100.0%	12 50.0%	1 4.2%	0 0.0%	6 25.0%	1 4.2%	3 12.5%	1 4.2%
	無回答	8 100.0%	6 75.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%
問 1-5 住所 (地域別)	東部	37 100.0%	17 45.9%	2 5.4%	0 0.0%	9 24.3%	2 5.4%	6 16.2%	1 2.7%
	北部	94 100.0%	40 42.6%	3 3.2%	2 2.1%	30 31.9%	1 1.1%	16 17.0%	2 2.1%
	中部	47 100.0%	18 38.3%	1 2.1%	3 6.4%	15 31.9%	0 0.0%	9 19.1%	1 2.1%
	西部	76 100.0%	40 52.6%	0 0.0%	1 1.3%	19 25.0%	0 0.0%	15 19.7%	1 1.3%
	南部	69 100.0%	35 50.7%	0 0.0%	2 2.9%	15 21.7%	2 2.9%	13 18.8%	2 2.9%
	無回答	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%

(I) 属性別、墓地の種類別に見た取得するとき最も重視する事項

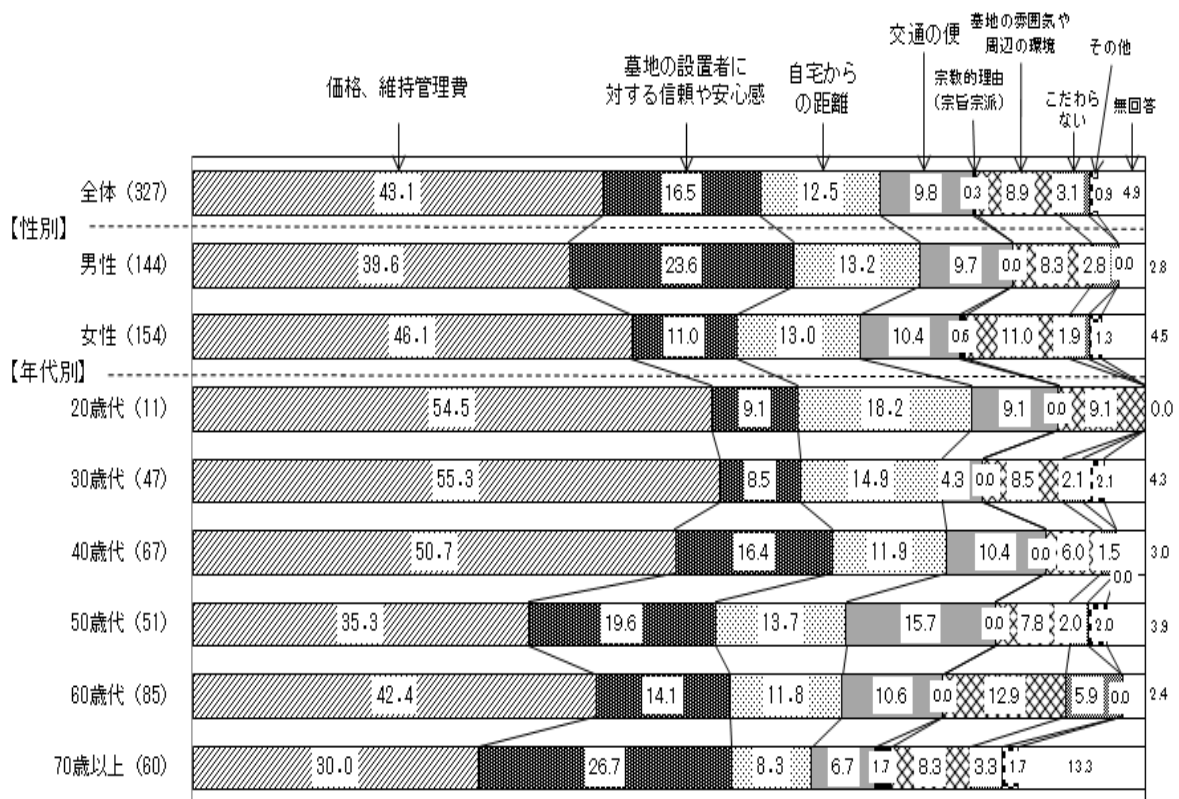
a 属性別

【性別】

男女ともに「お墓の価格、維持管理費」が1位であるが、「女性」(46.1%)のほうが、「男性」(39.6%)よりも、回答率が高い。「男性」は二番目に「墓地の設置者に対する信頼や安心感」(23.6%)が上がっているが、「女性」では「自宅からの距離」(13.0%)が二番目に多く、「墓地の設置者に対する信頼や安心感」(11.0%)より上位になっている。

【年代別】

各年代で「お墓の価格、維持管理費」が1位になっている。二番目に多い回答で見ると、「40歳代」以上では、「墓地の設置者に対する信頼や安心感」が、「20歳代」「30歳代」では「自宅からの距離」が重視されている。



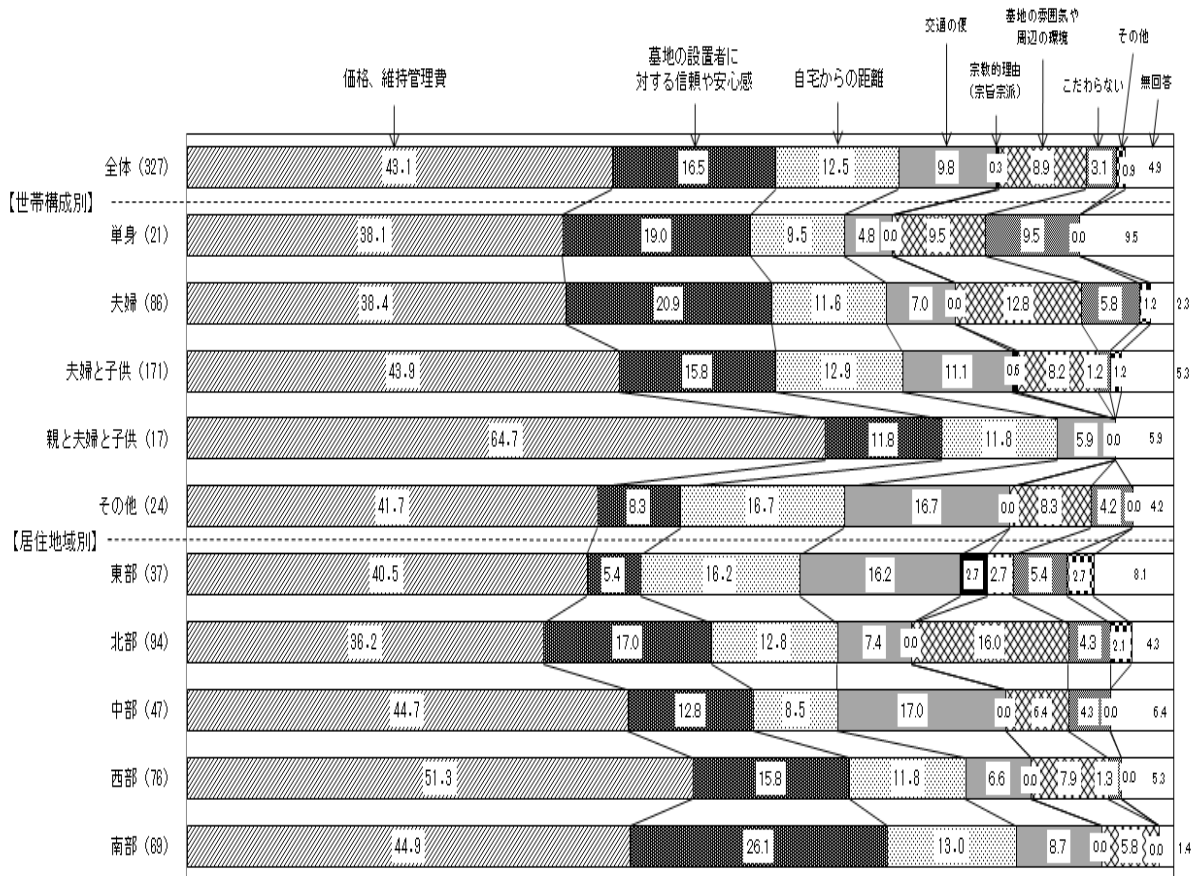
		合計	問3(5) 取得するときに最も重視する事項								
			お墓の 価格、 維持 管理費	設置者 に対する 信頼 や安心 感	自宅から の距離	交通の便	宗教的理 由(宗旨 宗派)	墓地の 雰囲気 や周辺 の環境	こだわ らない	その他	無回答
全体		327 100.0%	141 43.1%	54 16.5%	41 12.5%	32 9.8%	1 0.3%	29 8.9%	10 3.1%	3 0.9%	16 4.9%
問1-1 性別	男性	144 100.0%	57 39.6%	34 23.6%	19 13.2%	14 9.7%	0 0.0%	12 8.3%	4 2.8%	0 0.0%	4 2.8%
	女性	154 100.0%	71 46.1%	17 11.0%	20 13.0%	16 10.4%	1 0.6%	17 11.0%	3 1.9%	2 1.3%	7 4.5%
	無回答	29 100.0%	13 44.8%	3 10.3%	2 6.9%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.3%	1 3.4%	5 17.2%
問1-2 年齢	20歳代	11 100.0%	6 54.5%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	47 100.0%	26 55.3%	4 8.5%	7 14.9%	2 4.3%	0 0.0%	4 8.5%	1 2.1%	1 2.1%	2 4.3%
	40歳代	67 100.0%	34 50.7%	11 16.4%	8 11.9%	7 10.4%	0 0.0%	4 6.0%	1 1.5%	0 0.0%	2 3.0%
	50歳代	51 100.0%	18 35.3%	10 19.6%	7 13.7%	8 15.7%	0 0.0%	4 7.8%	1 2.0%	1 2.0%	2 3.9%
	60歳代	85 100.0%	36 42.4%	12 14.1%	10 11.8%	9 10.6%	0 0.0%	11 12.9%	5 5.9%	0 0.0%	2 2.4%
	70歳以上	60 100.0%	18 30.0%	16 26.7%	5 8.3%	4 6.7%	1 1.7%	5 8.3%	2 3.3%	1 1.7%	8 13.3%
	無回答	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【世帯構成別】

いずれの世帯構成においても、「お墓の価格、維持管理費」が最も多い回答となっている。特に「親と夫婦と子供」では、6割以上が「お墓の価格、維持管理費」(64.7%)を上げ、回答が集中している。

【地域別】

いずれの地域でも「お墓の価格、維持管理費」が1位になっている。二番目に多い回答で見ると、「東部」と「中部」では、「交通の便」(東部 16.2%、中部 17.0%)が、「北部」「西部」「南部」では、「墓地の設置者に対する信頼や安心感」(北部 17.0%、西部 15.8%、南部 26.1%)が重視されている。



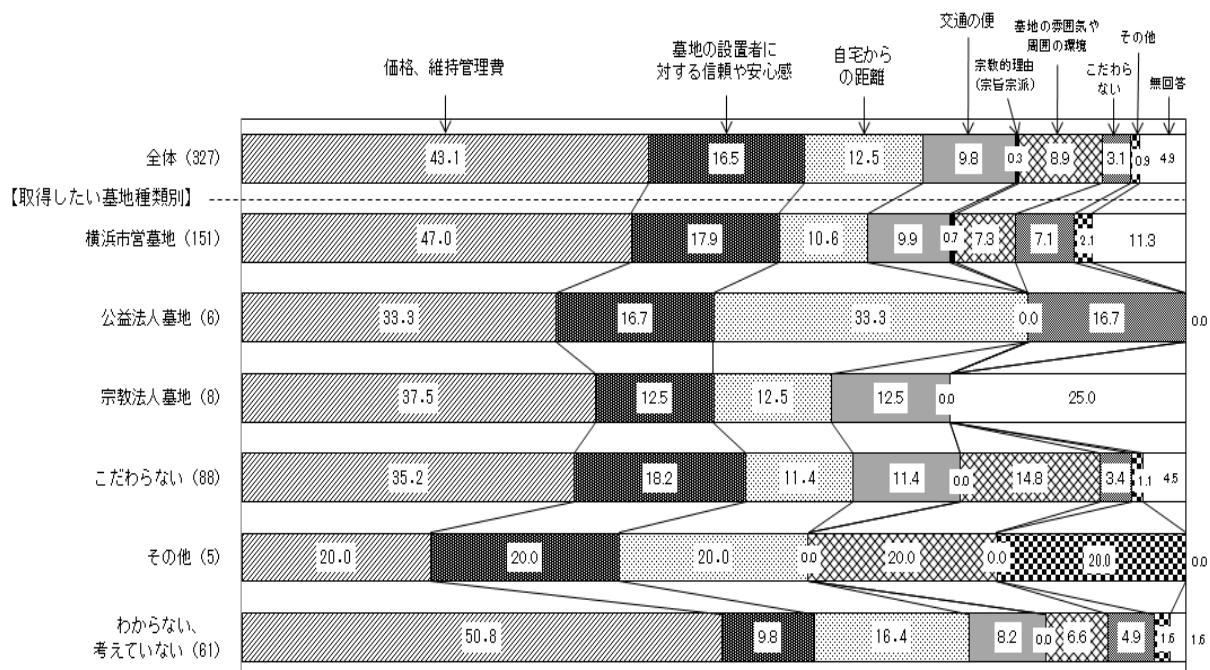
東部：鶴見区、神奈川区
 北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区
 中部：西区、中区、南区、保土ヶ谷区
 西部：旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区
 南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区

		合計	問 3(5) 取得するときに最も重視する事項								
			お墓の 価格、 維持 管理費	設置者 に対する 信頼 や安心 感	自宅か らの距 離	交通の 便	宗教的 理由(宗 旨宗派)	墓地の 雰囲気 や周辺 の環境	こ だ ら い	その他	無 回 答
全体		327 100.0%	141 43.1%	54 16.5%	41 12.5%	32 9.8%	1 0.3%	29 8.9%	10 3.1%	3 0.9%	16 4.9%
問 1-4 世帯構成	単身	21 100.0%	8 38.1%	4 19.0%	2 9.5%	1 4.8%	0 0.0%	2 9.5%	2 9.5%	0 0.0%	2 9.5%
	夫婦	86 100.0%	33 38.4%	18 20.9%	10 11.6%	6 7.0%	0 0.0%	11 12.8%	5 5.8%	1 1.2%	2 2.3%
	夫婦 と子供	171 100.0%	75 43.9%	27 15.8%	22 12.9%	19 11.1%	1 0.6%	14 8.2%	2 1.2%	2 1.2%	9 5.3%
	親と夫婦 と子供	17 100.0%	11 64.7%	2 11.8%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%
	その他	24 100.0%	10 41.7%	2 8.3%	4 16.7%	4 16.7%	0 0.0%	2 8.3%	1 4.2%	0 0.0%	1 4.2%
	無回答	8 100.0%	4 50.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%
問 1-5 住所 (地域別)	東 部	37 100.0%	15 40.5%	2 5.4%	6 16.2%	6 16.2%	1 2.7%	1 2.7%	2 5.4%	1 2.7%	3 8.1%
	北 部	94 100.0%	34 36.2%	16 17.0%	12 12.8%	7 7.4%	0 0.0%	15 16.0%	4 4.3%	2 2.1%	4 4.3%
	中 部	47 100.0%	21 44.7%	6 12.8%	4 8.5%	8 17.0%	0 0.0%	3 6.4%	2 4.3%	0 0.0%	3 6.4%
	西 部	76 100.0%	39 51.3%	12 15.8%	9 11.8%	5 6.6%	0 0.0%	6 7.9%	1 1.3%	0 0.0%	4 5.3%
	南 部	69 100.0%	31 44.9%	18 26.1%	9 13.0%	6 8.7%	0 0.0%	4 5.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%
	無回答	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%

b 取得したい墓地の種類別

取得したい墓地の種類別に見ると、「横浜市営墓地」、「宗教法人墓地」、「こだわらない」のいずれでも「お墓の価格、維持管理費」がもっとも多く、それに続く上位の回答も「墓地の設置者に対する信頼や安心感」や「自宅からの距離」で大きな差はなかった。

取得したい墓地の種類を「わからない、または考えていない」と回答した人では、「お墓の価格、維持管理費」が5割を超えて2位以下の回答を引き離しており、価格が重視されている。



		合計	問3(5) 取得するときに最も重視する事項								
			お墓の 価格、 維持 管理費	設置者 に対する 信頼 安心感	自宅から の距離	交通の便	宗教的 理由(宗 旨宗派)	墓地の 雰囲気 周辺の 環境	こ だ わ ら い	その他	無回答
全体		327 100.0%	141 43.1%	54 16.5%	41 12.5%	32 9.8%	1 0.3%	29 8.9%	10 3.1%	3 0.9%	16 4.9%
問3(4) 取得した い墓地	横浜市営 墓地	151 100.0%	71 47.0%	27 17.9%	16 10.6%	15 9.9%	1 0.7%	11 7.3%	3 2.0%	0 0.0%	7 4.6%
	公益法人 墓地	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	宗教法人 墓地	8 100.0%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%
	こだわ らない	88 100.0%	31 35.2%	16 18.2%	10 11.4%	10 11.4%	0 0.0%	13 14.8%	3 3.4%	1 1.1%	4 4.5%
	その 他	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
	わか らな い、 考 え て い ない	61 100.0%	31 50.8%	6 9.8%	10 16.4%	5 8.2%	0 0.0%	4 6.6%	3 4.9%	1 1.6%	1 1.6%
	無 回 答	8 100.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%

(オ) 属性別、墓地の種類別に見た取得したい墓地の形式

a 属性別

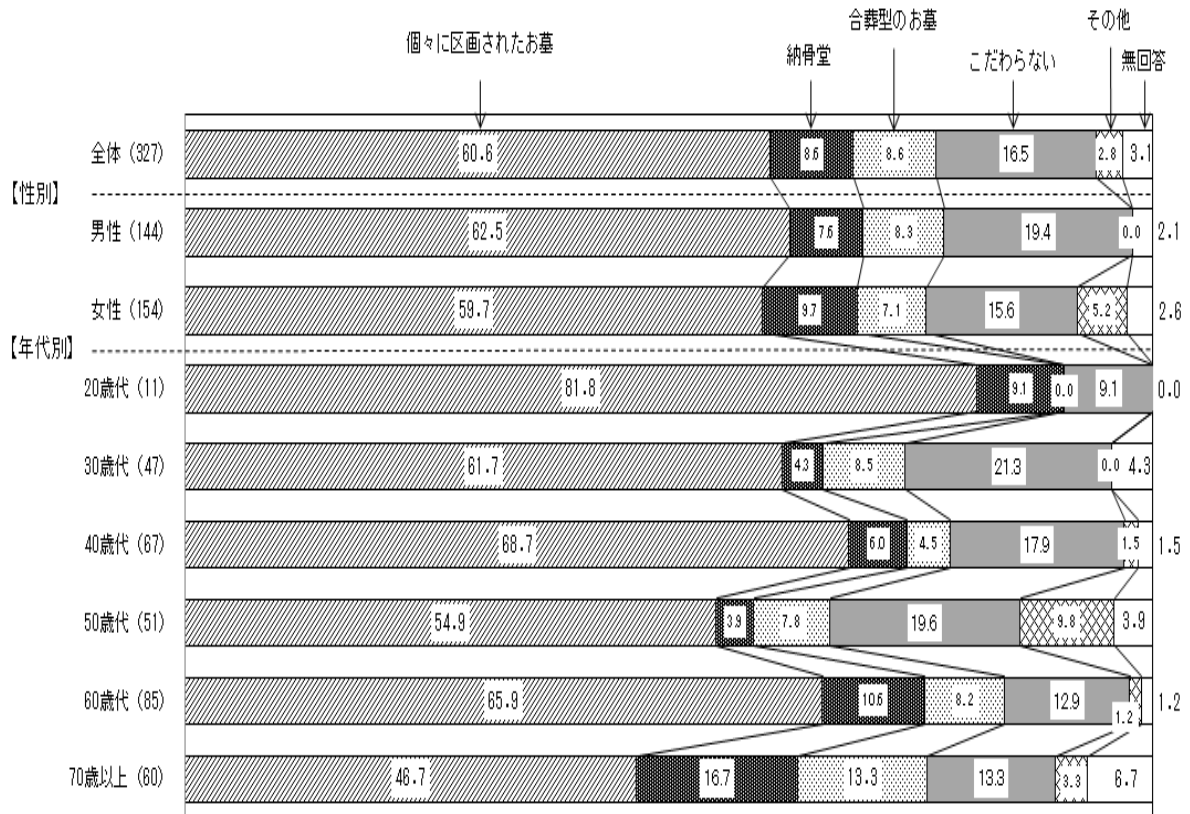
【性別】

男女ともに、「個々に区画されたお墓」がよいという回答が6割程度あり(男性 62.5%、女性 59.7%)、「こだわらない」がそれに続いている。「こだわらない」は「男性」19.4%に対し、「女性」15.6%で、「男性」の方が多くなっている。

【年代別】

年代別では、「個々に区画されたお墓」は「20歳代」(81.8%)では8割と高くなっている。「70歳以上」では、「個々に区画されたお墓」(46.7%)は半数に満たず、「納骨堂」(16.7%)や「合葬型のお墓」(13.3%)「こだわらない」(13.3%)等回答が分散している。

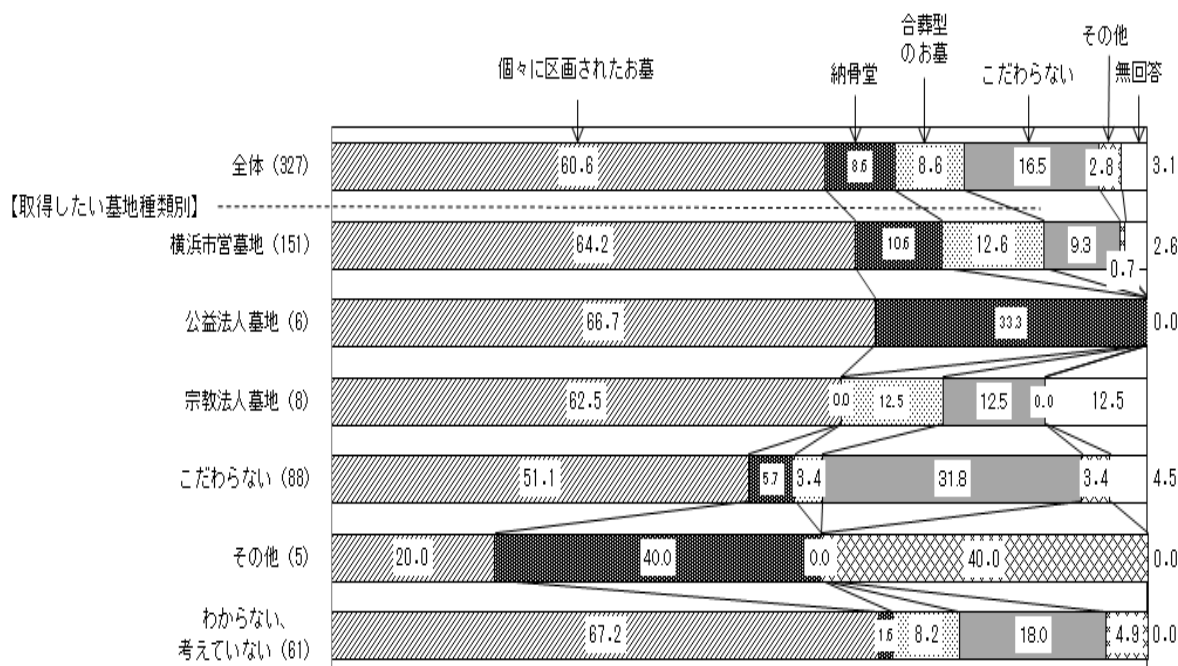
「30歳代」から「50歳代」で「こだわらない」の回答が多くなっている。



		合 計	問 3(6) 取得したい墓地の形式					無回答
			個々に 区画され たお墓	納骨堂	合葬型 のお墓	こだわ らない	その他	
全 体		327 100.0%	198 60.6%	28 8.6%	28 8.6%	54 16.5%	9 2.8%	10 3.1%
問 1-1 性 別	男 性	144 100.0%	90 62.5%	11 7.6%	12 8.3%	28 19.4%	0 0.0%	3 2.1%
	女 性	154 100.0%	92 59.7%	15 9.7%	11 7.1%	24 15.6%	8 5.2%	4 2.6%
	無回答	29 100.0%	16 55.2%	2 6.9%	5 17.2%	2 6.9%	1 3.4%	3 10.3%
問 1-2 年 齢	20 歳代	11 100.0%	9 81.8%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
	30 歳代	47 100.0%	29 61.7%	2 4.3%	4 8.5%	10 21.3%	0 0.0%	2 4.3%
	40 歳代	67 100.0%	46 68.7%	4 6.0%	3 4.5%	12 17.9%	1 1.5%	1 1.5%
	50 歳代	51 100.0%	28 54.9%	2 3.9%	4 7.8%	10 19.6%	5 9.8%	2 3.9%
	60 歳代	85 100.0%	56 65.9%	9 10.6%	7 8.2%	11 12.9%	1 1.2%	1 1.2%
	70 歳以上	60 100.0%	28 46.7%	10 16.7%	8 13.3%	8 13.3%	2 3.3%	4 6.7%
	無回答	6 100.0%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

b 取得したい墓地の種類別

取得したい墓地の種類別に墓地の形式を見ると、「横浜市営墓地」(64.2%)、「公益法人墓地」(66.7%)、「宗教法人墓地」(62.5%)のいずれも「個々に区画されたお墓」を最も多く望んでいる。取得したい墓地の種類に「こだわらない」とする人は、「個々に区画されたお墓」(51.1%)は5割程度で他と比べるとやや低く、墓地の形式も「こだわらない」(31.8%)が3割と多くなっている。



		合 計	問 3(6) 取得したい墓地の形式					無回答
			個々に 区画され たお墓	納骨堂	合葬型 のお墓	こだわ らない	その他	
全体		327 100.0%	198 60.6%	28 8.6%	28 8.6%	54 16.5%	9 2.8%	10 3.1%
問 3(4) 取得したい 墓地の種類	横浜市営墓地	151 100.0%	97 64.2%	16 10.6%	19 12.6%	14 9.3%	1 0.7%	4 2.6%
	公益法人墓地	6 100.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	宗教法人墓地	8 100.0%	5 62.5%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%
	こだわらない	88 100.0%	45 51.1%	5 5.7%	3 3.4%	28 31.8%	3 3.4%	4 4.5%
	その他	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%
	わからない、 考えていない	61 100.0%	41 67.2%	1 1.6%	5 8.2%	11 18.0%	3 4.9%	0 0.0%
	無 回 答	8 100.0%	5 62.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%

(カ) 取得または利用している墓地の種類別、地域別に見た心配事

a 取得または利用している墓地の種類別

いずれの墓地取得（利用）者も「心配事はない」が1位になっている。「公営墓地」「公益法人墓地」「宗教法人墓地」の取得（利用）者では「承継者がいない」が、「共同墓地」「個人墓地」の取得（利用）者では「お墓の手入れが行き届かない」が2位になっている。

墓地の種類別に各選択肢の構成比率を見ると、「管理費が高い」ことを上げているのは「宗教法人墓地」（9.2%）の取得（利用）者が最も多く、「公営墓地」（4.0%）は低くなっている。一方、「お墓の手入れが行き届かない」は「共同墓地」（24.6%）や「個人墓地」（20.2%）、「公営墓地」（20.0%）でやや高く、「宗教法人墓地」（10.2%）、「公益法人墓地」（4.8%）で低くなっている。

		問4(1)(vi) 心配事				
		1位	2位	3位	4位	5位
	全体 [906]	心配事はない 412 (45.5%)	承継者がいない 169 (18.7%)	手入れが行き届かない 130 (14.3%)	管理費が高い 64 (7.1%)	寺院、教会等の今後 40 (4.4%)
問4(1)(i) 墓地の種類	公営墓地 [125]	心配事はない 54 (43.2%)	承継者がいない 25 (20.0%)	手入れが行き届かない 25 (20.0%)	管理費が高い 5 (4.0%)	寺院、教会等の今後 0 (0.0%)
	公益法人墓地 [105]	心配事はない 62 (59.0%)	承継者がいない 19 (18.1%)	管理費が高い 8 (7.6%)	手入れが行き届かない 5 (4.8%)	寺院、教会等の今後 3 (2.9%)
	宗教法人墓地 [423]	心配事はない 190 (44.9%)	承継者がいない 88 (20.8%)	手入れが行き届かない 43 (10.2%)	管理費が高い 39 (9.2%)	寺院、教会等の今後 35 (8.3%)
	共同墓地 [69]	心配事はない 34 (49.3%)	手入れが行き届かない 17 (24.6%)	承継者がいない 10 (14.5%)	管理費が高い 2 (2.9%)	寺院、教会等の今後 0 (0.0%)
	個人墓地 [84]	心配事はない 42 (50.0%)	手入れが行き届かない 17 (20.2%)	承継者がいない 14 (16.7%)	管理費が高い 6 (7.1%)	寺院、教会等の今後 1 (1.2%)
	わからない [67]	心配事はない 26 (38.8%)	手入れが行き届かない 21 (31.3%)	承継者がいない 10 (14.9%)	管理費が高い 2 (3.0%)	寺院、教会等の今後 1 (1.5%)

b 取得または利用している墓地のある地域別

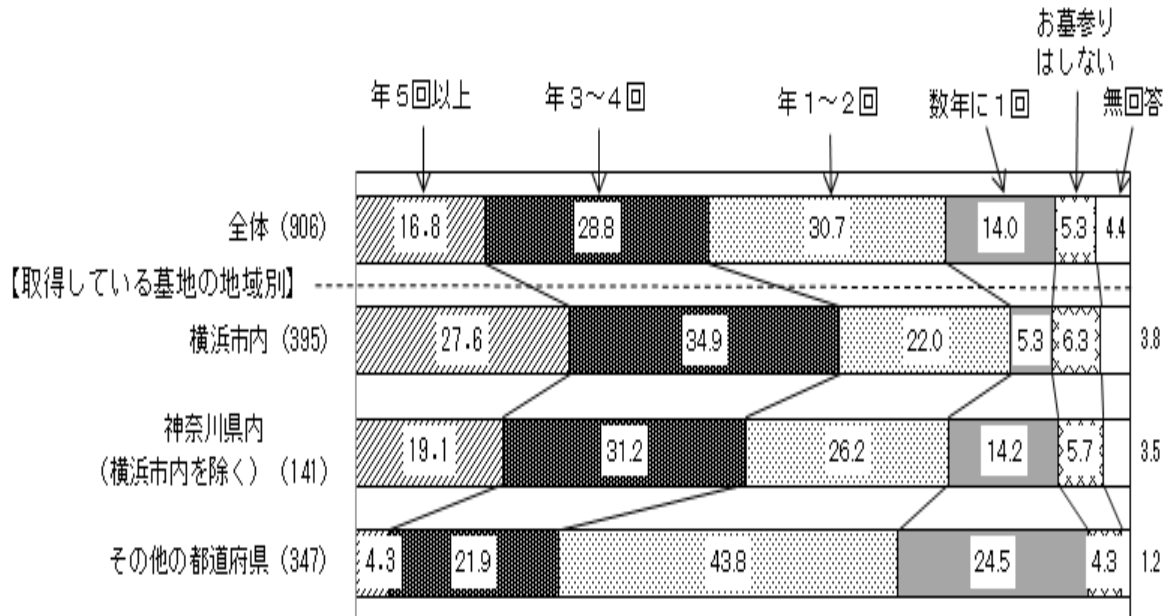
墓地のある地域別で見ると、いずれの地域も「心配事はない」が1位になっている。しかし、「横浜市内」や「神奈川県内」（「市内」49.6%、「県内」49.6%）では5割近くになっているのに対し、「その他の都道府県」（41.2%）では4割程度となっている。また、「横浜市内」や「神奈川県内」では、「承継者がいない」が2位になっているが、「その他の都道府県」では「お墓の手入れが行き届かない」が2位になっている。構成比率で見ると、「お墓の手入れが行き届かない」は、「横浜市内」（7.6%）が最も少なく、「その他の都道府県」（24.2%）で高くなっており、遠隔地の墓地ほど手入れの心配が大きくなっている。

		問 4(1)(vi) 心配事				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 [906]		心配事はない 412 (45.5%)	承継者がいない 169 (18.7%)	手入れが行き届かない 130 (14.3%)	管理費が高い 64 (7.1%)	寺院、教会等の今後 40 (4.4%)
問 4(1)(ii) 墓地のある地域	横浜市内 [395]	心配事はない 196 (49.6%)	承継者がいない 78 (19.7%)	管理費が高い 36 (9.1%)	手入れが行き届かない 30 (7.6%)	寺院、教会等の今後 21 (5.3%)
	神奈川県内 (横浜市内を除く) [141]	心配事はない 70 (49.6%)	承継者がいない 23 (16.3%)	手入れが行き届かない 16 (11.3%)	管理費が高い 11 (7.8%)	寺院、教会等の今後 3 (2.1%)
	その他の都道府県 [347]	心配事はない 143 (41.2%)	手入れが行き届かない 84 (24.2%)	承継者がいない 68 (19.6%)	管理費が高い 17 (4.9%)	寺院、教会等の今後 15 (4.3%)

(キ) 墓地のある地域別に見たお墓参りの年間回数

取得または利用している墓地がある地域別にお墓参りの年間回数を見ると、「横浜市内」の墓地取得者は、「年3～4回」(34.9%)のお墓参りが最も多く、「年5回以上」の人も27.6%いる。

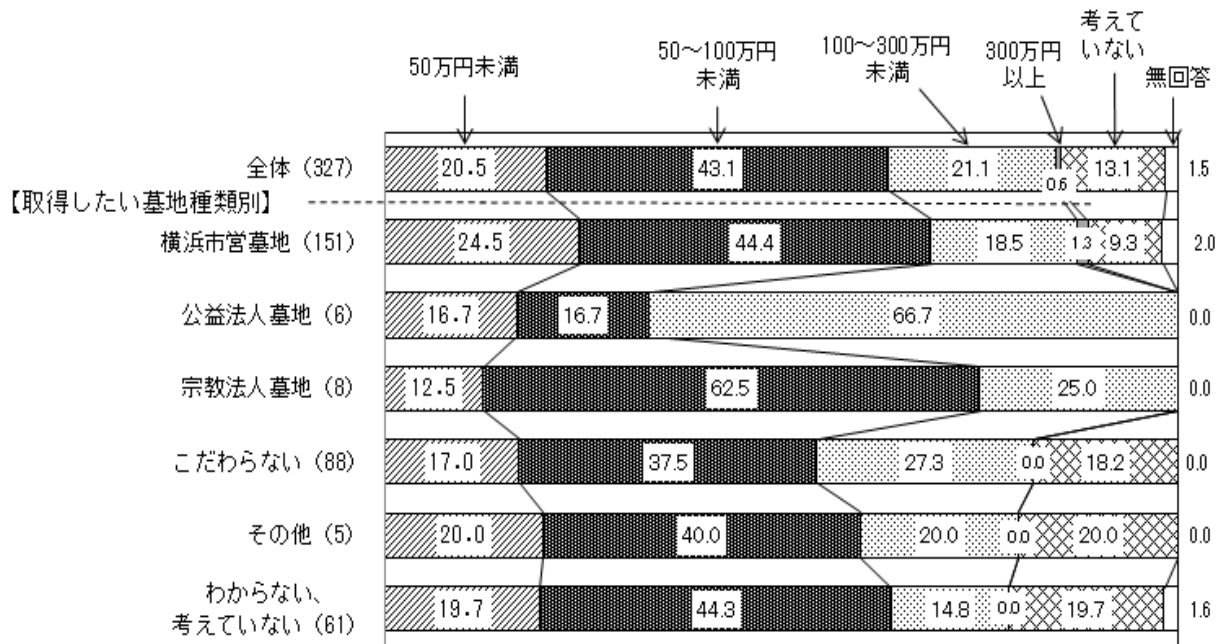
「その他の都道府県」では、「年1～2回」(43.8%)が最も多く、近いほど頻度が高くなっている。



	合計	問 4(1) (vii) お墓参りの頻度						
		年 5 回以上	年 3～4 回	年 1～2 回	数年に 1 回	お墓参りはしない	無回答	
全 体	906 100.0%	152 16.8%	261 28.8%	278 30.7%	127 14.0%	48 5.3%	40 4.4%	
問 4(1) (ii) 墓地のある 地域	横浜市内	395 100.0%	109 27.6%	138 34.9%	87 22.0%	21 5.3%	25 6.3%	15 3.8%
	神奈川県内 (横浜市内を 除く)	141 100.0%	27 19.1%	44 31.2%	37 26.2%	20 14.2%	8 5.7%	5 3.5%
	その他の 都道府県	347 100.0%	15 4.3%	76 21.9%	152 43.8%	85 24.5%	15 4.3%	4 1.2%
	無回答	23 100.0%	1 4.3%	3 13.0%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	16 69.6%

(ク) 取得したい墓地の種類別に見た購入する場合の希望総取得費

取得したい墓地の種類別に墓地を購入すると想定した場合に相当と思う総取得費を見ると、「横浜市営墓地」希望者では「50～100万円未満」（44.4%）が最も多く、「50万円未満」（24.5%）がそれに続く。民営墓地希望者は回答数が少ないため一律に比較できないが、「公益法人墓地」希望者では「100～300万円未満」が66.7%と最も多く、「宗教法人墓地」希望者では、「50～100万円未満」（62.5%）が多くなっている。



		合計	問 5(1) 相当と思われるお墓の総取得費					無回答
			50万円未満	50～100万円未満	100～300万円未満	300万円以上	考えていない	
全体		327 100.0%	67 20.5%	141 43.1%	69 21.1%	2 0.6%	43 13.1%	5 1.5%
問 3(4) 取得したい 墓地	横浜市営墓地	151 100.0%	37 24.5%	67 44.4%	28 18.5%	2 1.3%	14 9.3%	3 2.0%
	公益法人墓地	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	宗教法人墓地	8 100.0%	1 12.5%	5 62.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	こだわらない	88 100.0%	15 17.0%	33 37.5%	24 27.3%	0 0.0%	16 18.2%	0 0.0%
	その他	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
	わからない、 考えていない	61 100.0%	12 19.7%	27 44.3%	9 14.8%	0 0.0%	12 19.7%	1 1.6%
	無回答	8 100.0%	0 0.0%	6 75.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%

(ケ) 属性別に見た墓地の使用範囲

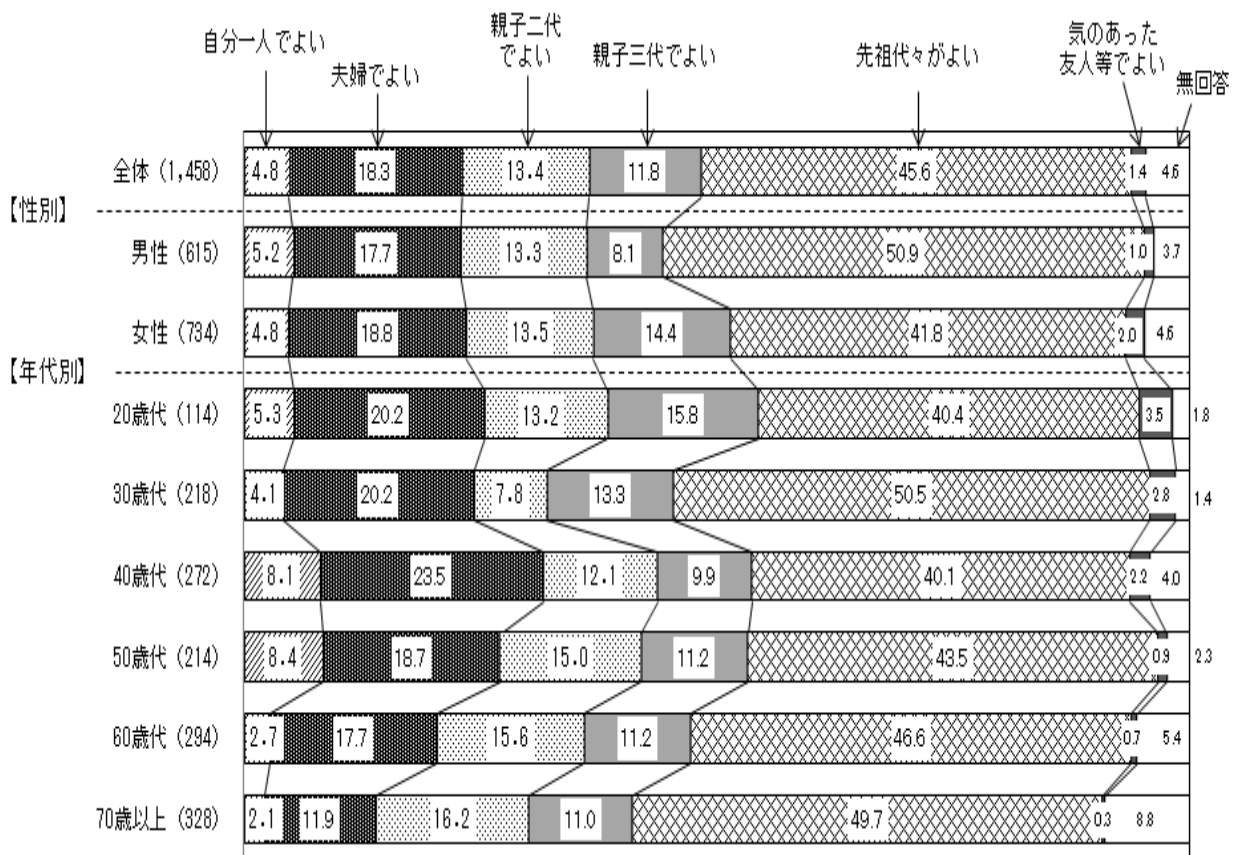
墓地はどのような範囲で使用すればよいと考えるかを属性別で見ると次のようになる。

【性別】

男女別で見ると、「先祖代々がよい」は「男性」の50.9%が回答しているのに対し、「女性」は41.8%で「男性」より低くなっている。「親子三代でよい」は「女性」が14.4%で多く、先祖よりも自分の身近な家族を想定している傾向がある。

【年代別】

「先祖代々がよい」は、「30歳代」で50.5%と高くなっているが、それ以外では、「20歳代」で少なく、年代が高くなるとともに回答が増えている。「夫婦でよい」は、「20歳代」から「40歳代」で2割以上の回答があった。「自分一人でよい」や「気のあった友人等でよい」は、いずれの年代でも低くなっている。



		合 計	問 5(3) 墓地の使用範囲						無回答
			自分 一人で よい	夫婦 でよい	親子 二代 でよい	親子 三代 でよい	先祖 代々が よい	気のあった 友人等 でよい	
全 体		1,458 100.0%	70 4.8%	267 18.3%	196 13.4%	172 11.8%	665 45.6%	21 1.4%	67 4.6%
問 1-1 性 別	男 性	615 100.0%	32 5.2%	109 17.7%	82 13.3%	50 8.1%	313 50.9%	6 1.0%	23 3.7%
	女 性	734 100.0%	35 4.8%	138 18.8%	99 13.5%	106 14.4%	307 41.8%	15 2.0%	34 4.6%
	無回答	109 100.0%	3 2.8%	20 18.3%	15 13.8%	16 14.7%	45 41.3%	0 0.0%	10 9.2%
問 1-2 年 齢	20 歳代	114 100.0%	6 5.3%	23 20.2%	15 13.2%	18 15.8%	46 40.4%	4 3.5%	2 1.8%
	30 歳代	218 100.0%	9 4.1%	44 20.2%	17 7.8%	29 13.3%	110 50.5%	6 2.8%	3 1.4%
	40 歳代	272 100.0%	22 8.1%	64 23.5%	33 12.1%	27 9.9%	109 40.1%	6 2.2%	11 4.0%
	50 歳代	214 100.0%	18 8.4%	40 18.7%	32 15.0%	24 11.2%	93 43.5%	2 0.9%	5 2.3%
	60 歳代	294 100.0%	8 2.7%	52 17.7%	46 15.6%	33 11.2%	137 46.6%	2 0.7%	16 5.4%
	70 歳以上	328 100.0%	7 2.1%	39 11.9%	53 16.2%	36 11.0%	163 49.7%	1 0.3%	29 8.8%
	無回答	18 100.0%	0 0.0%	5 27.8%	0 0.0%	5 27.8%	7 38.9%	0 0.0%	1 5.6%

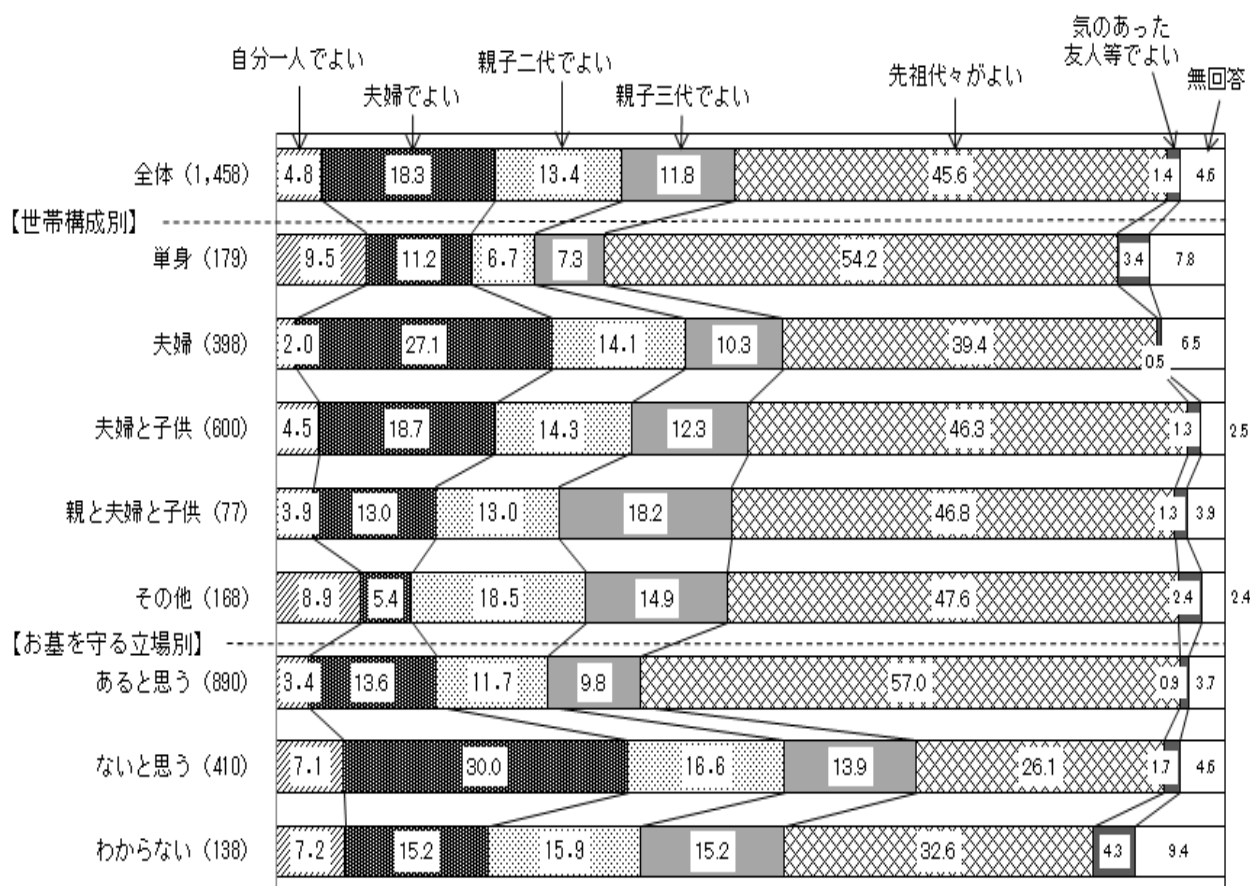
【世帯構成別】

「単身」者では、「先祖代々がよい」(54.2%)が最も多くなっている。また、回答順位は低い、「自分一人でよい」が9.5%あり、他の世帯構成の回答に比べ高くなっている。

「夫婦」世帯では、「先祖代々がよい」(39.4%)が4割を切るとともに、「夫婦でよい」(27.1%)が他よりも高くなっている。

【お墓を守る立場別】

先祖のお墓を守る立場に「あると思う」という人では、6割近くが「先祖代々がよい」(57.0%)と回答している。「ないと思う」人では、「夫婦でよい」(30.0%)が「先祖代々がよい」(26.1%)を上回っており、個人や家族単位での墓を志向している。



		合 計	問 5(3) 墓地の使用範囲						無回答
			自分 一人で よい	夫婦で よい	親子 二代で よい	親子 三代で よい	先祖 代々が よい	気のあ った友 人等で よい	
全 体		1,458 100.0%	70 4.8%	267 18.3%	196 13.4%	172 11.8%	665 45.6%	21 1.4%	67 4.6%
問 1-4 世帯構成	単 身	179 100.0%	17 9.5%	20 11.2%	12 6.7%	13 7.3%	97 54.2%	6 3.4%	14 7.8%
	夫 婦	398 100.0%	8 2.0%	108 27.1%	56 14.1%	41 10.3%	157 39.4%	2 0.5%	26 6.5%
	夫婦と子供	600 100.0%	27 4.5%	112 18.7%	86 14.3%	74 12.3%	278 46.3%	8 1.3%	15 2.5%
	親と夫婦と 子供	77 100.0%	3 3.9%	10 13.0%	10 13.0%	14 18.2%	36 46.8%	1 1.3%	3 3.9%
	その他	168 100.0%	15 8.9%	9 5.4%	31 18.5%	25 14.9%	80 47.6%	4 2.4%	4 2.4%
	無回答	36 100.0%	0 0.0%	8 22.2%	1 2.8%	5 13.9%	17 47.2%	0 0.0%	5 13.9%
問 1-6 お墓を守る 立場	あると思う	890 100.0%	30 3.4%	121 13.6%	104 11.7%	87 9.8%	507 57.0%	8 0.9%	33 3.7%
	ないと思う	410 100.0%	29 7.1%	123 30.0%	68 16.6%	57 13.9%	107 26.1%	7 1.7%	19 4.6%
	わからない	138 100.0%	10 7.2%	21 15.2%	22 15.9%	21 15.2%	45 32.6%	6 4.3%	13 9.4%
	無回答	20 100.0%	1 5.0%	2 10.0%	2 10.0%	7 35.0%	6 30.0%	0 0.0%	2 10.0%

(2) 属性別に見た墓地の使用期限制度についての考え

墓地の使用期限制度についてどう考えるかを属性別で見ると次のようになる。

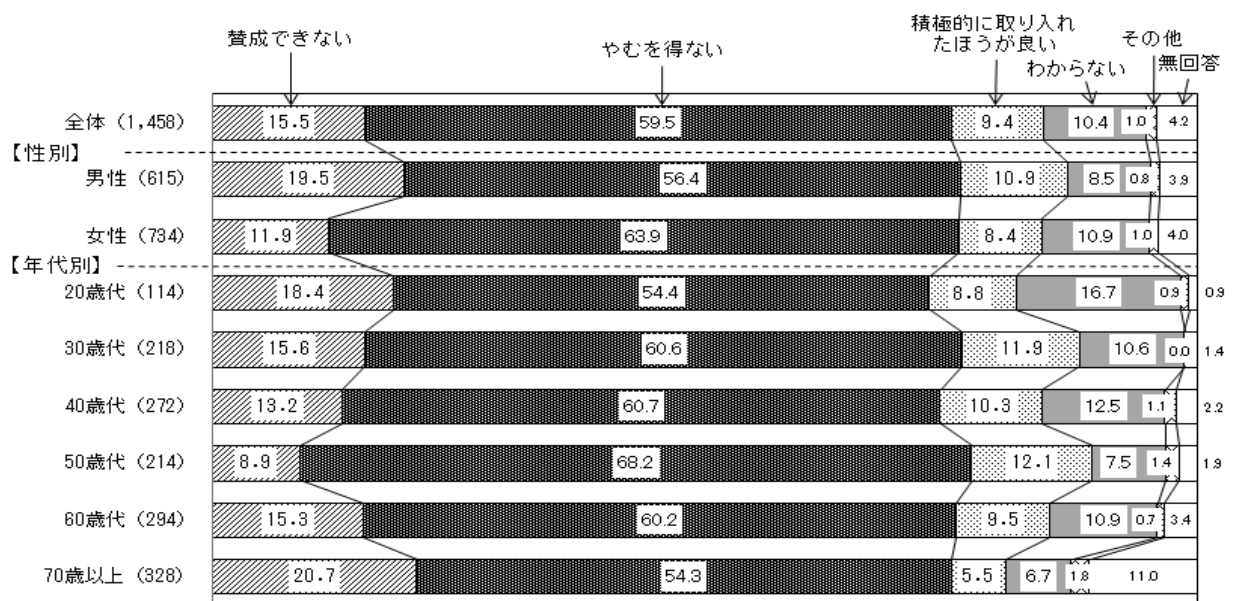
【性別】

男女ともに「やむを得ない」が最も多い。「賛成できない」の回答については、「男性」が19.5%であったのに対し「女性」は、11.9%であった。

【年代別】

「50歳代」で「やむを得ない」(68.2%)が7割近くあり、「積極的に取り入れたほうがよい」(12.1%)と合わせると約8割が使用期限制度に理解を示している。

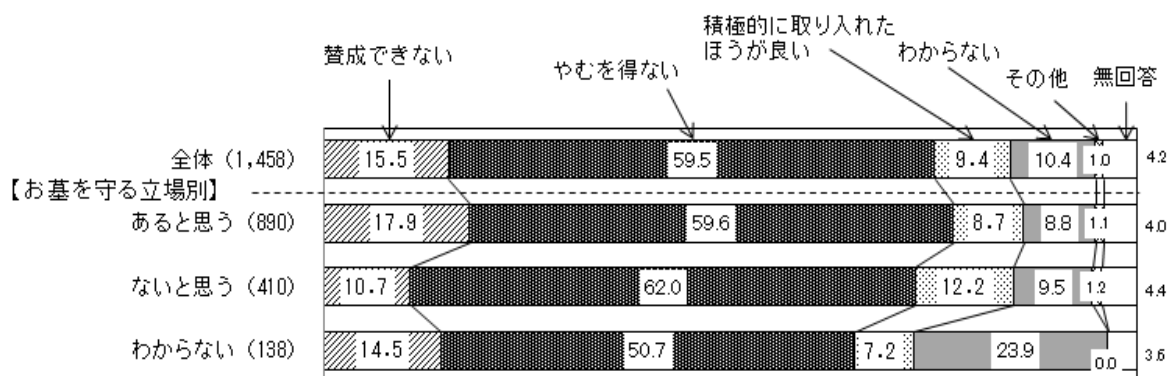
「70歳以上」と一番若い「20歳代」では、「賛成できない」が2割程度の回答があり、他の世代より多かった。



【お墓を守る立場別】

先祖のお墓を守る立場に「あると思う」人は、使用期限制度に「賛成できない」(17.9%)が多いが、「積極的に取り入れたほうがよい」と「やむを得ない」を合わせた回答は68.3%あり、お墓を守る立場にある人でも、7割近くが使用期限制度に理解を示す回答をしている。

先祖のお墓を守る立場に「ないと思う」人では、「やむを得ない」と「積極的に取り入れたほうがよい」の合計は74.2%で、守る立場にある人よりさらに高くなっている。



		合 計	問 5(4) 使用期限制度についての考え					無回答
			賛成で きない	やむを 得ない	積極的に 取り入れ たほうが よい	わから ない	その他	
全 体		1,458 100.0%	226 15.5%	868 59.5%	137 9.4%	151 10.4%	15 1.0%	61 4.2%
問 1-1 性 別	男 性	615 100.0%	120 19.5%	347 56.4%	67 10.9%	52 8.5%	5 0.8%	24 3.9%
	女 性	734 100.0%	87 11.9%	469 63.9%	62 8.4%	80 10.9%	7 1.0%	29 4.0%
	無回答	109 100.0%	19 17.4%	52 47.7%	8 7.3%	19 17.4%	3 2.8%	8 7.3%
問 1-2 年 齢	20 歳代	114 100.0%	21 18.4%	62 54.4%	10 8.8%	19 16.7%	1 0.9%	1 0.9%
	30 歳代	218 100.0%	34 15.6%	132 60.6%	26 11.9%	23 10.6%	0 0.0%	3 1.4%
	40 歳代	272 100.0%	36 13.2%	165 60.7%	28 10.3%	34 12.5%	3 1.1%	6 2.2%
	50 歳代	214 100.0%	19 8.9%	146 68.2%	26 12.1%	16 7.5%	3 1.4%	4 1.9%
	60 歳代	294 100.0%	45 15.3%	177 60.2%	28 9.5%	32 10.9%	2 0.7%	10 3.4%
	70 歳以上	328 100.0%	68 20.7%	178 54.3%	18 5.5%	22 6.7%	6 1.8%	36 11.0%
	無回答	18 100.0%	3 16.7%	8 44.4%	1 5.6%	5 27.8%	0 0.0%	1 5.6%
問 1-6 お墓を守る 立場	あると思う	890 100.0%	159 17.9%	530 59.6%	77 8.7%	78 8.8%	10 1.1%	36 4.0%
	ないと思う	410 100.0%	44 10.7%	254 62.0%	50 12.2%	39 9.5%	5 1.2%	18 4.4%
	わからない	138 100.0%	20 14.5%	70 50.7%	10 7.2%	33 23.9%	0 0.0%	5 3.6%
	無回答	20 100.0%	3 15.0%	14 70.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	2 10.0%

(㉞) 属性別に見た市営墓地の開発形態の希望

横浜市が市営墓地を計画するとしたらどのような墓地にすべきと考えるかを属性別で見ると次のようになる。

【性別】

「公園の機能を持った墓地」が男女ともに最も多く（男性 55.0%、女性 55.7%）、それに続く回答の順位も同じであった。「様々な形態を提供できる墓地」は「女性」（49.7%）の方が「男性」（40.3%）より多く、「和型墓石を中心とした墓地」は、「男性」（15.0%）の方が「女性」（11.0%）より多くなっている。

【年代別】

いずれの年代でも「公園の機能を持った墓地」が一番多いが、とくに「60歳代」（62.9%）で高くなっている。「和型墓石を中心とした墓地」が高いのは「20歳代」（23.7%）で、「様々な形態を提供できる墓地」は、「40歳代」（49.3%）、「50歳代」（48.1%）で高くなっている。

		問 6 市営墓地の開発形態の希望				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 [1,458]		公園の機能を持つ 805 (55.2%)	様々な形態を提供 650 (44.6%)	和型墓石中心 183 (12.6%)	スポーツ・文化施設等を併設 138 (9.5%)	その他 70 (4.8%)
問 1-1 性別	男性 [615]	公園の機能を持つ 338 (55.0%)	様々な形態を提供 248 (40.3%)	和型墓石中心 92 (15.0%)	スポーツ・文化施設等を併設 61 (9.9%)	その他 32 (5.2%)
	女性 [734]	公園の機能を持つ 409 (55.7%)	様々な形態を提供 365 (49.7%)	和型墓石中心 81 (11.0%)	スポーツ・文化施設等を併設 63 (8.6%)	その他 32 (4.4%)
問 1-2 年齢	20歳代 [114]	公園の機能を持つ 54 (47.4%)	様々な形態を提供 42 (36.8%)	和型墓石中心 27 (23.7%)	スポーツ・文化施設等を併設 9 (7.9%)	その他 4 (3.5%)
	30歳代 [218]	公園の機能を持つ 121 (55.5%)	様々な形態を提供 99 (45.4%)	和型墓石中心 32 (14.7%)	スポーツ・文化施設等を併設 25 (11.5%)	その他 10 (4.6%)
	40歳代 [272]	公園の機能を持つ 143 (52.6%)	様々な形態を提供 134 (49.3%)	和型墓石中心 35 (12.9%)	スポーツ・文化施設等を併設 25 (9.2%)	その他 12 (4.4%)
	50歳代 [214]	公園の機能を持つ 127 (59.3%)	様々な形態を提供 103 (48.1%)	スポーツ・文化施設等を併設 22 (10.3%)	和型墓石中心／その他 16 (7.5%)	
	60歳代 [294]	公園の機能を持つ 185 (62.9%)	様々な形態を提供 134 (45.6%)	和型墓石中心 27 (9.2%)	スポーツ・文化施設等を併設 26 (8.8%)	その他 11 (3.7%)
	70歳以上 [328]	公園の機能を持つ 166 (50.6%)	様々な形態を提供 132 (40.2%)	和型墓石中心 45 (13.7%)	スポーツ・文化施設等を併設 30 (9.1%)	その他 16 (4.9%)

※表中の表記について

和型墓石中心＝日本の伝統的な和型墓石を中心とした墓地

公園の機能を持つ＝豊かな緑に囲まれ散策や憩いの場として利用できる公園の機能を持った墓地

スポーツ・文化施設等を併設＝幅広い市民の方が利用できるスポーツや文化施設等を併設した墓地

様々な形態を提供＝個々に区画されたお墓、納骨堂、合葬型のお墓など様々な形態を提供できる墓地

【居住地別】

いずれの地域でも回答の順位は同じであった。「中部」では、「公園の機能を持った墓地」（61.8%）の希望が多くなっている。

		問6 市営墓地の開発形態の希望				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 [1,458]		公園の機能を持つ 805 (55.2%)	様々な形態を提供 650 (44.6%)	和型墓石中心 183 (12.6%)	スポーツ・文化施設等を併設 138 (9.5%)	その他 70 (4.8%)
問1-5 住所 (地域別)	東部 [186]	公園の機能を持つ 90 (48.4%)	様々な形態を提供 83 (44.6%)	和型墓石中心 28 (15.1%)	スポーツ・文化施設等を併設 14 (7.5%)	その他 16 (8.6%)
	北部 [392]	公園の機能を持つ 217 (55.4%)	様々な形態を提供 181 (46.2%)	和型墓石中心 43 (11.0%)	スポーツ・文化施設等を併設 38 (9.7%)	その他 17 (4.3%)
	中部 [251]	公園の機能を持つ 155 (61.8%)	様々な形態を提供 95 (37.8%)	和型墓石中心 34 (13.5%)	スポーツ・文化施設等を併設 23 (9.2%)	その他 10 (4.0%)
	西部 [306]	公園の機能を持つ 169 (55.2%)	様々な形態を提供 135 (44.1%)	和型墓石中心 35 (11.4%)	スポーツ・文化施設等を併設 27 (8.8%)	その他 10 (3.3%)
	南部 [307]	公園の機能を持つ 167 (54.4%)	様々な形態を提供 148 (48.2%)	和型墓石中心 41 (13.4%)	スポーツ・文化施設等を併設 35 (11.4%)	その他 17 (5.5%)

※表中の表記について

和型墓石中心＝日本の伝統的な和型墓石を中心とした墓地

公園の機能を持つ＝豊かな緑に囲まれ散策や憩いの場として利用できる公園の機能を持った墓地

スポーツ・文化施設等を併設＝幅広い市民の方が利用できるスポーツや文化施設等を併設した墓地

様々な形態を提供＝個々に区画されたお墓、納骨堂、合葬型のお墓など様々な形態を提供できる墓地

東部：鶴見区、神奈川区 北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区 中部：西区、中区、南区、保土ヶ谷区 西部：旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区 南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区
--

(シ) 属性別、墓地の取得希望別に見た近隣の墓地計画に対する賛否

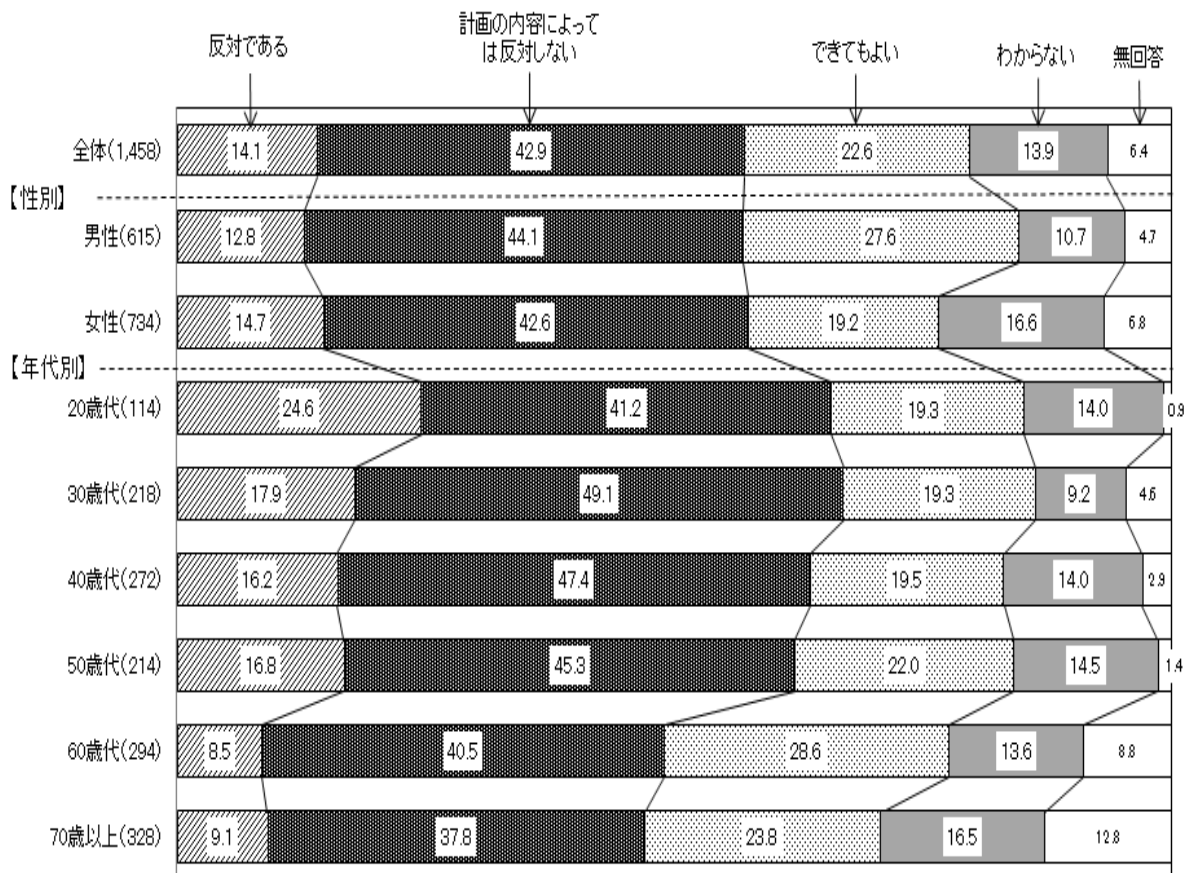
住まいの近隣で墓地の造成が計画されたらどう思うかを属性別、墓地の取得希望別に見ると次のようになる。

【性別】

住まいの近くに墓地造成が計画された場合、「計画の内容によっては反対しない」は「男性」(44.1%)の方が「女性」(42.6%)よりやや多くなっている。さらに、「できてよい」は「男性」27.6%に対し、「女性」は19.2%であった。

【年代別】

年代別に見ると、「反対である」は「20歳代」(24.6%)が最も多く、「60歳代」が8.5%で最も少なかった。一方、「できてよい」は「60歳代」(28.6%)が最も多く、おおむね高齢になるほど「できてよい」の回答率が高くなっている。



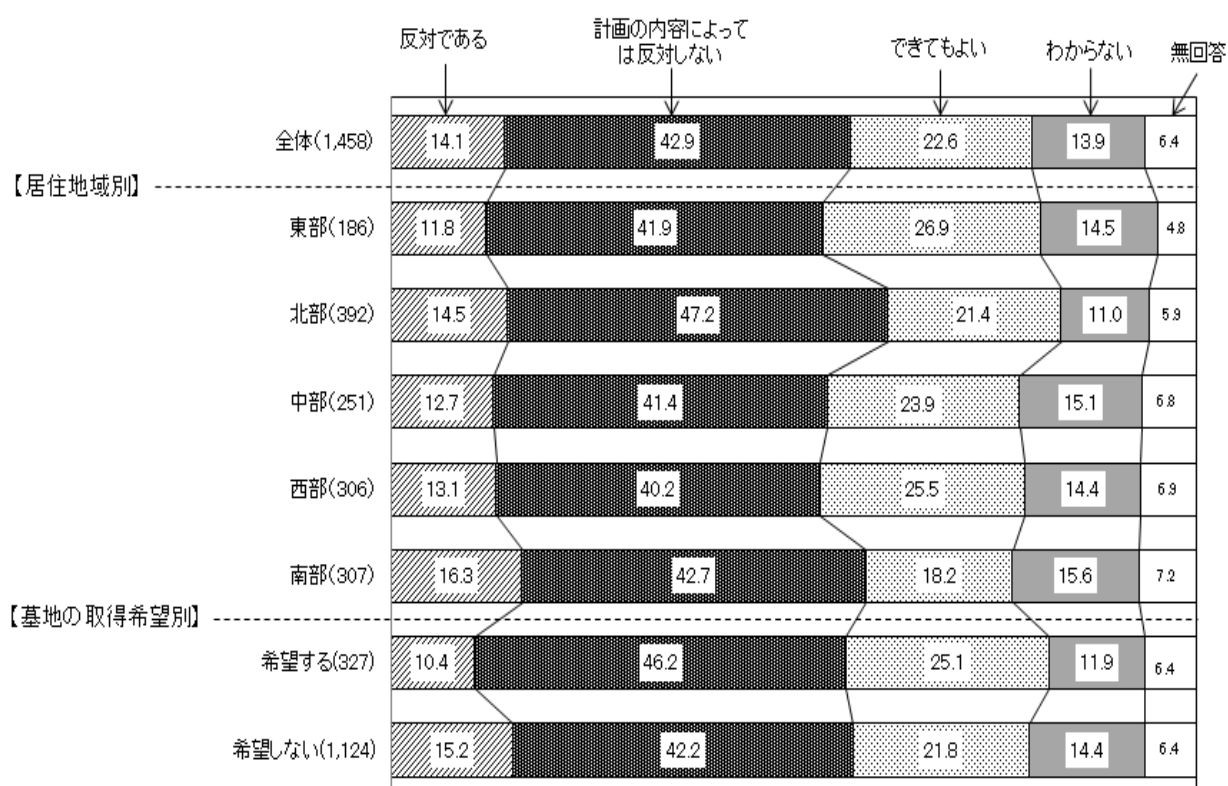
		合 計	問 7(1) 住まいの近隣に墓地造成が計画された場合				
			反対で ある	計画の内容 によっては 反対しない	できても よい	わから ない	無回答
全 体		1,458 100.0%	206 14.1%	626 42.9%	329 22.6%	203 13.9%	94 6.4%
問 1-1 性 別	男 性	615 100.0%	79 12.8%	271 44.1%	170 27.6%	66 10.7%	29 4.7%
	女 性	734 100.0%	108 14.7%	313 42.6%	141 19.2%	122 16.6%	50 6.8%
	無回答	109 100.0%	19 17.4%	42 38.5%	18 16.5%	15 13.8%	15 13.8%
問 1-2 年 齢	20 歳代	114 100.0%	28 24.6%	47 41.2%	22 19.3%	16 14.0%	1 0.9%
	30 歳代	218 100.0%	39 17.9%	107 49.1%	42 19.3%	20 9.2%	10 4.6%
	40 歳代	272 100.0%	44 16.2%	129 47.4%	53 19.5%	38 14.0%	8 2.9%
	50 歳代	214 100.0%	36 16.8%	97 45.3%	47 22.0%	31 14.5%	3 1.4%
	60 歳代	294 100.0%	25 8.5%	119 40.5%	84 28.6%	40 13.6%	26 8.8%
	70 歳以上	328 100.0%	30 9.1%	124 37.8%	78 23.8%	54 16.5%	42 12.8%
	無回答	18 100.0%	4 22.2%	3 16.7%	3 16.7%	4 22.2%	4 22.2%

【居住地別】

地域別ではいずれの地域でも「計画の内容によっては反対しない」が一番多いが、地域別で顕著な特徴は見られなかった。

【墓地の取得希望別】

墓地の取得希望別で見ると、墓地の取得を「希望する」人は、「反対である」が、10.4%であるのに対し、「希望しない」人は15.2%と多くなっている。その一方、「計画の内容によっては反対しない」と「できてよい」は、「希望する」人がそれぞれ、46.2%と25.1%であるのに対し、「希望しない」人は、42.2%と21.8%となっており、「希望する」人より少ない。



		合 計	問 7(1) 住まいの近隣に墓地造成が計画された場合				
			反対で ある	計画の内容 によっては 反対しない	できても よい	わから ない	無回答
全 体		1,458 100.0%	206 14.1%	626 42.9%	329 22.6%	203 13.9%	94 6.4%
問 1-5 住所 (地域別)	東 部	186 100.0%	22 11.8%	78 41.9%	50 26.9%	27 14.5%	9 4.8%
	北 部	392 100.0%	57 14.5%	185 47.2%	84 21.4%	43 11.0%	23 5.9%
	中 部	251 100.0%	32 12.7%	104 41.4%	60 23.9%	38 15.1%	17 6.8%
	西 部	306 100.0%	40 13.1%	123 40.2%	78 25.5%	44 14.4%	21 6.9%
	南 部	307 100.0%	50 16.3%	131 42.7%	56 18.2%	48 15.6%	22 7.2%
	無回答	16 100.0%	5 31.3%	5 31.3%	1 6.3%	3 18.8%	2 12.5%
	問 2 墓地の 取得希望	希望する	327 100.0%	34 10.4%	151 46.2%	82 25.1%	39 11.9%
希望しない		1,124 100.0%	171 15.2%	474 42.2%	245 21.8%	162 14.4%	72 6.4%
無回答		7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%

東部：鶴見区、神奈川区 北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区 中部：西区、中区、南区、保土ヶ谷区 西部：旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区 南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区
--

(ヌ) 属性別に見た墓地設置者がとるべき措置

墓地設置者がとるべき措置は何だと思うかを属性別に見ると次のようになる。

【性別】

近隣に墓地が造成される場合、墓地設置者がとるべき措置として、男女ともに「自然との調和や周辺環境に配慮した外観にする」（男性 67.2%、女性 64.3%）が6割以上の回答があり一番多く、「開園後の運営（供物等の衛生対策、線香の煙等）について配慮する」がそれに続いている。男女の回答の差がでているのは、「夜間等の防犯対策をとる」（男性 40.0%、女性 48.8%）や「緑地を保全する」（男性 43.1%、女性 34.2%）等の項目である。

【年代別】

年代別では、各年代ともに「自然との調和や周辺環境に配慮した外観にする」や「開園後の運営について配慮する」が上位に上がっている。「20歳代」から「40歳代」では「開園後の運営について配慮する」が1位に上がっている。また、「20歳代」から「40歳代」では「夜間等の防犯対策をとる」の回答率が高く、「60歳代」、「70歳以上」では「緑地を保全する」が高くなっている。

【居住地別】

いずれの地域でも「自然との調和や周辺環境に配慮した外観にする」が最も回答率が高かった。

		問7(2) 墓地設置者がとるべき措置				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 [1,458]		外観 953 (65.4%)	開園後の運営 854 (58.6%)	夜間等の防犯 648 (44.4%)	緑地の保全 564 (38.7%)	交通安全 390 (26.7%)
問1-1 性別	男性 [615]	外観 413 (67.2%)	開園後の運営 354 (57.6%)	緑地の保全 265 (43.1%)	夜間等の防犯 246 (40.0%)	交通安全 174 (28.3%)
	女性 [734]	外観 472 (64.3%)	開園後の運営 456 (62.1%)	夜間等の防犯 358 (48.8%)	緑地の保全 251 (34.2%)	交通安全 185 (25.2%)
問1-2 年齢	20歳代 [114]	外観/開園後の運営 73 (64.0%)		夜間等の防犯 55 (48.2%)	緑地の保全 31 (27.2%)	墓石の目隠し 30 (26.3%)
	30歳代 [218]	開園後の運営 140 (64.2%)	外観 127 (58.3%)	夜間等の防犯 119 (54.6%)	緑地の保全 73 (33.5%)	交通安全 70 (32.1%)
	40歳代 [272]	開園後の運営 178 (65.4%)	外観 165 (60.7%)	夜間等の防犯 140 (51.5%)	緑地の保全 89 (32.7%)	交通安全 85 (31.3%)
	50歳代 [214]	外観 151 (70.6%)	開園後の運営 144 (67.3%)	夜間等の防犯 97 (45.3%)	緑地の保全 92 (43.0%)	交通安全 64 (29.9%)
	60歳代 [294]	外観 223 (75.9%)	開園後の運営 159 (54.1%)	緑地の保全 133 (45.2%)	夜間等の防犯 116 (39.5%)	交通安全 77 (26.2%)
	70歳以上 [328]	外観 203 (61.9%)	開園後の運営 154 (47.0%)	緑地の保全 140 (42.7%)	夜間等の防犯 112 (34.1%)	交通安全 72 (22.0%)
問1-5 住所 (地域別)	東部 [186]	外観 114 (61.3%)	開園後の運営 104 (55.9%)	夜間等の防犯 88 (47.3%)	緑地の保全 78 (41.9%)	交通安全 46 (24.7%)
	北部 [392]	外観 266 (67.9%)	開園後の運営 235 (59.9%)	夜間等の防犯 168 (42.9%)	緑地の保全 152 (38.8%)	交通安全 100 (25.5%)
	中部 [251]	外観 172 (68.5%)	開園後の運営 152 (60.6%)	緑地の保全 108 (43.0%)	夜間等の防犯 106 (42.2%)	交通安全 66 (26.3%)
	西部 [306]	外観 204 (66.7%)	開園後の運営 179 (58.5%)	夜間等の防犯 142 (46.4%)	緑地の保全 101 (33.0%)	交通安全 94 (30.7%)
	南部 [307]	外観 191 (62.2%)	開園後の運営 177 (57.7%)	夜間等の防犯 137 (44.6%)	緑地の保全 119 (38.8%)	交通安全 78 (25.4%)

※表中の表記について

墓石の目隠し＝周囲から墓石を見えないようにする

緑地の保全＝緑地を保全する

外観＝自然との調和や周辺環境に配慮した外観にする

夜間等の防犯＝夜間等の防犯対策をとる

交通安全＝交通安全、渋滞対策をとる

開園後の運営＝開園後の運営（供物等の衛生対策、線香の煙等）について配慮する

東部：鶴見区、神奈川区 北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区 中部：西区、中区、南区、保土ヶ谷区 西部：旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区 南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区
--

(e) 墓地計画に対する賛否別に見た近隣の墓地に望む形態

近隣に墓地が計画された場合の形態について、墓地計画への賛否の違いで見ると、いずれの回答者も「芝生型のお墓」が1位になっている。「計画の内容によっては反対しない」と回答した人は、「芝生型のお墓」(48.7%)に続いて「合葬型のお墓」(34.5%)を上げている。

		問7(3) 希望する墓地の形態				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 [1,458]		芝生型のお墓 613 (42.0%)	合葬型のお墓 411 (28.2%)	日本の 伝統的なお墓 368 (25.2%)	納骨堂 279 (19.1%)	こだわらない 235 (16.1%)
問7(1) 住まいの 近隣に墓 地造成が 計画され た場合	反対である [206]	芝生型のお墓 78 (37.9%)	日本の 伝統的なお墓 58 (28.2%)	合葬型のお墓 57 (27.7%)	納骨堂 43 (20.9%)	こだわらない 22 (10.7%)
	計画の内容 によっては 反対しない [626]	芝生型のお墓 305 (48.7%)	合葬型のお墓 216 (34.5%)	日本の 伝統的なお墓 154 (24.6%)	納骨堂 135 (21.6%)	こだわらない 89 (14.2%)
	できても よい [329]	芝生型のお墓 130 (39.5%)	日本の 伝統的なお墓 93 (28.3%)	合葬型のお墓 78 (23.7%)	こだわらない 71 (21.6%)	納骨堂 53 (16.1%)
	わからない [203]	芝生型のお墓 73 (36.0%)	日本の伝統的なお墓 ／こだわらない 50 (24.6%)		合葬型のお墓 46 (22.7%)	納骨堂 38 (18.7%)

(f) 性別、年代別に見た散骨についての考え

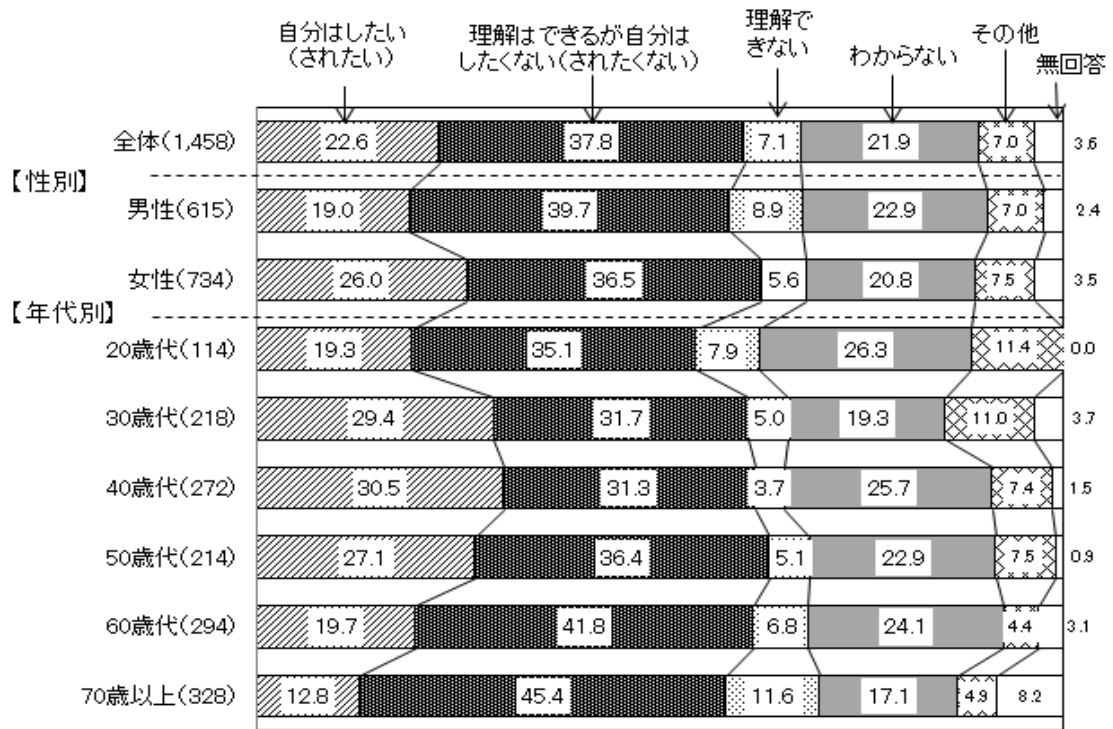
散骨についての考えを性別、年代別にみると次のようになる。

【性別】

散骨について、男女ともに「理解はできるが自分はしたくない(されたくない)」がそれぞれ最も回答率が高いが、「自分はしたい(されたい)」は、女性(26.0%)が男性(19.0%)より回答率が高くなっている。

【年代別】

どの年代でも「理解はできるが自分はしたくない(されたくない)」がそれぞれ最も回答率が高いが、「30歳代」と「40歳代」では、「理解はできるが自分はしたくない(されたくない)」と「自分はしたい(されたい)」の差が小さい。



		合計	問8 散骨についての考え					無回答
			自分ほしい(されたい)	理解はできるが自分ほしくない(されたくない)	理解できない	わからない	その他	
全体		1,458 100.0%	330 22.6%	551 37.8%	103 7.1%	320 21.9%	102 7.0%	52 3.6%
問1-1 性別	男性	615 100.0%	117 19.0%	244 39.7%	55 8.9%	141 22.9%	43 7.0%	15 2.4%
	女性	734 100.0%	191 26.0%	268 36.5%	41 5.6%	153 20.8%	55 7.5%	26 3.5%
	無回答	109 100.0%	22 20.2%	39 35.8%	7 6.4%	26 23.9%	4 3.7%	11 10.1%
問1-2 年齢	20歳代	114 100.0%	22 19.3%	40 35.1%	9 7.9%	30 26.3%	13 11.4%	0 0.0%
	30歳代	218 100.0%	64 29.4%	69 31.7%	11 5.0%	42 19.3%	24 11.0%	8 3.7%
	40歳代	272 100.0%	83 30.5%	85 31.3%	10 3.7%	70 25.7%	20 7.4%	4 1.5%
	50歳代	214 100.0%	58 27.1%	78 36.4%	11 5.1%	49 22.9%	16 7.5%	2 0.9%
	60歳代	294 100.0%	58 19.7%	123 41.8%	20 6.8%	71 24.1%	13 4.4%	9 3.1%
	70歳以上	328 100.0%	42 12.8%	149 45.4%	38 11.6%	56 17.1%	16 4.9%	27 8.2%
	無回答	18 100.0%	3 16.7%	7 38.9%	4 22.2%	2 11.1%	0 0.0%	2 11.1%

エ 自由記入の内容

自由記入欄には 281 件の記入があった。このうち、望ましい墓地の形態、墓地の環境や立地に対する意見、横浜市の墓地整備に対する意見、などに関して次のような記入があった。

自由記入の掲載はできるだけ原文のままとしたが、一部については、編集の都合上、原文の趣旨を損なわない範囲で書き替えあるいは要約している。なお、1 件の記入で複数の内容を
含む場合は、それぞれの分類ごとに重複して計上している。

望ましい墓地の形態について

[プレート型]

- ・自分が納められるなら、和型墓石が望ましいが、近隣に出来るとしたら、プレート型がよい。全て同じ大きさなので整然としているため。(30 歳代、女性)
- ・プレート型の墓を何回も希望しましたが倍率が高くだめでした。その結果、将来子どもに負担のかからない合葬型の墓を購入しました。プレート型の墓を多く作って下さい。(70 歳代)
- ・以前プレート型のお墓を見学に行きましたが、あまりにも簡略的な感じがしてとても感覚的に合いませんでした。(60 歳代)

他1件

[合葬型等]

- ・家族が同一地域に住みつづけることが少ない都会では、場所のこともあるため集合型もあるとよい。どちらがよいとはいえないため、両方作り、値段などで分けるべきだと思う。(30 歳代、男性)
- ・家制度が崩壊しつつある現状を見ると、先祖代々を守りつづける墓地でなく合葬型がふえてもいいのではないかと、子供のいない家庭があっても誰かがお参りしてくれる安心感がある。(60 歳代)
- ・合葬型の墓をたくさん作ってほしい。個々の区画された墓地に入るより、さびしくないと思う。(50 歳代、女性)
- ・墓は自分の代までで子供が守ってくれるかわからない。維持費も年金暮らしには負担になるので永久に使える合葬で緑地等に公園のよう明るく作ってほしい。(男性)
- ・土地も少なく(墓地の)核家族でお墓を守るのは大変なので合葬型を増やした方がいいと思う。(30 歳代、女性)
- ・値段が高すぎて個人所有は大変。墓参りも関心がなくなり、今後共同墓地が増えるのではないのでしょうか。(50 歳代、女性)
- ・合葬型でもよいが、死後 10 年位は個人が特定できる工夫はないのでしょうか。せめて子供達には個別に 10 年ぐらいは供養してほしい(70 歳代、男性)
- ・公園型の合同墓地で、継ぐ者がいない人でも予約しておけば入所出来るシステムになっていれば、遺骨を家で保存したり預けたりしないで済むし、場所が判れば誰でも墓参に行けます。(60 歳代、女性)

他 15 件。

[納骨型]

- ・今後の環境を考慮すると、効率の良い納骨堂が理にかなっているのではないかと思います。(50 歳代、男性)
- ・最近墓地不足の折旧来の墓石墓地は少子社会では墓地の掃除、草取り等個人管理は難しい。納骨堂式(団地墓地)が清潔で良いと思う。従来型の墓地は住民の反対も多もう納骨堂式に変更すべき時だと思う。墓地造成に反対が多いのになぜこだわるのかわからない。(40 歳代、女性)

- ・地上は公園的空間と駐車場と平屋～2F建物(式場)、地下に納骨堂を設置し、周辺環境を維持する案はどうでしょうか。(60 歳代、男性)

他 4 件

[樹木葬]

- ・東京都で樹林墓地に対する要望が大変高いことが報道されたが、都市居住者の一般的な傾向と思います。横浜市でもメモリアルグリーンのような施設をふやして頂けたらと思います。(60 歳代、女性)
- ・承継者がいないので、緑いっぱいの樹林墓地で、何十年経ったら自然に土にかえるようなものに骨を入れておく(70 歳代、女性)
- ・樹木葬に興味があります。環境を守れる、費用が低い、永久でないことが前提など、利点が多い。(60 歳代、男性)
- ・私は樹木葬のできる墓地が居住地の近くにあれば良いと思っています。(40 歳代、女性)

他 6 件

[芝生・公園]

- ・墓碑でいろいろと差があるのは嫌だから芝生型が良い。(70 歳代、男性)
- ・公園型であればよい。従来型はやはり抵抗あり。(40 歳代、男性)
- ・私は芝生型を買う事ができました。明るく、平等の景観が良いと思います。そして清潔です。このような形態のお墓を普及して下さい。(70 歳代、男性)

他 13 件

墓地の環境や立地について

[イメージ]

- ・墓地に対するネガティブなイメージを払拭できるようなデザイン、街灯を設置するなど、明るい雰囲気を作り出してほしい。(20 歳代、男性)
- ・明るく、清潔さを保つことができれば、お墓といえど良いイメージになるのでは…と思います。維持できるかどうかが一番重要です。(40 歳代、女性)
- ・交通の便が良い所へ多勢の人が来る事が出来、子供連れで遊べる場所であれば永眠するのも楽しいと思う。樹木があり、多少の花が植わっていれば“墓地”がもっと明るいイメージになると思う。(60 歳代、男性)
- ・夜は近くを通りたくない(暗い)と思ってしまうのは、墓地に対して良いイメージが全くないから。故人を偲ぶところなので、そのようなイメージを持ちたくないのですが…。公園のような緑地が多ければ、子供も連れて行きやすくなると思います。(30 歳代、女性)

他 9 件

[設備・施設]

- ・車椅子でもお参り出来る墓地。常時(無休)営業しているお花屋さんが墓地内にある。(60 歳代、女性)
- ・高齢の方々等に配慮した、バリアフリーや、駐車場の確保、衛生面の充実など、法要も併せて実施できる施設の充実。(40 歳代、男性)
- ・墓参りに行くのは老人が多くなるので階段の多い場所ではなく平らな敷地があれば理想的と思います。(70 歳代、女性)
- ・墓地内にメモリアルホールを希望する。利便性重視。(70 歳代、男性)

他 7 件

[立地・周辺への配慮]

- ・もし墓地が造成されるのならば公園型で周囲との環境に配慮したものにしてほしい。広い土地で周囲に見えないようにしてほしい。(20 歳代、女性)
- ・墓地を増やすことばかりではなく、周辺環境に違和感のないよう、合葬などにより公園として親しめるよう工夫が必要だと思う。(60 歳代、男性)
- ・坂の上に墓地があることが多い(鶴見区)ので平地につくってほしい。(20 歳代、女性)
- ・墓地造成を決定してから地域住民との折衝を始めるのではなく、一定期間地域との話し合いの場を設け、開発なり進めて頂きたい。(40 歳代、女性)

他 16 件

(近隣の墓地造成に反対または消極的)

- ・自分の先祖のお墓が、首都圏にあれば便利だと思う反面、自分の家の至近距離に墓地ができるのは少し抵抗があるというのが本音です。(50 歳代、男性)
- ・住宅地近くに墓地を造成することはたくさんの問題があると思うので慎重にするべきである。(60 歳代、女性)
- ・周辺住民に理解を得られない墓地開発はやめるべきだと思う。(40 歳代、男性)

他 3 件

(近隣の墓地造成に肯定的)

- ・墓地や火葬場をいやがる風潮があるがむしろ生活の場の中にあるべきだと思っています。そのためには小規模な墓地があちこちにあるというのが理想だと思うのですがどうでしょう？(40 歳代、女性)
- ・高齢化しても可能な限りお参り出来る様に、山間部の遠い地は避けて、可能な限り居住地の近くに、理解を求めて設置されるべきと思う。(70 歳以上、男性)

他 5 件

[管理・サービス]

- ・久保山近くに住んでいますが、毎年彼岸の度にクルマで来られる方のマナーが悪いです。(40 歳代、男性)
- ・高齢化に伴い、お墓を維持、メンテナンスしてくれる代行サービスが必要。(50 歳代、男性)
- ・墓地はその管理者によって、ずいぶん雰囲気や周囲を含めた環境に違いが出てくると思います。やはり管理者にも資格がある人、そして営利目的でない(転売等)きちんと墓地としての運営が出来る人が行うべきだと思います。(40 歳代、男性)
- ・墓地のそばに居住しておりますが、お彼岸等に駐車場がない為路駐が増え、交通渋滞になります。みな高齢者ですから規制するのではなく、駐車スペースやガードマンのコントロールをして、スムーズに墓参りをさせる事が重要と思います。(40 歳代、女性)

他 3 件

[安心・安全]

- ・現在公営墓地にお墓がありますが、一人でお墓参りに行くのはこわいです。自然の地形を利用して作られているので人目につきにくく、管理事務所とも離れているので一人では行かないようにしています。一人でも行ける墓地を望みます。(60 歳代、女性)
- ・最近では地震等の災害も考えるので、霊園にそういう設備が整っているなら安心できると思います。災害にも対応できる施設なら住民もそんなに反対はしないと思いますが。(50 歳代、女性)
- ・夜間に人が集まらないような墓地であるとよい。(20 歳代、女性)

他 3 件

横浜市の墓地整備について

[市営墓地に対する要望]

(市営墓地整備に賛成)

- ・金銭的、管理面、どちらも求めやすい墓地を市が提供してくれればありがたいです。(30 歳代、男性)
- ・誰でも安価で将来取得の心配のない公営墓地の積極的開発を希望します。(60 歳代)
- ・市営墓地をもっと開発してほしい。抽選なのでなかなか当たらない。(70 歳代、女性)
- ・メモリアルグリーン方式は大変良い。同じとは考えませんが同様のタイプを希望します。(60 歳代)
- ・市営墓地を今後たくさん作るべき。墓を購入できない人々が負担なしで納骨できるシステムが必要。(30 歳代、男性)
- ・墓地ニーズが高まる中、市営墓地建設には、墓地形態の多様化により(例えば、和型墓石、納骨堂、合葬型の組合せ)、ニーズに応える費用対効果のある総合的な計画を策定してもらいたい。(60 歳代、男性)

他 14 件

(市営墓地整備に反対)

- ・市営の墓地など造らずに、積極的に散骨をすすめるよう要望します。(50 歳代、女性)
- ・公営の必要があるのか。自助努力をすべきである。一部利用者だけの便利になるのはどうか。社会全体の公平性を考えるべきと思う。税金を効果的に使ってほしい。(70 歳以上、男性)

他 1 件

(その他)

- ・市内に市営の公営墓地を新しく作るのであれば、合葬型のお墓で、市民がいこえるような、緑のある公園と一体となっている様なものがよい。個人のお墓を希望する人は、民間のものを利用すればよい。(40 歳代、女性)
- ・単身者ですので死後の対策は何もありません。生前に申込みができ、市の共同墓地等で預かって頂けるような制度を設け、安心して死ぬことが出来るようお願い致します。(70 歳代、男性)
- ・現在の市営墓地で無縁墓(管理費未納)は改善してもらいたい。管理費未納墓地は、戸籍調査をして早く整理して下さい。(50 歳代、男性)
- ・永年居住(例、30 年以上)した人には市営墓地を提供してもよろしいのではないかと考えます。(50 歳代、男性)

他 4 件

[墓地整備の政策について]

- ・墓地を新設するのではなく(今後人口減少すれば不要な墓がふえる)、今ある寺等との連けいを図り、計画をすべきと思う。横浜市だけで考えないで他地域との連けいが大事。(50 歳代、女性)
- ・日本の限られた土地、核家族、未婚、少子化、全てを考えて、墓地を構えること(持つこと)について、考え直す必要があると思います。(40 歳代、女性)
- ・少子高齢化社会が叫ばれている中で、今後、墓地の需要と供給のバランスはどうなるのでしょうか？個人的には、無縁墓地が増加し、需要も減少していくのではないかと考えています。(20 歳代、男性)
- ・新たな形態を市として提案してほしい(継承者不足の時代なので)。(40 歳代、男性)
- ・価格が高過ぎる。価格がわかりづらい。人は必ず死ぬのだし、墓地は必ず必要なのだから、住宅問題と同等に行政が力を入れて欲しい。(50 歳代、女性)
- ・墓に興味のない人、墓地を必要としない人は今後増えてくると思うので行政としては散骨をしても良い場所を指定するとか、焼却後の遺骨、遺灰を親族や友人に代わって処分するシステムを検討して欲しい。(60 歳代、男性)

- ・墓地の利用について、金額がお寺のいいなりなので、市で調査して、金額の公表をしてほしい。(もうけすぎだと思う)(30歳代、男性)

他 9 件

[広報・市営墓地の募集等について]

- ・墓地用地の不足が今後の課題だと考えられるなら、行政が早い内から広知した方が良いと思います。(40歳代、男性)
- ・メモリアルグリーンに応募するも私だけ当選し、かんじんの両親がはずれたため、私の分をキャンセルした。3人、4人、5人で募集してもらえないものでしょうか。(40歳代、女性)
- ・市営墓地取得に関する情報提供を望む。(70歳代、女性)
- ・遠方の実家の墓も横浜からの管理は大変になり墓地をかたづけて、横浜に墓地を作り納骨しました。沢山の先祖で大変でした。墓地の移転等の相談にのっていただける場所が役所にあればと思います。(60歳代)
- ・市営墓地の現状について、色々なルートで積極的に発信して欲しい。(40歳代、男性)
- ・横浜市内のメモリアルグリーンや日野公園墓地について全く知らない。市が墓地に力を入れている事をこのアンケートで初めて知った。墓地調整担当係がある事も。市民の為によりアイデアを集めよい方向に導いて欲しい。(50歳代、男性)

他 1 件

その他

[地震の心配]

- ・3.11の地震で墓石が破損し、修理をした(60歳代、女性)
- ・伝統的なお墓に慣れていますが、地震のこともあるし、永久に守れるものではないので、重い石には抵抗があります。(50歳代、女性)

他 3 件

[承継者について]

- ・承継者がいなくなるので、父母の墓をどうしたら良いか、自分はどうなるのかが気になります。自分が動けるうちに合葬型へ改葬し、自分もそこに入るのか、と漠然と考えています。(30歳代、男性)
- ・兄弟姉妹がいないので、年を重ねるとお墓参りになかなか行けなくなるのではと心配です。承継者がいないのでお墓を守る事の困難さを痛感しています。(70歳以上、女性)
- ・宗教法人墓地は高額であり、低所得者には購入できない。他の個人墓についても、承継者が無い場合には難しい。公営の墓地が増えることによって事前に購入でき安心をえたいと考える。(40歳代、女性)

他 8 件

[取得費や維持管理費について]

- ・なるべく安価に買えると良いと思います。これからはお墓を買いたくても買えない人がたくさん出てくると思います。(60歳代、女性)
- ・石の値段が高すぎると思う。墓は、死んだら使う物なのに、高すぎる！(30歳代、女性)
- ・現在の墓地の維持費やお寺の寄付等、負担ではある。墓石や備品が傷んだら、修繕費が必要。今後は管理費等が必要でない樹木葬などが理想に思える。(60歳代、女性)
- ・墓地は欲しいが総取得費が多額で取得困難でないかと懸念する。生命保険の給付範囲内を考えれば、費用がかからない方法を選びたい。市営等の公営墓地が頼りで、“何とか”と、待ち望んでいる現状です。(70歳以上、男性)

他 24 件

[子どもへの負担について]

- ・個人所有の墓ではなく、これからは多数の方が共同で祀られるお墓にもっていく方向性が必要になって来るのではないかと。われわれも遠方に代々の墓をもっているが、負担になって来ている。死んでも子供への負担になりたくない。県内で費用の安い墓地を望みます。(60歳代、男性)
- ・無縁墓地がふえてくる時代になるでしょうから、お墓のありかたを考える時期にさしかかっているのだと思う。私も子供達に死んでまで負担をのこしたくない。(40歳代、女性)
- ・「墓」が家族にとって本当に必要なのか。「墓」に自らが入ることで子供以降の世代に余計な負担などを生じさせないか。そんなことを家族で十分話合うことが大切と考えている。(60歳代、男性)

他 8 件

[自然・土に還る]

- ・基本的に人間も自然の生き物で人間だけが形のあるところへ入る事は人間のエゴだと思う。土にかえることが本来の考え方なのではと思います。(50歳代、女性)
- ・広大な敷地を開発して、死んだ者の為に自然破壊をしてまで墓地を作る側の気が知れない。又、死んでまで自分の場所を確保したがる人の気もしれない。死んだら自然に土に帰れば良いのだ。合葬型の墓が理想的。場所も出来るだけ狭く造れば良いのだ。墓に対する思いの転換期きていると思う。(40歳代)

他 6 件

[散骨について]

- ・散骨をする人は、自分のことだけしか考えていないと思う。法的にきちんとした対応をとるべき。自然に帰依したいならば他者の不快にならない手段を選ぶべき。(70歳以上)
- ・散骨を主とした公園があったらいいと思いました。公園であり、お寺でありというようなもの。人はそこに来て、死者を敬うことで供養とし、今の自分らの行いを見つめなおすことが出来るような場所で。(20歳代、男性)
- ・散骨して環境的に問題はないでしょうか？(40歳代、女性)
- ・自分の生地に散骨できれば幸せ。(70歳以上、女性)

他 11 件

[その他]

- ・この質問が、現在の家族スタイルにあっていない。我家に墓は無いが、息子の代には複数の墓が集まる可能性さえある。また私自身は家制度に拒否感があり墓も拒否したいと思っているが、私の墓は自分の為ではなく、次世代の人の心の為に存在するものでよいと思っている。その時にはどのような型の墓でも文句は無い。「個人の意見を…」ということだが、墓は家族の問題で、個人の意見があっても主張するとはかぎらないし、また、できない。残された人に決定権があると思う。(50歳代、女性)
- ・先祖を敬う形の一つなので、形式にとらわれず、それぞれの思いに従ったもので良いと考えます。ただし、墓地を欲している人には全員にそれが入手できる状態にする必要があると思います。(60歳代、男性)
- ・生まれた土地で生涯を送る人と、転勤で最終地が定かでない人とはおのずと形が違ってくると思う。家族の構成によっても考え方は大きく変わるのでは。遠くのお墓を近くに移した年輩者の話を聞くと、家だの祖先という考えから、もっと自然で身近なものになると良い。(50歳代)
- ・墓地に対して考えたことはありませんでしたが、みなで生きているので協力も必要だなと思いました。また、死を考えることで生きることを考えることにもなると思うので、いたずらに恐れる必要もないかなとも思いました。お墓を地下に展開するのもいいなと思います。(近くに住むのだったら)(30歳代、女性)
- ・生前に自分たちで墓地を準備すべきか、子供達にまかせるか、迷う面があります。(70歳以上、男性)
- ・墓地はなるべくコンパクトにして、住宅用地を拡充してください。子育て中ですが、高価な宅地に生活を圧迫され困っています。(30歳代、女性)
- ・急速に墓地に対する考えが変わってきているので(まだまだこれから大きく変化するようにも思われますので)どこまで妥協できるのか考え中です。子供、孫の代となって、お墓を守るという意識も変わってゆくことでしょう。現実的に、今お墓を買うべきか、必要ないのかと、迷っているというのが正直な所です。(40歳代、女性)

3 需要予測

(1) 使用推計式

需要推計には、平成元年開催の横浜市墓地問題研究会で定めた推計式を利用する。同研究会の推計式は次のとおりである。

横浜市墓地問題研究会方式の推計式

現在必要数＝親族世帯数×遺骨保持率

平成 24 年の数値

将来必要数＝推定死亡者数×墓地需要率×定住志向率

平成 25 年以降の数値

墓地需要率と遺骨保持率、定住志向率は、アンケート調査の結果を利用した。推計期間は平成 24 年から平成 43 年の 20 年間である。

(2) データの取得

ア 親族世帯数（平成 24 年）

直近の国勢調査（平成 22 年調査）によれば、親族世帯率（親族世帯数の総世帯数に対する割合）は、64.7 %である。

平成 24 年の総世帯数、1,606,472 世帯（10 月 1 日現在。横浜市推計）に、親族世帯率を乗じて、平成 24 年の親族世帯数とした。

イ 推定死亡者数（平成 25 年以降）

墓地の必要数の推計時には死亡予測数が必要となる。人口動態統計によれば平成 24 年（平成 23 年中）の死亡数は 28,488 人であった。横浜市では、既に将来人口推計により平成 24 年以降の死亡人口が推計されていることから、以下のような補正を行い平成 24 年から平成 43 年の死亡予測数とした。

（補正）

- ・横浜市の推計による平成 23 年の死亡数は、28,118 人である。これに対して平成 23 年中の死亡数（実績値）は 28,488 人であり、推計値を実績値に一致させる補正係数は 1.0132 となる。

平成 24 年から平成 43 年の推計値をこの係数で補正した値を死亡予測数とした。

ウ 定住志向率

アンケート調査から得た結果により定住志向率を求めた。73.0%を定住志向率とした。

$$\text{定住志向率} = \frac{\text{問 1 で「住み続けたい」}}{\text{全回答者数}}$$

エ 墓地需要率

アンケート調査から得た墓地に関する需要率を以下「墓地需要率」とした。アンケート調査問 2 で「希望する」（22.4%）を墓地需要率とした。

$$\text{墓地需要率} = \frac{\text{問 2 で「希望する」}}{\text{全回答者数}}$$

オ 遺骨保持率

アンケート調査から得た、墓地取得希望者のうち遺骨を保持している人の全回答者に対する割合を「遺骨保持率」とした。1.3%を遺骨保持率とした。

$$\text{遺骨保持率} = \frac{\text{問3で「遺骨があるので墓地が欲しい」と回答}}{\text{全回答者数}}$$

(3) 推計結果

(1)の推計式に基づいて推計した結果、平成24年から平成43年の20年間の墓地必要数累計は130,744区画となった。年毎の予測値は次表のとおりである。

(現在必要数)	親族世帯数 (a)	遺骨保持率 (b)	墓地需要率 (c)	墓地必要数 (d)=(a)×(b)	墓地必要数累計
平成24年	1,039,243	1.3%		13,510	13,510
(将来必要数)	死亡予測数 (a)	定住志向率 (b)	墓地需要率 (c)	墓地必要数 (d)=(a)×(b)×(c)	墓地必要数累計
平成25年	30,257	73.0%	22.4%	4,948	18,458
平成26年	31,126	73.0%	22.4%	5,090	23,548
平成27年	31,995	73.0%	22.4%	5,232	28,779
平成28年	32,865	73.0%	22.4%	5,374	34,153
平成29年	33,733	73.0%	22.4%	5,516	39,669
平成30年	34,603	73.0%	22.4%	5,658	45,328
平成31年	35,460	73.0%	22.4%	5,798	51,126
平成32年	36,314	73.0%	22.4%	5,938	57,064
平成33年	37,145	73.0%	22.4%	6,074	63,138
平成34年	37,984	73.0%	22.4%	6,211	69,349
平成35年	38,784	73.0%	22.4%	6,342	75,691
平成36年	39,582	73.0%	22.4%	6,472	82,164
平成37年	40,362	73.0%	22.4%	6,600	88,764
平成38年	41,137	73.0%	22.4%	6,727	95,490
平成39年	41,852	73.0%	22.4%	6,844	102,334
平成40年	42,529	73.0%	22.4%	6,954	109,288
平成41年	43,150	73.0%	22.4%	7,056	116,344
平成42年	43,749	73.0%	22.4%	7,154	123,498
平成43年	44,314	73.0%	22.4%	7,246	130,744

<参考>

前回(平成19年度)調査時の推計結果は、平成19年から平成38年の20年間で134,437区画であった。

墓地必要数を求める推計式に用いる数値を前回と比較すると次のとおりである。

①死亡予測数

前回推計値における平成 20 年から平成 38 年までの死亡予測数の合計は、654,363 で、今回の平成 25 年から平成 43 年までの死亡予測数の合計は、716,941 であった。前回と比較すると 62,578 増加している。

②定住志向率

定住志向率は前回の調査と同様、アンケート調査結果によることとした。その結果、設定した定住志向率は前回に比べて若干低下した。(今回設定 73.0%。前回 75.5%)

③墓地需要率

墓地需要率は前回の調査と同様、アンケート調査結果によることとした。その結果設定した墓地需要率は前回に比べて若干低下した。(今回設定 22.4%。前回 24.7%)

墓地必要数の累計は、墓地必要数を定める要因となる上記の死亡予測数、定住志向率及び墓地需要率に多少の変動が認められるものの、前回とほぼ同じ結果といえる。

(参考) 過去の調査との比較

昭和 62 年度及び平成 6 年度に実施された調査（神奈川県）と、平成 14 年度、19 年度、24 年度の「横浜市墓地に関する市民アンケート調査」の主な項目の比較を行った。

なお、神奈川県の調査については、横浜市民の回答を抽出したデータを示している。

調査実施年度ごとの標本数及び回収数（率）は次のとおり。

	昭和 62 年度(県)	平成 6 年度(県)	平成 14 年度	平成 19 年度	平成 24 年度
標本数	5,000<県全体>	1,250<市民分>	5,000	5,000	5,000
回収数 (回収率)	1,266<市民分> (61.6%)<県全体>	499<市民分> (39.9%)	1,571 (31.4%)	1,660 (33.2%)	1,458 (29.2%)

1 墓地取得希望

取得を「希望する」人は、昭和 62 年度(32.9%)が最も高く、平成 14 年度(18.2%)が最も低い。一方、「希望しない」人は、昭和 62 年度から増加傾向にある。

2 取得したい墓地の種類

昭和 62 年度から今回の調査まで、「横浜市営墓地」の取得希望が最も高い。今回、新たな選択肢で「こだわらない」(26.9%)が用意されたこともあり、「横浜市営墓地」希望者は、前回の 60.2%から 46.2%に減っている。同様に「公益法人墓地」「宗教法人墓地」も減っている。

3 取得したい墓地の形式

今回の選択肢の「個々に区画されたお墓」と、これまでの調査の設問で「個々に区画されたお墓」にあたる「日本の伝統的なお墓」「芝生型のお墓」「壁面墓地」の合計を比較すると、「個々に区画されたお墓」の希望は、昭和 62 年度の 86.0%から今回調査の 60.6%まで減少傾向にある。

一方、「納骨堂」は、昭和 62 年度 1.4%から今回調査 8.6%に増加している。

なお、今回調査から新たに「こだわらない」の選択肢を設けている。

4 墓地を購入する場合に希望する総取得費

「50 万円未満」は昭和 62 年度では半数以上(51.2%)を占めていたのが、今回調査では 17.7%と大きく減っている。

5 墓地を購入する場合に希望する広さ

「2㎡ぐらい」は昭和 62 年度調査の 19.0%から今回調査の 32.0%まで増加傾向にあり、「1㎡ぐらい」も選択肢が設けられた前回から増えている。一方、昭和 62 年度では 6 割以上が回答している「3㎡以上」は、今回調査では 10.2%に大きく減っている。(S62 62.3% → H6 47.8% → H14 12.0% → H24 10.2%)

6 墓地の使用範囲

平成 14 年度に比較して、「自分一人でよい」は 4.8%で変化がないが、「夫婦でよい」(13.9% → 18.3%)や「親子二代でよい」(8.7% → 13.4%)などが増加し、「親子三代でよい」(15.6% → 11.8%)や「先祖代々がよい」(49.5% → 45.6%)が減少傾向にある。

「先祖代々」が数としては多いが、親子や夫婦等の「家族単位」の志向が高まりつつある。

7 墓地の使用期限制度

「賛成できない」は平成6年度（19.8%）と比較すると減っている（15.5%）。「積極的取り入れたほうがよい」も12.0%から9.4%に減っており、「やむを得ない」や「わからない」の回答がやや増えている。

8 市営墓地の開発形態

選択肢が今回調査ではこれまでと異なるが、「和型墓石を中心とした墓地」と「伝統的なお墓」で比較すると、「伝統的なお墓」の希望は、平成6年度の26.3%から今回調査の12.6%まで半分以下に減っている。

過去の調査との比較表

(%)

アンケート項目※		H24年度 市調査	H19年度 市調査	H14年度 市調査	H6年度 県調査	S62年度 県調査
性別	男性	42.2	45.9	43.3	80.8	
	女性	50.3	50.6	50.0	8.8	
年代	20歳代	7.8	7.2	10.1	3.4	
	30歳代	15.0	17.2	17.1	12.8	
	40歳代	18.7	15.1	15.7	20.8	
	50歳代	14.7	17.3	20.9	27.3	
	60歳代	20.2	21.3	20.2	23.0	
	70歳以上	22.5	20.7	15.2	11.8	
世帯主との続柄	本人	50.6	51.8	49.2	100.0	
	配偶者	36.6	35.8	37.6	-	
	長男	3.4	3.7	3.3	-	
	長女	3.4	3.3	4.1	-	
	上記以外(その他)	3.5	3.8	4.7	-	
世帯構成	単身	12.3	11.0	8.5	6.8	
	夫婦	27.3	27.7	26.6	16.2	
	夫婦と子供	41.2	40.4	43.2	55.5	
	親と夫婦と子供	5.3	6.7	7.9	10.8	
	その他	11.5	11.6	12.8	8.4	
居住区	鶴見区	5.8	5.9	5.7	8.8	
	神奈川区	7.0	6.7	5.6	8.8	
	西区	2.3	2.5	2.0	2.6	
	中区	3.9	3.6	2.5	3.4	
	南区	5.1	5.1	6.4	8.0	
	港南区	7.8	5.2	6.4	8.0	
	保土ヶ谷区	5.9	6.5	4.8	5.2	
	旭区	6.3	7.0	8.7	6.0	
	磯子区	4.3	4.3	5.2	5.8	
	金沢区	6.0	6.2	8.1	7.8	
	港北区	9.0	9.7	8.5	10.1	
	緑区	5.2	5.3	5.7	10.8	
	青葉区	7.3	7.5	7.7	-	
	都筑区	5.4	4.4	4.0	-	
	戸塚区	6.9	7.2	7.1	5.8	
	栄区	2.9	4.1	3.0	3.0	
泉区	4.0	4.3	5.4	3.4		
瀬谷区	3.8	3.6	2.9	2.4		
先祖のお墓を守る立場に	あると思う	61.0	58.6	56.1	55.9	
	ないと思う	28.1	30.3	32.3	35.3	
	わからない	9.5	9.1	10.1	6.4	
定住志向	住み続けたい	73.0	75.5	74.5	71.5	
	市外へ転出する予定がある	3.7	3.4	4.2	1.8	
	将来的には市外に移りたい	8.6	6.4	6.7	8.6	
	特に考えたことはない	13.0	13.0	14.1	17.2	

アンケート項目※		H24年度 市調査	H19年度 市調査	H14年度 市調査	H6年度 県調査	S62年度 県調査
墓地取得 希望	希望する	22.4	24.7	18.2	30.9	32.9
	希望しない	77.1	75.3	62.8	60.3	57.2
	- (どちらともいえない)	-	-	18.9	8.8	9.8
取得希望 理由	遺骨があるので	5.8	4.9	5.2	7.1	9.8
	将来のために	78.3	79.8	80.4	85.1	56.8
	他都市から移したい	11.0	10.2	9.4	4.5	4.8
	その他	2.8	2.2	2.8	1.9	25.9
付問 遺骨の 保管場所	自宅で保管	26.3		26.7		
	寺院等に預けている	42.1		33.3		
	納骨堂に預けている	10.5		26.7		
	その他	10.5		13.3		
取得希望 時期	2年以内に	10.7	10.2	8.4	8.4	13.3
	5年以内に	11.3	13.9	13.6	12.3	20.8
	10年以内に	16.8	15.6	19.6	24.0	-
	10年以上先でもよい	20.2	19.8	25.9	15.6	64.3
	わからない、考えていない	36.7	38.3	28.3	37.0	-
取得希望 場所	徒歩圏内の近隣	16.2	-	-	-	-
	横浜市内	53.2	74.1	66.4	44.8	38.0
	市外の神奈川県内	6.4	7.6	19.2	32.5	46.1
	神奈川県外	0.6	2.0	4.5	8.4	8.4
	わからない、考えていない	21.1	14.9	7.3	18.2	6.2
取得希望 する墓地 の種類	横浜市営墓地	46.2	60.2	61.5	55.8	56.4
	公益法人墓地	1.8	3.2	2.4	3.2	9.4
	宗教法人墓地	2.4	5.9	8.7	9.7	10.8
	こだわらない	26.9	-	-	-	-
	その他	1.5	1.0	1.7	-	3.2
わからない、考えていない	18.7	27.6	22.0	24.7	14.4	
取得時の 重視事項	価格、維持管理費	43.1	51.7			
	設置者に対する信頼〈管理・運営〉	16.5	16.0			
	自宅からの距離	12.5	26.4			
	交通の便	9.8	-			
	宗教的理由(宗旨宗派)	0.3	0.7			
	墓地の雰囲気、周辺環境	8.9	-			
	こだわらない	3.1	-			
	その他	0.9	1.0			
取得希望 の墓地形 式	個々に区画されたお墓	60.6		(70.5)	(81.3)	(86.0)
	- (日本の伝統的なお墓)	-		37.7	51.7	69.2
	- (芝生型のお墓)	-		28.7	21.4	16.8
	- (壁面墓地)	-		4.1	8.2	-
	納骨堂	8.6		4.9	2.8	1.4
	合葬型のお墓	8.6		18.0	9.0	-
	こだわらない	16.5		-	-	-
その他	2.8		-	-	-	
付問 取得希望 の墓標	伝統的な縦長の和型墓石	30.3				
	横長の洋型墓石	34.3				
	プレート型の墓石	26.8				
	デザインを凝らした墓石	4.0				
	草木、樹木や花	4.0				
何もいらない	0.5					
希望しな い理由	自分が取得した墓地がある	22.0	27.2	28.7	37.9	34.1
	自分の代以前から墓地がある	54.5	52.9	54.0	53.2	59.4
	- (他に利用できる墓地)	-	5.1	5.7	3.0	3.5
	その他	18.9	13.0	9.8	3.3	2.3

アンケート項目※		H24年度 市調査	H19年度 市調査	H14年度 市調査	H6年度 県調査	S62年度 県調査
付問 取得して いる墓地 の種類	市営等の公営墓地	13.8	15.8	15.4	15.9	15.5
	公益法人墓地	11.6	10.7	13.3	13.4	17.0
	宗教法人墓地	46.7	49.2	51.4	51.6	45.9
	共同墓地	7.6	14.8	4.4	4.9	6.8
	個人墓地	9.3	7.5	7.2	7.4	7.5
	わからない	7.4	2.0	3.6	2.8	1.0
付問 墓地の ある地域	横浜市内	43.6	47.8	43.9	33.2	33.8
	神奈川県内(市内を除く)	15.6	15.6	18.3	28.3	23.9
	その他の都道府県	38.3	33.4	34.7	35.7	36.7
付問 取得時期	5年以内	7.9	11.5	10.6		
	6年～10年くらい前	11.6	10.3	12.2		
	11年～20年くらい前	16.0	15.1	18.2		
	21年以上前	41.6	36.4	39.6		
	わからない	19.9	19.7	15.4		
付問 総取得費	50万円未満	4.3	6.9	8.4		
	50～100万円未満	6.6	6.4	7.6		
	100～300万円未満	21.1	18.0	20.8		
	300万円以上	11.3	10.8	12.2		
	わからない	53.6	48.5	46.8		
付問 年間管理 料	無料	10.0	11.2	11.4		
	5千円未満	7.7	8.4	-		
	5千円～1万円未満	19.3	18.9	-		
	- (1万円未満)	-	-	24.5		
	1万円～2万円未満	20.8	19.1	22.5		
	2万円以上(2万円から3万円)	8.8	7.9	8.0		
	- (3万円以上)	-	-	4.6		
わからない	28.8	26.9	25.3			
付問 取得して いる墓地 の心配事	管理費が高い	7.1				
	承継者がいない	18.7				
	手入れが行き届かない	14.3				
	寺院・教会等の今後	4.4				
	心配事はない	45.5				
その他	8.2					
付問 お墓参り の年間回 数	年5回以上	16.8				
	年3～4回	28.8				
	年1～2回	30.7				
	数年に1回	14.0				
	お墓参りはしない	5.3				
適当と思 う取得費 用	50万円未満	17.7		24.4	-	51.2
	50～100万円未満	33.7		32.9	39.9	18.2
	100～300万円未満	25.6		20.3	36.7	6.1
	300万円以上	1.7		1.0	5.4	-
	考えていない	18.7		15.8	12.4	19.4
適当と思 う墓地の 広さ	1㎡ぐらい	14.7		12.1	-	-
	2㎡ぐらい<[S62] 1.65㎡ぐらい>	32.0		26.4	22.0	19.0
	3㎡以上<[S62] 3.3㎡以上>	10.2		12.0	47.8	62.3
	お骨が納まる広さ	20.0		24.9	17.8	8.7
	考えていない(わからない)	20.0		18.9	8.8	6.4
墓地の 使用範囲	自分一人だけでよい	4.8		4.8		
	夫婦でよい	18.3		13.9		
	親子二代でよい	13.4		8.7		
	親子三代でよい	11.8		15.6		
	先祖代々がよい	45.6		49.5		
	気のあった友人等でよい	1.4		1.6		
墓地の 使用期限 制度	賛成できない(反対)	15.5		14.1	19.8	
	やむを得ない	59.5		57.4	58.9	
	積極的に取り入れたほうがよい(賛成)	9.4		13.6	12.0	
	わからない	10.4		8.6	4.6	
	その他	1.0		2.0	0.6	

アンケート項目※		H24年度 市調査	H19年度 市調査	H14年度 市調査	H6年度 県調査	S62年度 県調査
付問 何年が よいか	10年以下	8.7				
	20年	17.5				
	30年	48.5				
	31年以上	15.7				
	その他	7.4				
市営墓地 の開発形 態	和型中心墓地(伝統的なお墓)	12.6		16.3	26.3	
	- (芝生型のお墓)	-		19.0	-	
	- (壁面式や合葬式)	-		42.3	60.9	
	公園機能を持った墓地	55.2		-	-	
	スポーツ・文化施設等併設墓地	9.5		-	-	
	さまざまな形態を提供できる墓地	44.6		-	-	
	- (わからない)	-		12.9	6.0	
その他	4.8		3.8	1.4		
近隣に墓 地計画が ある場合	反対である	14.1				
	内容によっては反対しない	42.9				
	できてもよい	22.6				
	わからない	13.9				
付問 反対理由	不衛生だから	39.1				
	交通渋滞・迷惑駐車	52.5				
	心理的に受け入れられない	31.8				
	周辺環境になじまない	22.9				
	土地の価値が下がる	16.2				
	その他	6.3				
付問 墓地の イメージ	暗い	58.8				
	怖い	66.8				
	不快	20.6				
	荒涼としている	40.4				
	その他	6.1				
墓地経営 者がとる べき措置	周囲から墓石が見えないように	19.8				
	緑地を保全する	38.7				
	自然との調和・周辺環境に配慮	65.4				
	夜間等の防犯対策	44.4				
	交通安全、渋滞解消	26.7				
	建設工事による影響対策	8.0				
	開園後の運営に配慮	58.6				
	特に必要な措置はない	1.8				
	その他	1.5				
近隣に墓 地ができ る場合の 望む形態	日本の伝統的なお墓	25.2				
	芝生型のお墓	42.0				
	納骨堂	19.1				
	合葬型のお墓	28.2				
	こだわらない	16.1				
散骨	自分はしたい(されたい)	22.6		10.6	11.6	
	理解できるがしたくない(理解できる)	37.8		51.8	49.5	
	- (反対だが家族に希望者がいれば散骨)	-		11.4	-	
	- (家族に希望者がいても散骨しない)	-		12.8	23.6	
	理解できない	7.1		-	-	
	わからない	21.9		8.0	10.8	
	その他	7.0		2.5	2.0	
自由意見		○	○	○		

※ 選択肢は H24 年度のもの。過去の調査で類似の選択肢は「〈 〉」で表記。

H24 になく過去の調査にある選択肢は「- ()」で表記。

■ その年の調査に該当する設問がないもの

(資料) アンケート調査票

墓地に関する市民アンケート調査

- 次の設問に対して、当てはまる番号を1つだけ○印で囲んでください（問5から問8の一部と末尾の自由意見欄を除く。）。
- アンケートへの回答がお済になりましたら同封の返信用封筒に入れて10月10日（水）までに投函してください。送料はかかりません。

問1. あなたご自身のことについておたずねします。

性別	年齢	世帯主との続柄	世帯構成	現在お住まいの住所は
1 男性	1 20歳代	1 本人	1 単身	1 鶴見区 7 保土ヶ谷区 13 青葉区
2 女性	2 30歳代	2 配偶者	2 夫婦	2 神奈川区 8 旭区 14 都筑区
	3 40歳代	3 長男	3 夫婦と子供	3 西区 9 磯子区 15 戸塚区
	4 50歳代	4 長女	4 親と夫婦と子供	4 中区 10 金沢区 16 栄区
	5 60歳代	5 上記以外	5 その他	5 南区 11 港北区 17 泉区
	6 70歳以上			6 港南区 12 緑区 18 瀬谷区

先祖のお墓を守る立場に	今後の市内居住について
1 あると思う	1 住み続けたい
2 ないと思う	2 市外へ転出する予定がある
3 わからない	3 将来的には市外に移りたい
	4 特に考えたことはない

問2. あなたは墓地の取得を希望していますか。

1 希望する	2 希望しない
↓	↓
問3へ	次ページ中段の問4へ

問3. 問2で墓地の取得を「希望する」とお答えの方におたずねします。

- (1) 墓地の取得を希望している理由は次のどれですか。（主な理由を1つ）
- (3) あなたは墓地をどの地域に取得したいとお考えですか。

- 1 遺骨があるので墓地がほしい
- 2 遺骨はないが、将来のために取得したい
- 3 他都市にある墓を横浜市に移したい
- 4 その他（ ）
- 1 徒歩圏内の近隣がよい
- 2 横浜市内がよい
- 3 横浜市の外の神奈川県内がよい
- 4 神奈川県外がよい
- 5 わからない、または考えていない

(1)で遺骨があるとお答えの方におたずねします。

現在、お持ちの遺骨をどうしていますか。

- 1 自宅に保管している
- 2 寺院等に預けている
- 3 納骨堂に預けている
- 4 その他（ ）

- (2) あなたは墓地をいつごろ取得するお考えですか。

- 1 2年以内に取得したい
- 2 5年以内に取得したい
- 3 10年以内に取得したい
- 4 10年以上先でもよい
- 5 わからない、または考えていない
- (4) あなたが取得したい墓地は次のどれですか。（主なものを1つ）
- 1 横浜市営墓地（横浜市が設置した墓地）
- 2 公益法人墓地（財団法人が設置した墓地）
- 3 宗教法人墓地（寺院、教会等が設置した墓地）
- 4 こだわらない
- 5 その他（ ）
- 6 わからない、または考えていない

1次ページ(5)へお進みください。

(5) 取得するときに最も重視する事項はどれですか。(主なものを1つ) (6) あなたは今後墓地を取得するとしたらどのような墓地を求められますか。

- 1 お墓の価格、維持管理費
- 2 墓地の設置者に対する信頼や安心感
- 3 自宅からの距離
- 4 交通の便
- 5 宗教的理由(宗旨宗派)
- 6 墓地の雰囲気や周辺環境
- 7 こだわらない
- 8 その他()

- 1 個々に区画されたお墓
- 2 納骨堂(遺骨を屋内の納骨壇に安置する施設)
- 3 合葬型のお墓(多数の方が共同で祀られるお墓)
- 4 こだわらない
- 5 その他()

(6)で「個々に区画されたお墓」とお答えの方におたずねします。墓標はどのようなものがよいとお考えですか。別紙「墓標のいろいろ」のイラストをご覧になりお答えください。

- 1 伝統的な縦長の和型墓石 [イラストA]
- 2 横長の洋型の墓石 [イラストB]
- 3 プレート型の墓石 [イラストC]
- 4 デザインを凝らした墓石 [イラストD]
- 5 草木、樹木や花
- 6 何もいらない

→問5へお進みください。

問4. 問2で「希望しない」とお答えの方におたずねします。

(1) 希望しない理由をお聞かせください。(主な理由を1つ)

- 1 自分が取得した墓地があるため
- 2 自分の代以前から墓地があるため
- 3 その他()

→問5へお進みください。

墓地をお持ちの方及び利用できる墓地のある方におたずねします。

(i) あなたの墓地は、次のどれですか。

- 1 市営等の公営墓地
- 2 公益法人墓地(財団法人が設置した墓地)
- 3 宗教法人墓地(寺院、教会等が設置した墓地)
- 4 共同墓地(昔から地域にある共同の墓地)
- 5 個人墓地(昔から個人所有地にある墓地)
- 6 わからない

(v) 年間の管理費(清掃料など維持にかかる費用)

- 1 無料
- 2 5千円未満
- 3 5千円～1万円未満
- 4 1万円～2万円未満
- 5 2万円以上
- 6 わからない

(ii) あなたの墓地は、どの地域にありますか。

- 1 横浜市内
- 2 神奈川県内(横浜市内を除く)
- 3 その他の都道府県()

(vi) 将来も含め墓地の心配事は何ですか。

- 1 管理費が高い
- 2 承継者がいない
- 3 お墓の手入れが行き届かない
- 4 寺院、教会等の今後
- 5 心配事はない
- 6 その他()

(iii) いつごろ購入しましたか。

- 1 5年以内
- 2 6～10年くらい前
- 3 11年～20年くらい前
- 4 21年以上前
- 5 わからない

(vii) あなたは普段どの程度お墓参りをしますか。

- 1 年5回以上
- 2 年3～4回
- 3 年1～2回
- 4 数年に1回
- 5 お墓参りはしない

(iv) 墓地の総取得費※はいくらでしたか。

- 1 50万円未満
- 2 50～100万円未満
- 3 100～300万円未満
- 4 300万円以上
- 5 わからない

※総取得費とは、永代使用料、墓石代、工事代等取得時にかかる総額

→問5へお進みください。

問 5 から問 8 は、全員の方におたずねします。

問 5. あなたが墓地を購入すると想定してお答えください。

(1) 墓地の総取得費*はどのくらいが適当とお考えですか。

(※総取得費とは、永代使用料、墓石代、工事代等取得時にかかる総額)

- 1 50 万円未満
- 2 50～100 万円未満
- 3 100～300 万円未満
- 4 300 万円以上
- 5 考えていない

(2) 墓地の広さは、どのくらいが適当とお考えですか。

- 1 1 m² (1m×1m) ぐらい
- 2 2 m² (1.4m×1.4m) ぐらい
- 3 3 m² (1.7m×1.7m) 以上
- 4 お骨が納まる広さがあればよい
- 5 考えていない

(3) 墓地はどのような範囲で使用すればよいとお考えですか。

- 1 自分一人でよい
- 2 夫婦でよい
- 3 親子二代でよい
- 4 親子三代でよい
- 5 先祖代々がよい
- 6 気のあった友人等でよい

(4) 墓地を有効に利用するため墓地の使用について更新できることを条件に、10 年から 30 年程度の使用期限を定める制度があります。(承継者がいない墓地は、墓園内の無縁合葬墓へ改葬されることが前提となっています。) あなたはこのことについて、どのようにお考えですか。

- 1 墓地は永代に残すべきと考えるので、この制度には賛成できない
- 2 承継者がいなくなると無縁墓地となるため、この制度もやむを得ない
- 3 他の人の再使用が可能となるため、積極的にこの制度を取り入れたほうがよい
- 4 わからない
- 5 その他 ()

この制度を「やむを得ない」、「取り入れたほうがよい」とお答えの方におたずねします。

使用期限はどの程度が望ましいとお考えですか。

- 1 10 年以下
- 2 20 年
- 3 30 年
- 4 31 年以上
- 5 その他 ()

問 6. 現在、横浜市内には、メモリアルグリーンや日野公園墓地などの市営墓地がありますが、今後さらに、横浜市が市営墓地を計画するとしたら、あなたはどのような墓地にすべきとお考えですか。(複数回答可)

- 1 日本の伝統的な和型墓石を中心とした墓地
- 2 豊かな緑に囲まれ散策や憩いの場として利用できる公園の機能を持った墓地
- 3 幅広い市民の方が利用できるスポーツや文化施設等を併設した墓地
- 4 個々に区画されたお墓、納骨堂、合葬型のお墓など様々な形態を提供できる墓地
- 5 その他 ()

問 7. あなたのお住まいの近隣に墓地造成が可能な土地があると仮定してお答えください。

(1) そこで墓地の造成が計画されたらどう思いますか。

- 1 反対である
- 2 計画の内容によっては反対しない
- 3 できてもよい
- 4 わからない

「反対である」、または「計画の内容によっては反対しない」とお答えの方におたずねします。

反対する理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 管理が悪いとハエや蚊が発生し不衛生だから
- 2 墓参が集中する時期に、周辺の交通渋滞や迷惑駐車等が発生する恐れがあるから
- 3 心理的に受け入れられないから
- 4 周辺環境になじまないから
- 5 所有する土地の価値が下がる恐れがあるから
- 6 その他 ()

「心理的に受け入れられない」とお答えの方におたずねします。

その要因となる墓地のイメージをお聞かせください。(複数回答可)

- 1 暗い
- 2 怖い
- 3 不快
- 4 墓石だらけで荒涼としている
- 5 その他
- ()

(2) 墓地設置者がとるべき措置は何だと思えますか。特に必要だと思う措置をお選びください。(3つまで)

- 1 周囲から墓石を見えないようにする
- 2 緑地を保全する
- 3 自然との調和や周辺環境に配慮した外観にする
- 4 夜間等の防犯対策をとる
- 5 交通安全、渋滞対策をとる
- 6 建設工事による影響（防塵、防音、振動、工事車両関係等）対策をとる
- 7 開園後の運営（供物等の衛生対策、線香の煙等）について配慮する
- 8 特に必要だと思う措置はない
- 9 その他 ()

(3) そこで墓地が開発されるとしたら、どのような墓地の形態を望みますか。別紙「お墓の形式のいろいろ」のイラストと説明をご覧になりお答えください。(複数回答可)

- 1 日本の伝統的なお墓（縦長の和型墓石が中心で、一般的に形、色に制限がない） [イラスト①]
- 2 芝生型のお墓（墓碑の形や大きさが決められたお墓で芝生上に統一された墓石が並ぶ） [イラスト②]
- 3 納骨堂（建物の屋内に設けられた、ロッカー式等の納骨壇に遺骨を収蔵する施設） [イラスト③]
- 4 合葬型のお墓（個人や家族のお墓ではなく多数の方が共同で祀られるお墓） [イラスト④]
- 5 こだわらない

問 8. 最近、海や山への散骨が話題となっています。あなたは散骨することについてどうお考えですか。

- 1 自分はしたい(されたい)
- 2 理解はできるが自分はしたくない(されたくない)
- 3 理解できない
- 4 わからない
- 5 その他 ()

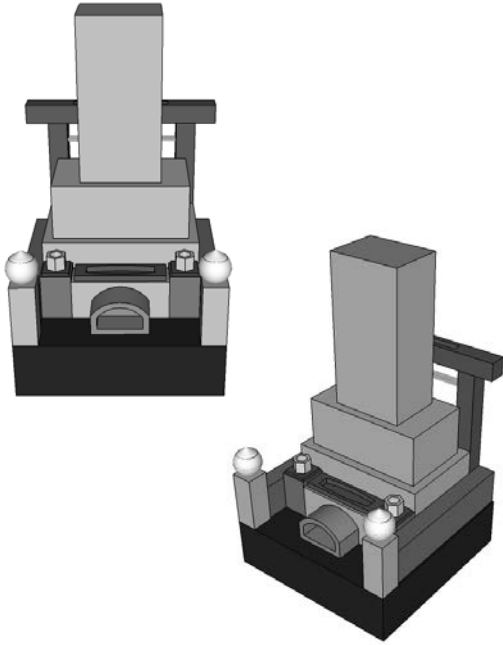
墓地等に関して、ご意見、ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

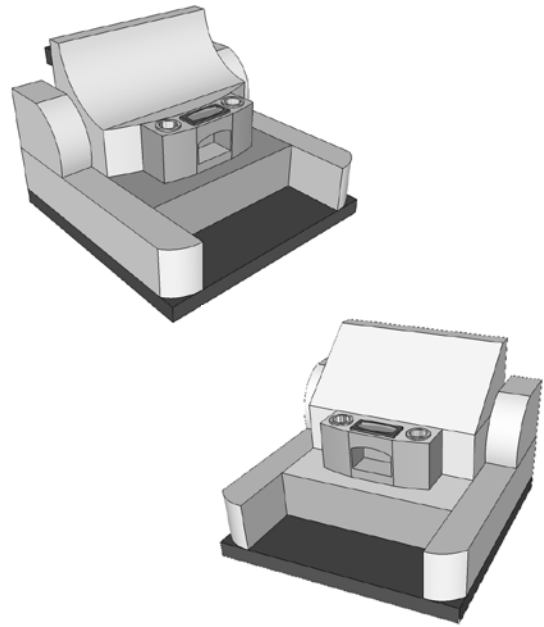
お問合せ先：横浜市健康福祉局相談調整課墓地調整担当 電話 671-4211

墓標のいろいろ

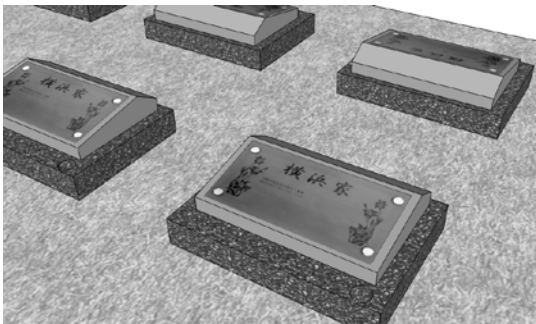
① 伝統的な縦長の和型墓石



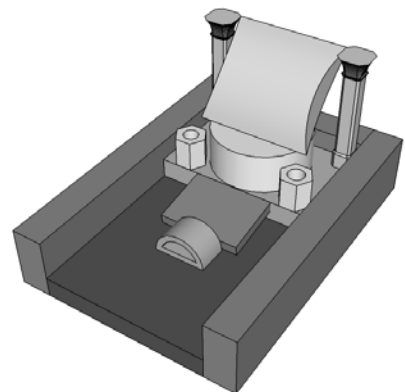
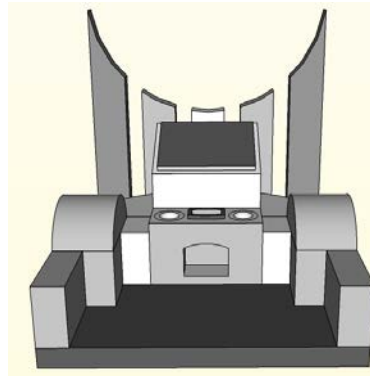
② 横長の洋型の墓石



③ プレート型の墓石



④ デザインを凝らした墓石



裏面「お墓の形式のいろいろ」あり

お墓の形式のいろいろ

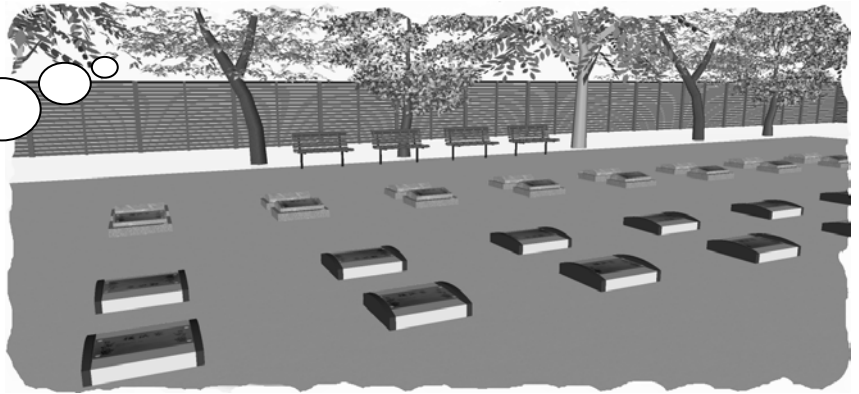


①日本の伝統的なお墓

寺院等で見られる日本古来からのお墓で、各墓所ごとに仕切られ、石碑を建てて墓とするもの。

②芝生型のお墓

一面に敷きつめられた芝生地に、平面型のプレートまたは横型の墓石を据えたお墓で、各墓所ごとの仕切り及び小通路は設けない。



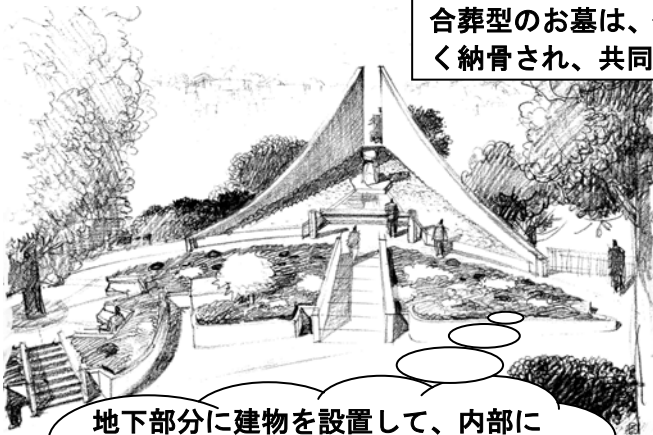
③納骨堂

遺骨を安置しておく屋内施設。骨壺を収める納骨壇には様々な形のものがあり、ロッカー式、仏壇式、機械式等がある。



④合葬型のお墓

合葬型のお墓は、個人や家族のお墓ではなく、多数の方が隔てなく納骨され、共同で祀られるお墓。



地下部分に建物を設置して、内部に納骨棚を設けて個別に遺骨を安置する。墓参は地上に設置されたモニュメントに向かって合同で行う。



墓石の代わりに1本の樹木を墓標として、大木の周囲に多数の焼骨を埋蔵する。

裏面「墓標のいろいろ」あり

横浜市墓地に関する市民アンケート調査
報告書

平成 25 年 3 月

横浜市健康福祉局総務部相談調整課
〒231-0017 横浜市中区港町 1 - 1
TEL:045-671-4211 FAX:045-681-5457
